FNA-01 取扱説明書

（FullBackNetAgent）

第 4 版

FNA-01 取扱説明書　　2000 年 6 月 1 日 第 4 版

販売元

サンケン電気株式会社
東京都豊島区西池袋 １－１１－１（メトロポリタンプラザビル １４F）〒171-0021
部門：東京事務所
電話：03-3986-6157
FAX：03-3986-2650
URL：http://www.sanken-ele.co.jp

技術問い合わせ先

株式会社 ネットマークスサポート＆サービス （略：NSS）
東京都港区港南 2-13-34（NSS-Ⅱビル）〒108-0075
電話：03-5461-3567
FAX　03-5461-2576

FNA-01 をお買い上げいただき ありがとうございます。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために
守っていただきたい項目を記載しました。
必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。

⚠ （警告）

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
火災や感電の恐れがあります。

風呂場など 水分や湿気の多い場所では 本製品を使用しないでください。
火災や感電の恐れがあります。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。
衝撃は本製品の故障の原因になります。

⚠ （注意）

濡れた手で 本製品に触れないでください。
感電の原因になります。

本製品は コンピュータの自動運転装置です。それ以外の目的で使用しないでください。
火災、感電、怪我の原因になります。

本製品の上に物を置いたり濡らしたりしないでください。
火災、感電、怪我の原因になります。

本製品対応機器以外では 使用しないでください。
火災、感電、怪我の原因になります。

本製品の 隙間に 金属（お金、ネックレス等）を入れないでください。
火災、感電、怪我の原因になります。

本製品は サンケン電気 FULLBACK シリーズが 提示する 警告・注意指示に
したがってください。

版権

本プログラム、および本書の内容の一部または 全部を無断で複写することは禁止されています。

免責

製品の内容については 万全を期しておりますが、ご不審の点や誤り、本書の記載漏れなど
お気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
また 上記に関わらず 以下の事柄については 弊社はいっさい責任を負いません。

1）本製品に付随する、または運用の結果もたらされた いかなる損害。
2）本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失。
3）本製品のために ついやした時間 および経費。
4）本製品をお使いになって発生した データの消失、または破損。
5）本製品をお使いになって 発生したいかなる 結果及び、直接的、間接的なシステム、その他の機器の異常。
6）弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合。

本製品、仕様および 本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

目次

第１章　FNA-01 について　1〜12

１．１　はじめに　2
１．２　FNA-01 とは？　2
１．３　FNA-01 の特徴　2
１．４　パッケージ内容　3
１．５　動作条件　3
１．６　NetAgent と NetViewer の役割　4
１．７　本取扱説明書での 記述について　5
１．８　NetAgent にできることは？　5
１．９　NetViewer にできることは？　6
１．１０　FNA-01 を使用するにあたって
お客様に用意していただくもの　7
１．１１　制御ホストを自動運転するために 必要な作業および器材 一覧　8
１．１２　オプション品および 接続通信ケーブル一覧　10
１．１３　FNA-01 制限事項　11
１．１４　本書の使用法　12

第２章　NetAgent のインストレーション　13〜18

２．１　NetAgent のセットアップ手順　14
２．２ａ　NetAgent の各部名称　14
２．２ｂ　各部機能説明　15
２．３　NetAgent の組み込み方法　17
２．４　制御ホスト接続　18

第３章　NetAgent を設定する前に　19〜26

３．１　解説　20
３．２　通常シャットダウンと 緊急シャットダウン　21
３．３ａ　シャットダウン・コマンド・シーケンス　22
３．３ｂ　シャットダウン・コマンド・シーケンス設定例　23
３．４　前処理、後処理について　24
３．５　シーケンス処理についての 概要図　25
３．６　制御ホストからのシャットダウン　26

第４章　NetViewer による NetAgent の設定　27〜56

第１部　NetViewer による NetAgent の設定にあたって
４．１．１　NetViewerーGUI での設定について　29
４．１．２　データ保管について　30
４．１．３　シーケンス処理について　30
４．１．４　NetViewer ソフトウェア構成　31
４．１．５　NetViewer からの NetAgent セットアップ手順概要　31

第２部　NetViewer 初期設定
４．２．１　プラットホームマシンのネットワーク接続　33
４．２．２　NetViewer のインストレーション　33
４．２．３　NetAgent の登録　34
４．２．４　NetAgent のアドレス自動取得　35

第３部　NetViewer 画面説明
４．３．１　NetViewer 画面構成　39
４．３．２　グループ画面　39
４．３．３　メンバー画面　40
４．３．４　Agent 画面　40

第４部　NetViewer Agent 画面 各部説明
４．４．１　出力端子の設定　43
１）出力端子の設定　43
２）パワーON の前処理　43
３）パワーON の後処理　43
４．４．２　入力端子の設定
１）入力端子設定　44
４．４．３　HOST ポートの設定
１）ポートの選択　45
２）シリアルポートの設定　45
３）通常シャットダウンの設定　46
４）緊急シャットダウンの設定　48
４．４．４　AUX ポートの設定　50
４．４．５　運用スケジュールの設定
１）スケジュール設定機能には　51
２）設定方法　51
３）個別スケジュールについて　52
４）制御ホストからの シャットダウンコマンド　52
４．４．６　UPS ヒストリ表示設定　53
４．４．７　NetAgent 設定データ印字　53

第５部　NetViewer のパスワードの設定
４．５．１　NetViewer のパスワードの設定　55

第5章　設定用コンソールによる NetAgent の設定　57～84

５．１　NetAgent と設定用コンソールの接続　58
５．２　コンソール画面メニュー 一覧　59
５．３　コンソール画面 各部説明　60

メニュー番号順

メインメニュー

(1)　Power On　61
(2)　Shutdown　61
(3)　Schedule　61
(3.1)　Weekly schedule　62
(3.2)　Spot schedule　63
(3.3)　Clear schedule　63
(4)　History　64
(5)　Setup　64
(5.1)　Power on sequence setup　65
(5.2)　Shutdown sequence setup　68
(5.2.1)　Emergent shutdwon (done by input channel status)　68
(5.2.2)　Normal shutdown (done by Host message)　69
(5.2.3)　Channel control timing　70
(5.3)　Shutdown procedure　74
(5.3.1)　Shutdown procedure(Edit & Redister)　75
(5.3.2)　Shutdown procedure(Trace & Register)　78
(5.3.3)　Serial port setup　80
(5.3.4)　Direct Host access　80
(5.4)　UPS Auto start mode　81
(5.5)　NetAgent setup　82
(6)　Current data and time　83
(7)　Direct channel control　83
(8)　NetAgent password　84
(9)　Logout　84

第6章　telnet による NetAgent の設定　85～86

第7章　制御ホストの設定　87～88

第8章　ハードウェア仕様　89～92

８．１　ピンアサイン　90
８．２　入出力端子　91
８．３　NetAgent ハードウェア仕様　92
８．４　NetViewer インストレーション 推奨マシン　92

第9章　画面表示一覧　93～96

９．１　NetAgent ログ表示一覧　94
９．２　NetViewer の NetAgent 画面 状況表示一覧　96

第10章　NetViewer による 停電発生のみの NetAgent 設定　97～110

第11章　設定用コンソールによる 停電発生のみの NetAgent 設定　111～120

第12章 こんな時は？　121～128

１２．１　現象と対処方法　122
１２．２　目的別 索引　124

第１章

FNA-01 について

（FullBackNetAgent）

１．１　はじめに

この製品は　サンケン電気社製 UPS　SHU・SAU シリーズの UPS に使用する　UNIX マシン・PC（WindowsNT4.0、NetWare マシン）を制御対象とする UPS 内蔵型の自動運転装置です。

各制御対象マシン（自動制御されるホストマシン）には、専用ソフトウェアをインストールせずに制御しますので、OS のバージョン・アップ等が発生してもソフトウェアの入れ替えが必要ありません。

１．２　FNA-01 とは？

■ FullBacKNetAgent（フルバックネットエージェント 以下 NetAgent）

UPS に内蔵し 制御ホストおよび UPS に動作を指示するボード

■ FullBacKNetViewer 試用版（フルバックネットビューア 以下 NetViewer）

NetAgent １台の設定を　ネットワーク上から 簡易的（GUI ベース）に設定できる
ソフトウェア（Windows95/NT4.0）

※ 複数台の NetAgent を一括制御する場合は 別売の FullBackNetViewer をご購入ください。

１．３　FNA-01 の特徴

1）制御ホストの自動シャットダウン処理機能

○ 停電、入力端子を トリガとした 自動シャットダウンを実施します。
○ スケジュールによる 自動シャットダウンを実施します。

2）制御ホストの立ち上げ処理機能

○ 停電復旧時の 自動立ち上げを実施します。
○ スケジュールによる 自動立ち上げを実施します。

3）制御ホストの シャットダウン手順、パワーアップ手順 登録機能

○ ＵＰＳの制御と 出力端子（２系統）の 動作手順を ０～３６００秒の間で
任意に手順付けられます。

4）緊急シャットダウン、通常シャットダウンの ２種類のシャットダウン方法が設定可能

○ 停電、入力端子をトリガとする 緊急シャットダウンと スケジュール、リモートスイッチ等での
通常シャットダウンを 別途設定できます。

5）ネットワーク上から UPS の状態監視機能

○ NetViewer を使用することにより UPS の電源電圧状態、UPS 構成データ、
UPS 運用ヒストリ、接続マシンの状態が監視できます。

１．４　パッケージ内容

FullBacKNetAgent ボード	１枚
FullBacKNetViewer 試用版（ＣＤ－ＲＯＭ）	１枚
取扱説明書	１冊

１．５　動作条件

１）NetAgent 対応機種

サンケン電気株式会社製 FULLBACK シリーズ UPS

ＳＨＵ　７０１	ＳＡＵ　２０２
ＳＨＵ　１０２	ＳＡＵ　３０２
ＳＨＵ　１５２	ＳＡＵ　５０２

２）NetViewer 試用版 対応機種（推奨）

ＣＰＵ	Pentium プロセッサ　１３３MHz 以上
メモリ	３２ＭＢ以上
ハードディスク	１５ＭＢ以上（ソフトウェア １０ＭＢ、ログ機能 ５ＭＢ）
ＣＲＴ	８００×６００（２５６色 以上　ハイカラー推奨）
ＯＳ	WindowsＮＴ4.0　Windows95、

注）本取扱説明書での記述は

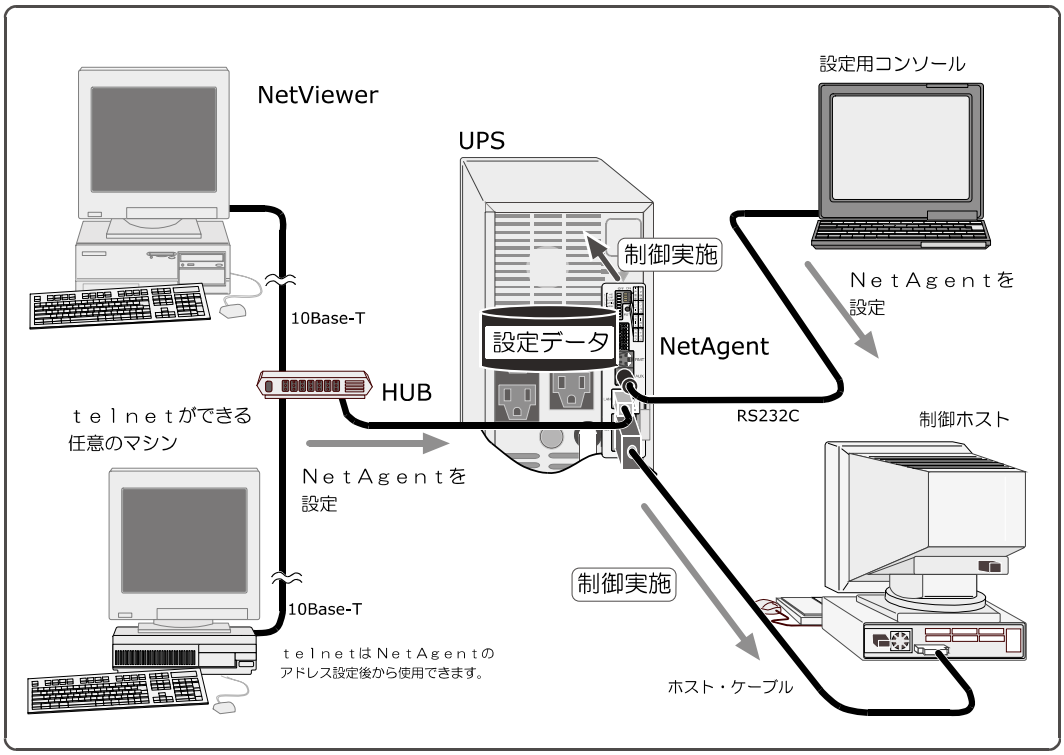
○ NetAgent の 制御対象マシン（シャットダウンされる マシン）を “ 制御ホスト ” としています。

○ NetAgent が　RS232C を使用し シャットダウンを実施する制御ホスト
（例 UNIX マシン）を “ シリアルホスト ”。 としています。

○ COM ポートに 接点信号を与えることにより シャットダウンを実施する制御ホスト
（例 WindowsNT4.0、NetWare マシン）を “ ネットワークＯＳ ” としています。

○本取扱説明書は NetViewer 試用版についての、説明に限定されています。

１．６ NetAgent と NetViewer の役割



１） NetAgent は 実際に UPS、制御ホストの制御を実行するもので 制御内容もすべて NetAgent が記憶しています。

NetAgent の設定は

- ○ NetViewer（ネットワーク上から）
- ○ 設定用 コンソール（NetAgent の RS232C から）
- ○ telnet ができる任意のマシン（ネットワーク上から） の ３種類があります。

設定データは NetAgent が保管し、停電等でネットワークがダウンしても 制御ホストを確実にシャットダウンできます。

２）NetViewer は 設定用のコンソールでの作業を ネットワーク上から簡易的（ＧＵＩベース）に実施するためのツールですが 、付属の機能として

- ○ NetAgent の アドレス自動取得（BOOTP）の際、アドレス通知を実施する（BOOTP サーバ）機能
- ○ ＵＰＳ、制御ホストの稼動状態を NetAgent から取得して 表示する機能
- ○ NetAgent をリモート制御する機能 があります。

NetAgent の設定後は 自動運転のために NetViewer を常に起動させておく 必要はありませんが、 制御ホストおよび ＵＰＳのモニタリングとして ご使用になれば、強力なツールとして活用できます。

１．７ 本取扱説明書での 記述について

本取扱説明書での 制御状態を表す 記述は下記のようになっています。

○ NetAgent の 制御対象マシン（シャットダウンされる マシン）を “ 制御ホスト ” としています。

○ NetAgent が RS232C を使用し シャットダウンを実施する制御ホスト
（例 UNIX マシン）を “ シリアルホスト ”。 としています。

○ ＣＯＭポートに 接点信号を与えることにより シャットダウンを実施する制御ホスト
（例 WindowsNT4.0、NetWare マシン）を “ ネットワークＯＳ ” としています。

○ 制御ホストに 電源供給を実施することを、“ パワーON ” と記述しています。

○ 出力端子を含む、 制御ホストの立ち上げ手順を “ パワーON・シーケンス ” と記述しています。

○ 制御ホストに シャットダウンの実行を指示することを “ シャットダウン ” と記述しています。

○ 出力端子を含む 制御ホストのシャットダウン手順を “ シャットダウン・シーケンス ” と
記述しています、 また シリアルホスト接続時 RS232C でのコマンドのやり取りを
“ シャットダウン・コマンド・シーケンス ” と記述しています。

１．８ NetAgent にできることは？

NetAgent は 制御ホストとＵＰＳを 制御するものです。

1）NetAgent１台で 下記の４タイプの制御ができます。

シリアルホスト …１台		計１台
ネットワークＯ／Ｓ…１台		計１台
シリアルホスト …１台	ネットワークＯ／Ｓ…１台	計２台
ネットワークＯ／Ｓ…２台		計２台

。

2）停電および入力端子をトリガとした シャットダウン・シーケンスを実施します。

3）スケジュールによる シャットダウン、パワーＯＮ・シーケンスを実行します。

4）リモート・スイッチから シャットダウン、パワーＯＮ・シーケンスを実行できます。

5）ダウンロードによる ソフトウェアのバージョンアップができます。

6）シャットダウン、パワーＯＮ・シーケンス実施時に 下記の動作手順を任意（0～３６００秒）に
設定できます。

○ ＵＰＳの給電時間、復電時間、
○ 出力端子 ２回路の ＯＮ，ＯＦＦ

7）ＵＰＳの電源電圧状態、ＵＰＳ構成、シャットダウン、パワーＯＮ実施等の履歴を記録します。

8）NetAgent 自身のアドレスを自動取得（BOOTP）を実施します。

9）ＬＡＮポート（１０Ｂａｓｅ－Ｔ）を使用して ネットワーク上の
○ NetViewer
○ 任意の telnet をサポートしているマシンに
設定・状態表示の通信を実施します。

１０）NetAgent の動作内容を NetViewer に送信します。

注）telnet を使用できるのは NetAgent アドレスが設定されてからです。

１．９ NetViewer にできることは？

1）NetAgent の 各設定をネットワーク上から ＧＵＩで簡易的に実行できます。

2）ネットワーク上から NetAgent に シャットダウン、パワーＯＮ開始の指示を発行できます。

3）ＵＰＳ、制御ホストの稼動状態を NetAgent から取得し データを表示します。

4）NetAgent の アドレス自動取得（BOOTP）の際 アドレス通知（BOOTP サーバ）を
実施します。

5）NetAgent ソフトウェア・バージョンアップ時の データ転送元（ＴＦＴＰサーバ）となります。
（TFTP の使用は メンテナンス・モードの機能で お客様は 通常 ご利用になりません）

１．１０　FullBacKNetAgent を使用するにあたってお客様に用意していただくもの

◎ 必ず必要なもの

1）ホストケーブル（オプション販売品）

制御ホストと NetAgent を接続するケーブルです。

型式	用途
◇ AHC-01	UNIX 用ホストケーブル
◇ AHC-02	WindowsNT（OS/2、LAN サーバ）・NetWare 用ホストケーブル

別途ご注文ください。

○ ご使用方法により必要なもの

1）１０Ｂａｓｅ－Ｔケーブル

NetAgent および NetViewer をネットワーク接続するときに必要です。

2）コンソール端末

NetViewer をご使用にならない場合 設定用コンソールで NetAgent を
設定する必要があります。　この場合、ＶＴ－１００モードを持つ ＲＳ２３２Ｃ端末、
または端末エミュレーション・ソフトによる同一機能を持つマシンをご用意ください。

3）コンソールケーブル（オプション販売品）

NetAgent の設定 および 制御ホストが “ ネットワーク OS×２台 ” の場合と
“ シリアルホスト×１台 ＋ ネットワーク OS×1 台 ” の場合使用します。

型式	用途
◇ ACC-S	NetAgent 設定用 AUX ケーブル
◇ ACC-01	WindowsNT 用（OS/2、LAN サーバ）・NetWare AUX ケーブル

4）リモートスイッチ（オプション販売品）

UPS 周辺で パワーON、シャットダウンをワンタッチ操作するリモコン・スイッチです。

型式	用途
◇ RSW-01	マグネットなし
◇ RSW-02	マグネットあり

１．１１ 制御ホストを自動運転するために必要な作業および器材 一覧

NetAgent、NetViewer、制御ホストに関して 設定する内容の概要を記述します、
くわしい内容については 各章をご参照ください。

NetAgent

UPS の確保

サンケン電気株式会社製 FULLBACK シリーズ UPS を使用します。

ＳＨＵ ７０１　　ＳＡＵ ２０２
ＳＨＵ １０２　　ＳＡＵ ３０２
ＳＨＵ １５２　　ＳＡＵ ５０２

UPS の選択

NetAgent ボードの UPS 設定を実施します。

接続機器取り付け

用途に合わせて ホストケーブル、コンソールケーブル、リモートスイッチ
10Base-T ケーブル、入出力端子用ケーブルを接続します。

設定用コンソールを使用する場合

コンソールの用意

NetViewer をご使用にならない場合 設定用コンソールで NetAgent を
設定する必要があります。　この場合、ＶＴ－１００モードを持つ ＲＳ２３２Ｃ端末、
または端末エミュレーション・ソフトによる同一機能を持つマシンをご用意ください。

コンソールケーブル

オプション販売品です。

コンソールの設定

NetAgent と通信できるよう RS232C ポートを設定します。

NetAgent の設定

コンソールから NetAgent に ログインし NetAgent を設定します。

NetViewer を使用の場合

NetAgent 用 LAN ケーブル

１０Base-T ケーブルを 用意します。

MAC アドレスを控える

NetAgent ボードに記載されている MAC アドレスを控えます。

NetAgent の LAN 接続

NetAgent を NetViewer と同一セグメント上に LAN 接続します。

NetAgent の設定

ＩＰの自動取得を実施ます。

NetViewer

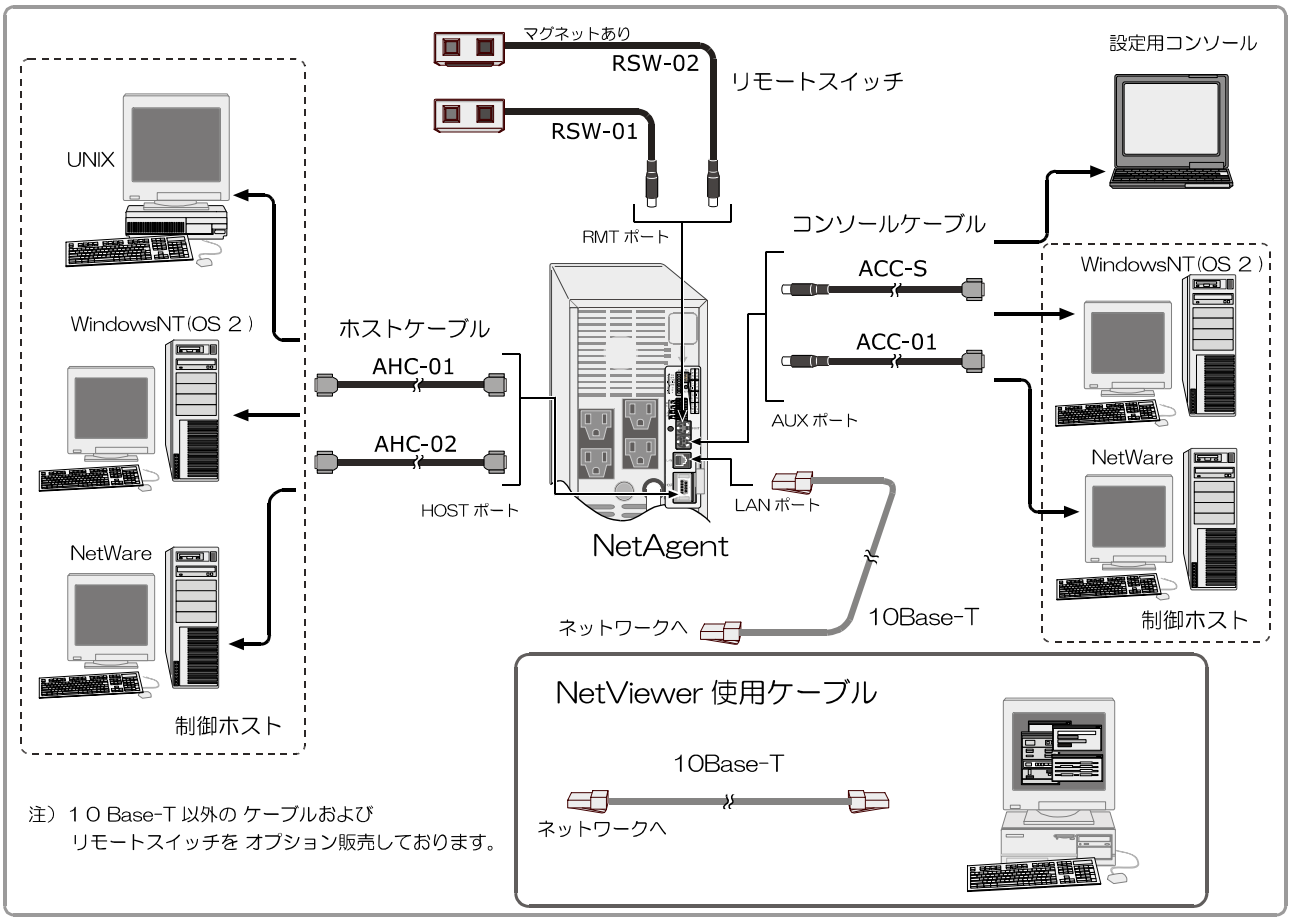
プラットホーム・マシンの確保
　　NetViewer を インストールする Windows９５／NT4.0 マシンを確保します。
NetViewer 用 LAN ケーブル
　　１０Base-T ケーブルを用意します。
プラットホーム・マシンの LAN 設定
　　プラットホーム・マシンの ネットワークの設定を実施します。
プラットホーム・マシンの LAN 接続
　　プラットホーム・マシンを NetAgentr と同一セグメント上に LAN 接続します。
NetViewer のインストール
　　CD-ROM から NetViewer のインストールキットを起動します。
NetAgent の設定
　　NetAgent の初期設定を実施し、NetAgent とネットワーク接続後、
　　NetAgent の設定を実施します。

制御ホスト

シリアル・ホストを制御する場合
　　NetAgent を接続する RS232C ポートの確保
　　　　NetAgent を接続するために RS232C ポートを占有させます。
　　NetAgent との接続
　　　　ホストケーブルで 制御ホストと NetAgent を接続します（オプション販売品)。
　　RS232C ポートから シャットダウンを実行できる設定
　　　　NetAgent と接続する RS232C ポートから シャットダウンが実行できる
　　　　設定を実施します。
　　NetAgent への ユーザ・アカウント作成
　　　　NetAgent 用に シャットダウンが実行できる権限をもつ ユーザ・アカウントを与え
　　　　NetAgent を接続する RS232C ポートから そのアカウントでシャットダウンを
　　　　実行し、その流れを控えます。

ネットワーク OS を制御する場合
　　NetAgent を接続する COM ポートの確保
　　　　NetAgent を接続するため COM ポートを占有させます。
　　NetAgent との接続
　　　　ホストケーブルで 制御ホストと NetAgent を接続します（オプション販売品)。
　　UPS サービス起動
　　　　NetAgent が 接続される COM ポートで UPS サービスが起動できるよう設定します。

１．１２　オプション品および 接続通信ケーブル一覧



ホストケーブル（オプション販売品）

AHC-01	UNIX 用ホストケーブル
AHC-02	WindowsNT 用（OS/2、LAN サーバ）・NetWare AUX ケーブル

コンソールケーブル（オプション販売品）

ACC-S	コンソールケーブル
ACC-01	WindowsNT 用（OS/2、LAN サーバ）・NetWare AUX ケーブル

リモートスイッチ（オプション販売品）

RSW-01	マグネットなし
RSW-02	マグネットあり

注）NetAgent 用 １０Base-T ケーブルは 標準ストレートケーブルを使用します、
お客様で ご用意ください。

１．１３ FullBacKNetAgent 制限事項

1）制御ホストを立ち上げる際 NetAgent は ＵＰＳの給電開始と 出力端子の制御だけを行い、
実際の立ち上げは 制御ホストの AutoBoot で行います。 したがって制御ホストは マシンの電源を
ＯＮしたときに、AutoBoot が起動できることが必要です。

2）制御ホストによっては システム・コンソール以外から スーパ・ユーザ（特権ユーザ）でログインしたり、
シャットダウン・コマンドを発行することが できないものがあります。 このような 制御ホストと
本機を接続するときは、あらかじめ この制限をはずず必要があります。
はずせない場合は FullBacKNetAgent では制御できません。

3）制御ホストが ＵＮＩＸマシンであれば RS232C ポートを １ライン占有します。

4）制御ホストが ネットワークＯＳであれば ＣＯＭポートを １ライン占有します。

5）ＵＮＩＸマシンに使用する場合 RS232C ポートでの シャットダウン・コマンドが、
制御マシンの システムコンソールや ｔｅｌｎｅｔ等の手順と違う場合があります。
NetAgent を接続する前に RS232C での シャットダウン・コマンドをご確認ください。

6）シーケンス処理実施中（パワーON、通常・緊急シャットダウン）ほかの シーケンスを実施する
モードになった場合（例 パワーON シーケンス実施中に 緊急シャットダウン処理が発生した場合）は
処理中の シーケンスが終了してから、次ぎの処理を実施します（ 例 パワーON シーケンス終了後
緊急シャットダウ・シーケンスを実行する）。

7）NetAgent は SNMP マネージャと NetViewer の混在は認めておりません、 SNMP マネージャを
ご使用になる場合は NetViewer を使用しないでください（NetAgent の IP 自動取得は ご使用に
なれます）。SNMP マネージャと NetViewer を混在して使用した場合は 動作を保証いたしません。

8）NetAgent のリセットボタンを 押すと 制御ホスト（ ネットワーク OS マシン Windows95/NT4.0）が
シャットダウンを実施する場合があります。リセットボタンを押す場合、制御ホストの運用に
支障ないよう お気おつけ設定してください。

１．１４ 本書の使用法

FNA-01 には 豊富な機能があり、お客様のご使用方法により
多彩な設定ができるようになっておりますが、 基本は制御ホストの 自動運転です。

ご使用に際しては、
NetViewer を使用する場合
“ 第 10 章 NetViewer による 停電発生のみの NetAgent 設定 “
コンソールを使用する場合
” 第 11 章 設定用コンソールによる 停電発生のみの NetAgent 設定 “ で
自動運転が実施できることを確認の上、それぞれの設定を追加していくと 理解しやすいと思います。

また “ 第１２章こんなときは？ ” で目的別 索引がありますのでご参照ください。

使用別 参照項目

1）入力端子、出力端子を使用せず 停電時のシャットダウンのみで ご使用になる場合

NetViewer を使用する場合
第 10 章 NetViewer による 停電発生のみの NetAgent 設定

設定用コンソールを使用する場合
第 11 章 設定用コンソールによる 停電発生のみの NetAgent 設定

2）入力端子、出力端子を使用せず 通常シャットダウン（スケジュール管理等）と 緊急シャットダウン（停電等）を ご使用になる場合

NetViewer を使用する場合
第 10 章 NetViewer による 停電発生のみの NetAgent 設定
第 4 章 4.4.3 緊急シャットダウンの設定
4.4.5 運用スケジュールの設定

設定用コンソールを使用する場合
第 11 章 設定用コンソールによる 停電発生のみの NetAgent 設定
第5章 5.3.1 Shutdown Procedure
(3) Schedule

2）入力端子、出力端子をご使用になる場合

NetViewer を使用する場合
第３、４、８章をご参照ください。

設定用コンソールを使用する場合
第３，５、８をご参照ください。

第２章

NetAgent のインストレーション

２．１　NetAgent のセットアップ手順

Step1)　組み込む UPS に合わせて NetAgent の UPS 選択スイッチ（Dip スイッチ ）を変更します。
（２－２ａｂ を参照してください）

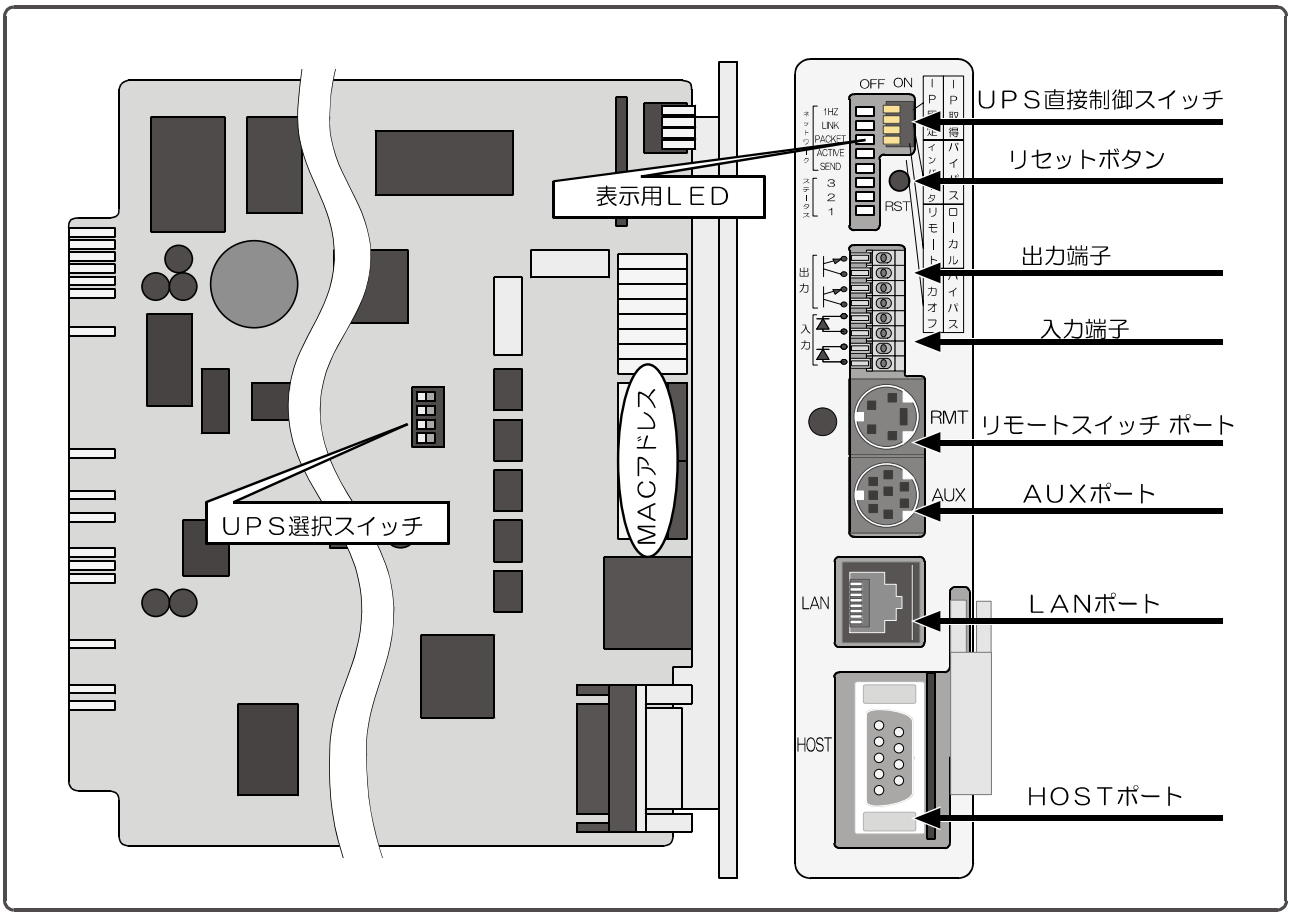
Step2)　MAC アドレスを控えます。（２－２ａｂ を参照してください）

Step3)　NetAgent を UPS に組み込みます。（２－３参照）

Step4)　NetAgent に 接続機器を取り付けます。（２－２ａｂ 、“ ハードウェア仕様 ” の章を
参照してください）

Step5)　NetAgent の 設定をします。
設定用コンソール使用の場合　　“ コンソールによる NetAgent の設定 ” の章
NetViewer 使用の場合　　“ NetViewer による NetAgent の設定 ” の章を
それぞれ ご参照ください。

２．２ａ　NetAgent 各部名称



２．２ｂ　各部機能説明

1）ＵＰＳ直接制御スイッチ

ＳＷ　Ｎｏ，	設定	状態	説明
1	ＯＦＦ	出力ＯＦＦ	ＵＰＳ停止時に出力断する
	ＯＮ	バイパス	ＵＰＳ停止時にバイパスから出力する
2	ＯＦＦ	リモート	遠距離操作を可能にする
	ＯＮ	ローカル	ＵＰＳのスイッチのみで操作する
3	ＯＦＦ	インバータ	インバータ出力を実施する
	ＯＮ	バイパス	バイパスのみで動作する
4	ＯＦＦ	ＩＰ固定	コンソールによりＩＰを設定
	ＯＮ	ＩＰ取得	NetViewerから アドレスを取得します

通常使用時は すべてＯＦＦの設定にします。

2）リセットボタン

ハードウェアをリセットした後で プログラムを再実行します。

3）リモートスイッチポート

パワーＯＮ、シャットダウン実行用のリモートスイッチ（NetAgent 専用）を
接続するポートです。

4）ＡＵＸポート

○ 設定用コンソールを 接続するポートです。

○ ネットワークＯＳの制御ホストを 接続するポートです。

ケーブルを 付け替えるだけで 選択できます。

5）ＬＡＮポート

Ethernet に接続する 10Base-T のポートです。

6）ＨＯＳＴポート

制御ホストを 接続するポートです、シリアルホスト、ネットワークＯＳ共通です。

7）表示用ＬＥＤ

	表示	状態
1	1KHz	１秒ごとに点滅
2	LINK	１０Ｂａｓｅ－Ｔが正常に接続されれば点灯
3	PACKET	ネットワーク上にＰＡＣＫＥＴが発生したときに点灯
4	ACTIVE	ＰＡＣＫＥＴを受けたときに点灯
5	SEND	ＰＡＣＫＥＴを出したときに点灯
6	3	ＬＥＤステータス
7	2	ＬＥＤステータス
8	1	ＬＥＤステータス

ＬＥＤステータス

１（点滅）	ＩＰ取得要求（ＢＯＯＴＰ）
２（点滅）	ＩＰ取得要求
１・２・３（全消灯）	ＩＰ取得失敗
１・２・３（全点灯）	ＩＰ取得成功（ＢＯＯＴＰ）
１・３（消灯） ２（点灯）	ＩＰ取得成功

8）ＭＡＣアドレス

NetAgent の ＭＡＣアドレスが 表示されています。 NetAgent の IP（アドレス）自動取得機能を使用する場合 このアドレスが 必要になります、 NetAgent を UPS に組み込む前に控えておいてください。

9）ＵＰＳ選択スイッチ

各機種共通

スイッチ４	OFF	ON
	50HZ	60HZ

機種別設定

機種名	スイッチ３	スイッチ２	スイッチ１
SHU７０１	OFF	OFF	OFF
SHU１０２	OFF	OFF	ON
SHU１５２	OFF	ON	OFF
SAU２０２	OFF	ON	ON
SAU３０２	ON	OFF	OFF
SAU５０２	ON	OFF	ON
未定義	ON	ON	OFF
未定義	ON	ON	ON

１０）入力端子 出力端子

入力端子

設定により 緊急シャットダウンのトリガとして 割り振ることができます。

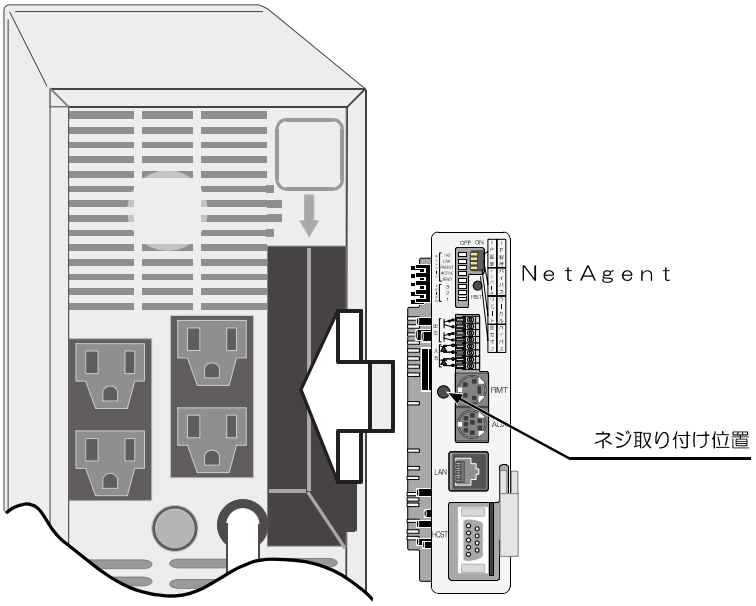
出力端子

設定により シャットダウン、パワーＯＮの手順として 組み込むことが
できます（ＯＮまたは ＯＦＦを 実行するかは 設定用コンソールおよび NetViewer で
設定します）。

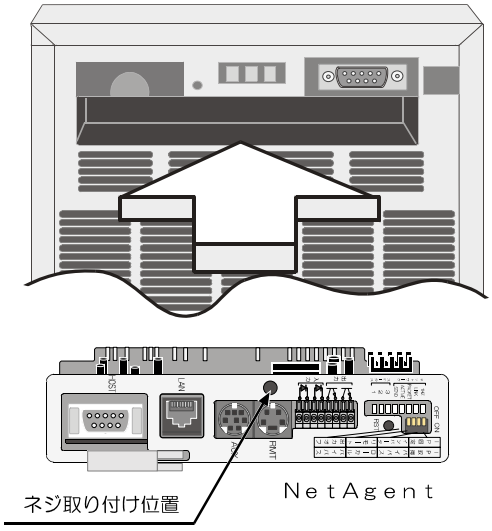
注）NetAgent の ON,OFF 状態の論理と、 接続機器の ON,OFF の論理が 違う場合があります。
接続機器の動作条件をご確認の上 設定してください（NetAgent の ON,OFF の論理は 第８章
ハードウェア仕様 をご参照ください）。

２．３　NetAgent の組み込み方法

ＳＨＵシリーズ



ＳＡＵシリーズ

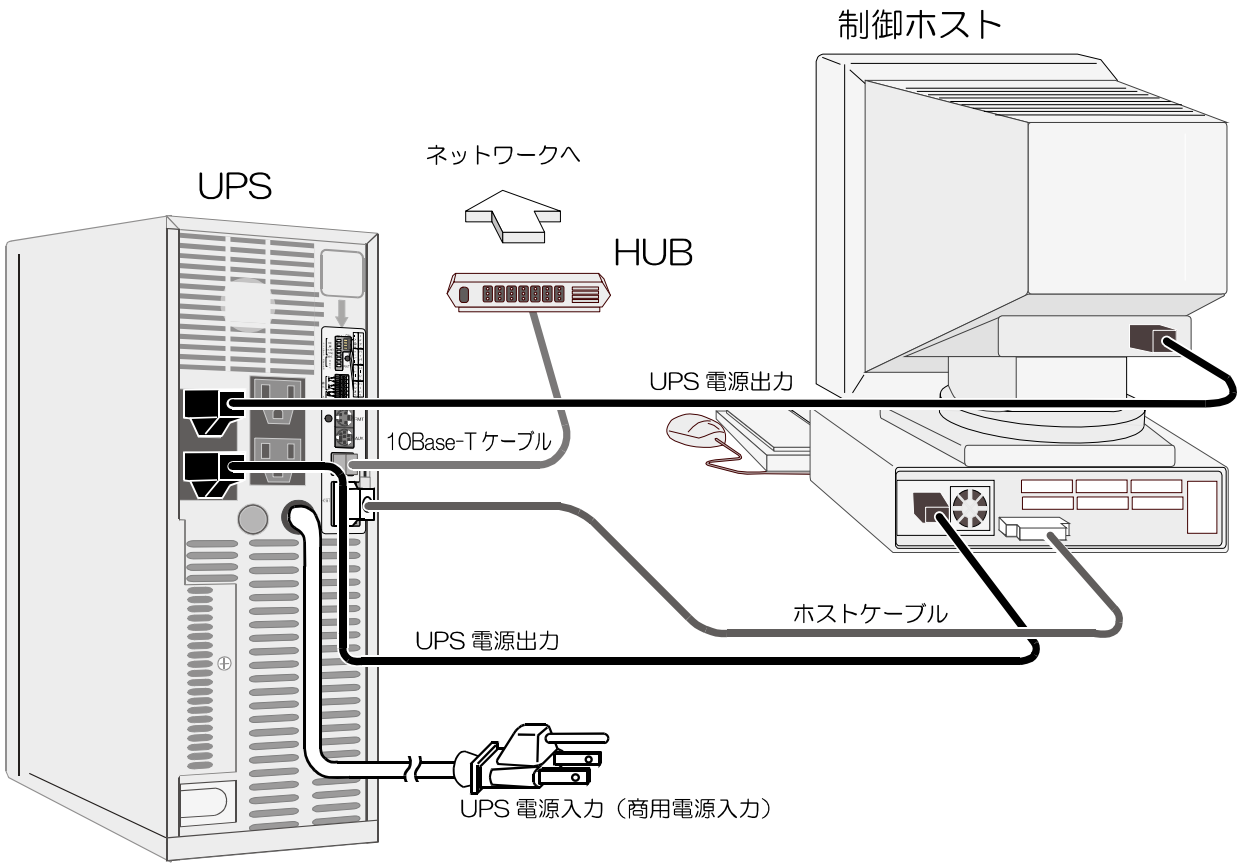


１）目隠し版を 取り ＮｅｔＡｇｅｎｔを 取り付けます。
２）目隠し版を止めていたネジで ＮｅｔＡｇｅｎｔを止めます。

注）NetAgent ボードを ＵＰＳに組み込み、取り外すときは 必ず ＵＰＳのスイッチをＯＦＦし
UPS の電源プラグをコンセントからはずしてください。

注）NetAgent の IP（アドレス）自動取得機能を使用する場合 MAC アドレスが 必要になります、
NetAgent を UPS に組み込む前に 控えておいてください。

２．４　制御ホスト接続



1）UPS 電源出力ソケットを 制御ホストに接続します。
2）NetAgent の ホストポートと 制御ホストの RS232C・COM ポートを ホストケーブルで接続します。
3）ネットワークを使用する場合 NetAgent の LAN ポートに 10Base-T ケーブルを接続します。
4）UPS の電源入力（商用電源入力）ソケットを 外部 AC 電源に接続します。

第３章

NetAgent を設定する前に

３．１　解説

NetAgent を設定するにあたって 特徴的な機能について説明します。

1） 通常シャットダウンと 緊急シャットダウンについて。
２通りの シャットダウン方法を設定する 必然性について説明します。

2） シャットダウン・コマンド・シーケンスについて
本書での シャットダウン・コマンド・シーケンスの 定義と説明をします。

制御ホストが ネットワーク OS の場合は 必要ありません

3） 前処理、後処理について
制御ホスト のパワーON を実行する前後、 および制御ホストに シャットダウンを
実行する前後に 出力端子の操作を実施する処理について 説明します。

出力端子を 必要としない制御では 必要ありません

4） 制御ホストからのシャットダウン
制御ホストから NetAgent へ （RS232C）シャットダウン実施の 文字列を
受けると NetAgent が 制御ホストのシャットダウンを実施する機能について説明します

制御ホストが ネットワーク OS の場合は 使用できませんので必要ありません

各解説で 必要ないところは読み飛ばし 次へ進んでください。

３．２　通常シャットダウンと 緊急シャットダウン

NetAgent は 下記の条件で 通常、緊急シャットダウンを実施します。

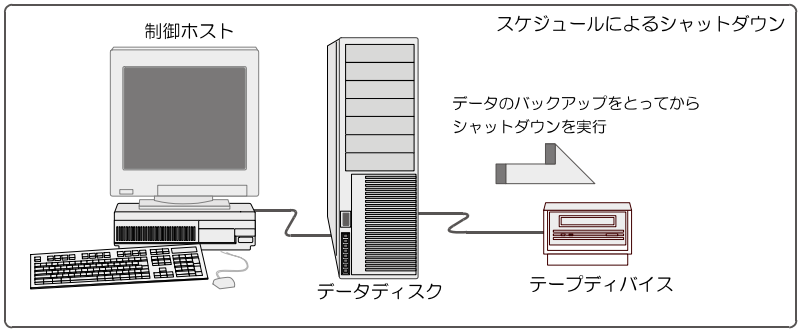
通常シャットダウン

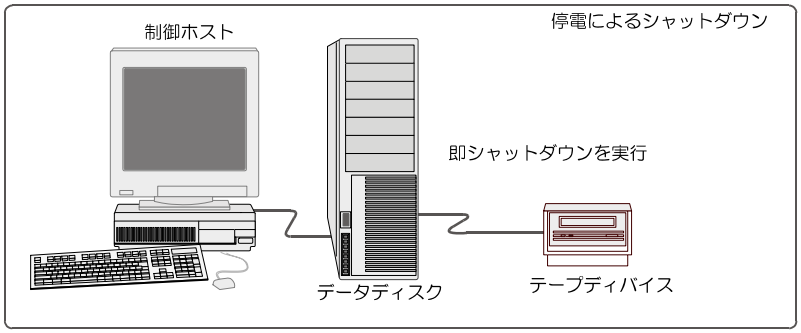
- ○ スケジュールによる シャットダウン実行
- ○ リモートスイッチ（別売）での シャットダウン実行
- ○ NetViewer の GUI スイッチでのシャットダウン実行
- ○ 制御ホストからのシャットダウン実行

緊急シャットダウン

- ○ 停電発生時のシャットダウン
- ○ 入力端子を 緊急シャットダウンのトリガとした場合

これは スケジュール等などで シャットダウンを実施する時に データのバックアップ、ファイルチェック等を実施後 シャットダウンしたい場合と、停電発生のように速やかに シャットダウンを実施したい場合を個別に設定できるようになっています。





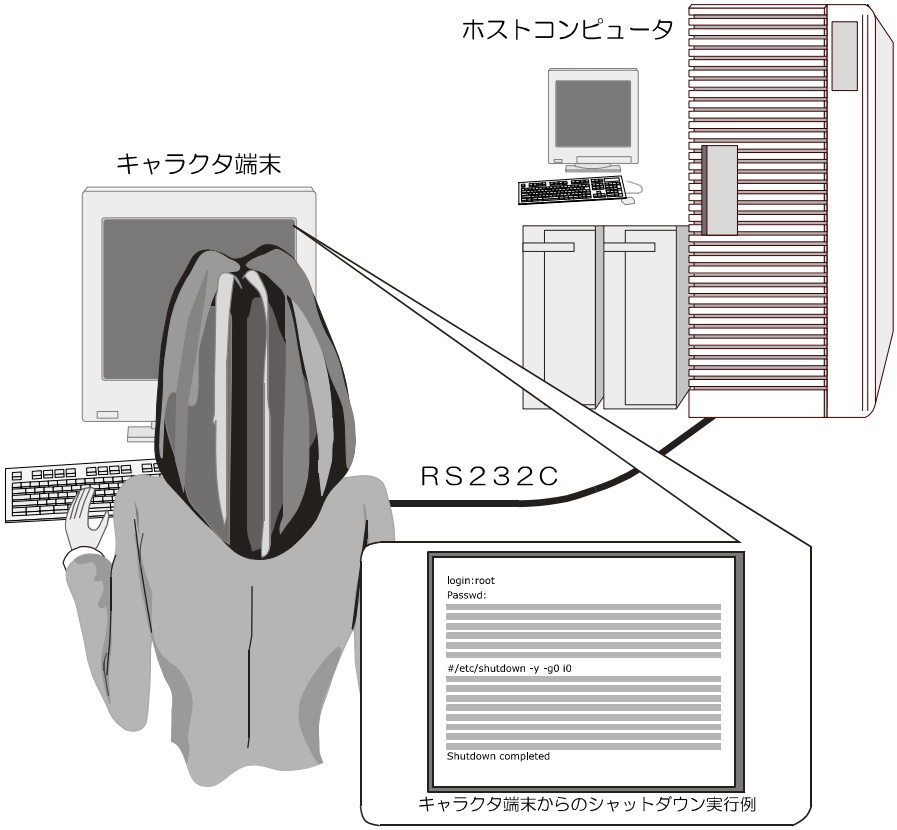
緊急シャットダウンの設定は UPS の電源バックアップ時間内に すべて終了するよう設定することが重要です
また 停電感知のみで ご使用の場合は 通常シャットダウンの設定後 緊急シャットダウンへの コピーが用意されていますので これをご使用ください。

３．３ａ　シャットダウン・コマンド・シーケンス

一般的に 制御ホスト（UNIX マシン等）の RS232C ポートで キャラクタ端末等から シャットダウンを実施する場合、　端末等から オペレータは

Login → Password → “ シャットダウン・コマンドの入力 ” 等を 順に入力します。

この手順を NetAgent に登録するのが シャットダウン・コマンド・シーケンスです。



オペレータが入力する文字列を

“ send ”

ホストコンピュータ（制御ホスト）から送られてくる文字列（トリガとなる文字列）を

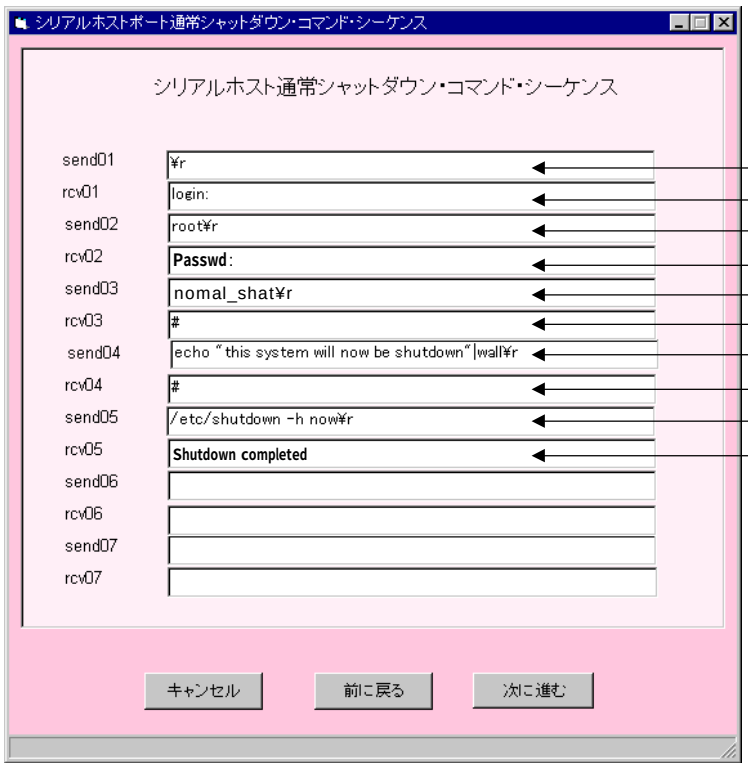
“ rcv ”　として

シャットダウン・コマンドの受け渡し（シャットダウン・コマンド・シーケンス）を NetAgent に登録します。

つぎに NetViewer を使用した設定例で シャットダウン・コマンド・シーケンスを説明します。

３．３ｂ　シャットダウン・コマンド・シーケンス設定例

実際の NetViewer の GUI 設定で、シャットダウン・コマンド・シーケンスの説明をします。



制御ホストの RS232C に接続した 端末が シャットダウンを実行する

○ 入力コマンドと同じものを　　send

○ 制御ホストから発行されるトリガとなる文字列を　　rcv　に入力します。

注１）シャットダウン・コマンド・シーケンスは RS232C による シャットダウン・コマンドを使用する（UNIX マシンで使用する）もので ネットワーク OS の設定の場合 この画面は表示されません。

注 2）制御ホストの RS232C を使用したシャットダウン実施は、 制御ホストのシステム・コンソールや telnet 等を 使用した場合と シャットダウン・コマンド・シーケンスが違う場合があります。
必ず 制御ホストの RS232C からの シャットダウンを確認後 設定してください。

注 3) “ リターンキー ”、ESC、Ctrl-D 等を必ずご確認の上 設定してください。

リターンキー	￥ｒ、＼ｒ	
ESC キー	￥ｅ、＼ｅ	
Ctrl-D	￥ｄ、＼ｄ	となります。

３．４　前処理、後処理について

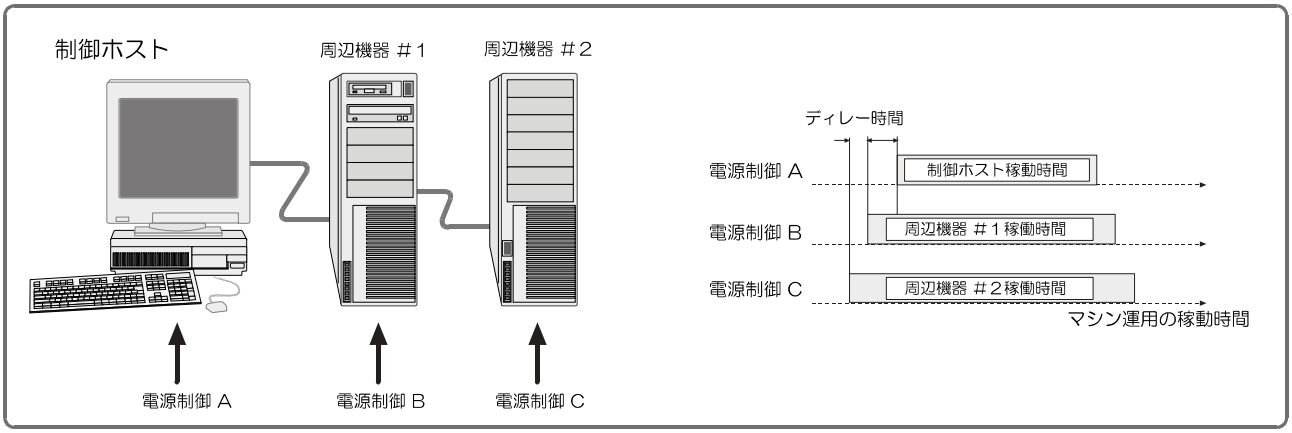
実際に マシンの立ち上げ処理や シャットダウン処理を 実施する場合

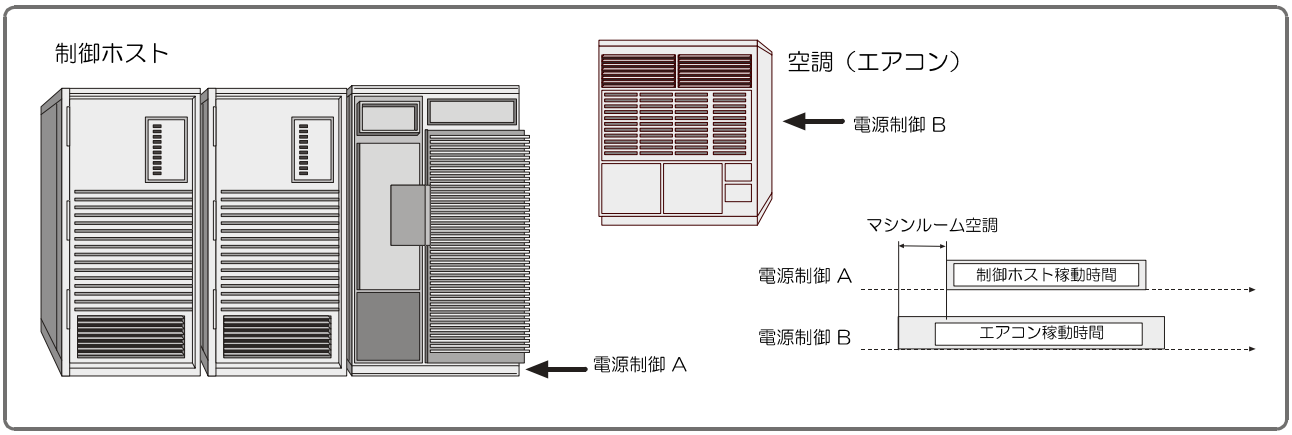
○ 突入電流（電源ＯＮと同時に一瞬 高い電流が流れる状態）緩和のため
適当な時間差を持たせて パワーON を実施する。

○ 周辺機器が 自己診断プログラムを終了してから、制御ホストと接続を開始するため、
周辺機器の診断プログラム終了後 制御ホストを立ち上げなければいけない時。

○ エアコンを動作させ マシンルームの 温・湿度が 一定になってから マシンを立ち上げる。

などの 制御マシンを 動作させる 前、もしくは 後 に周辺機器を連動させたい 場合があります。





NetAgent は

○ 制御ホストの 電源を上げる（立ち上げ） 前の出力端子動作 および 後の出力端子動作の
タイミングと論理を ０～３６００秒（1 秒刻み）で任意に設定できます。

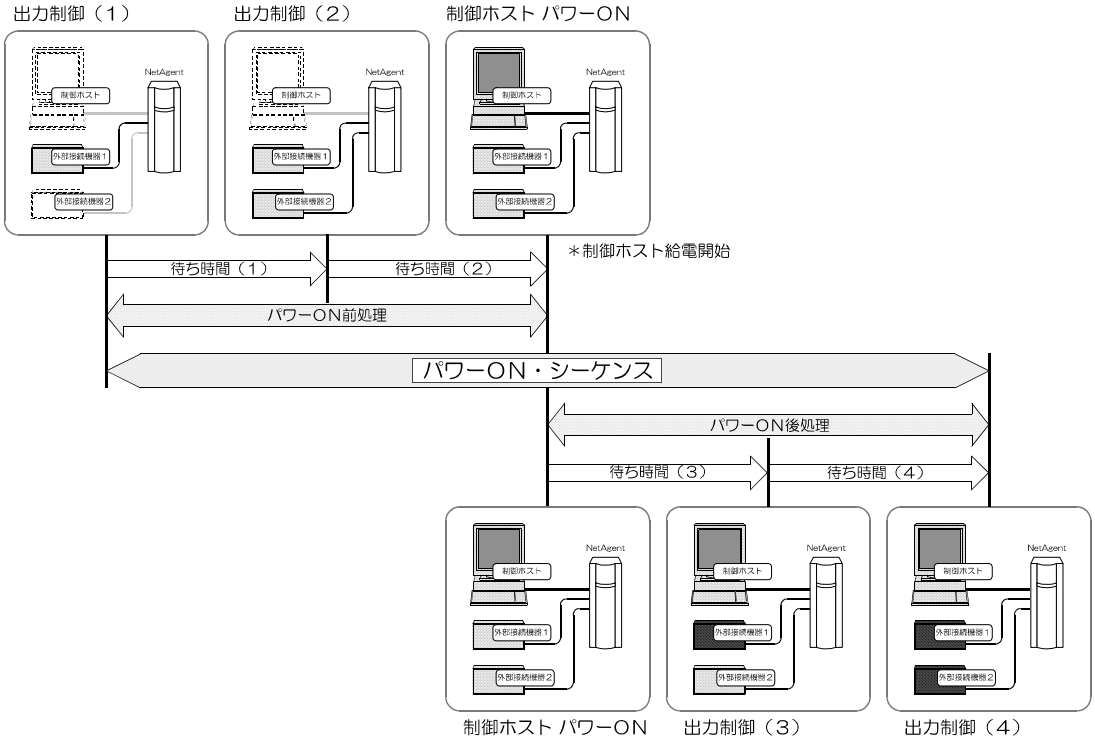
○ 制御ホストの シャットダウンを実施する 前の出力端子動作 および 後の出力端子動作の
タイミングと論理を ０～３６００秒（1 秒刻み）で任意に設定できます。

○ 本取扱説明書では 制御ホストの 立ち上げ、シャットダウン制御に連動して、
外部出力端子を制御することを シーケンス制御と 記述しています。

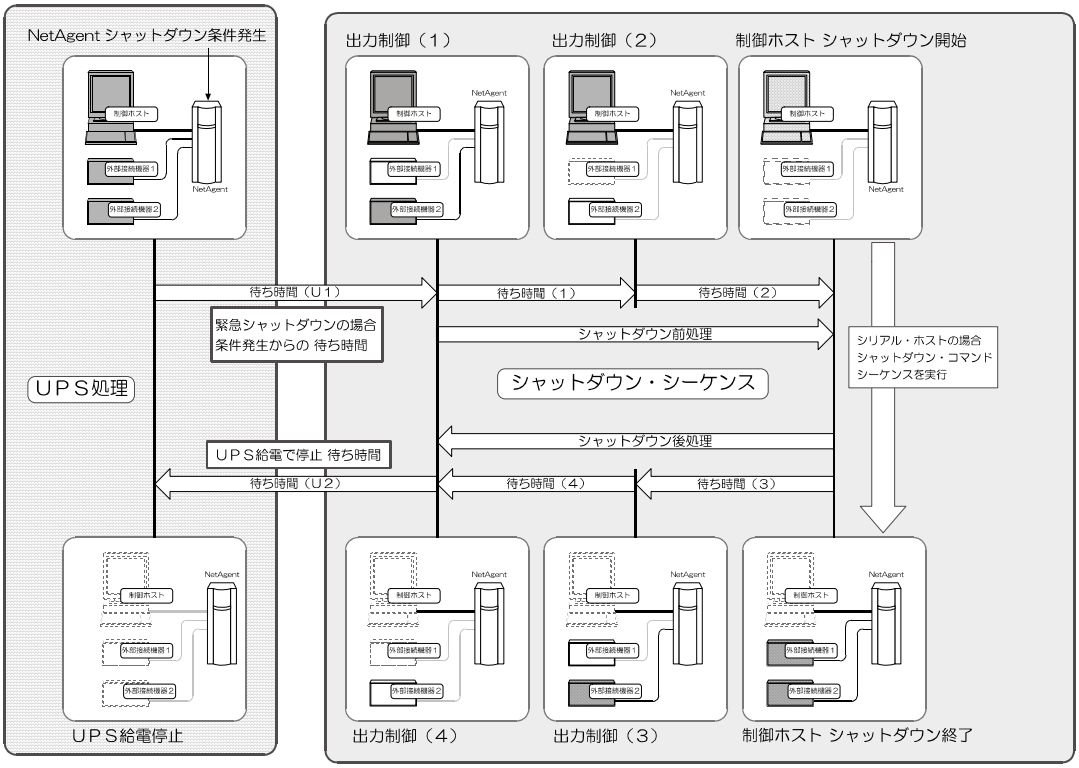
３．５ シーケンス処理についての 概要図

シーケンス処理（ シーケンス処理とは パワーON・シャットダウン・シーケンス の両方をさします）の流れを 下記のようになります。

パワーON・シーケンスについて

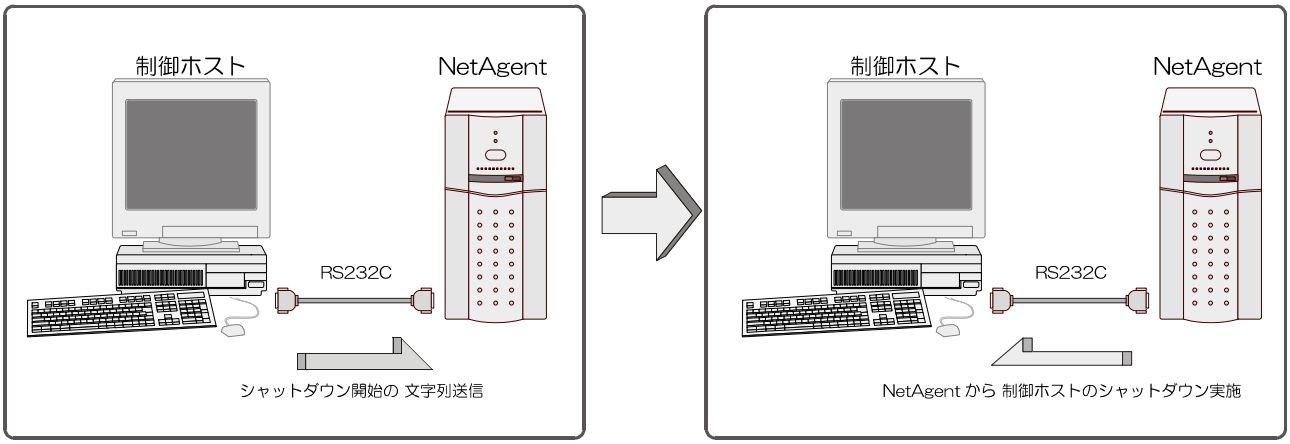


シャットダウン・シーケンスについて

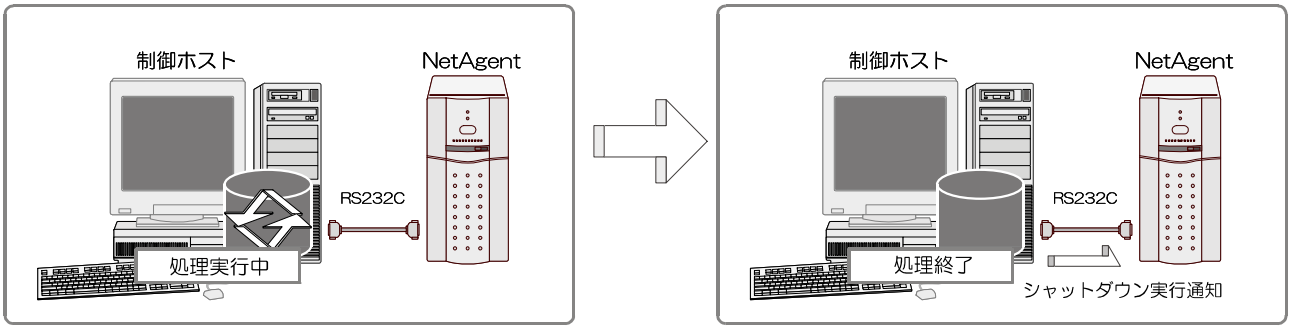


３．６　制御ホストからのシャットダウン

NetAgent は 制御ホスト（UNIX マシン使用時のみ可能）からシャットダウン実行の 文字列を
受ける（RS232C）ことにより 制御ホストのシャットダウンを実施する機能があります。



制御ホストの 処理終了時間が未定の場合（終了時間が 確定できない場合)、 制御ホストの処理終了後
制御ホストから RS232C で NetAgent に 文字列を発行させ、 NetAgent が シャットダウンを実施します。
制御ホストが 処理終了後 自分でシャットダウンをしてしまうと、 NetAgent からのシャットダウンを
実行を認識していないため、 翌日のパワーON を実行できません。
このため NetAgent に シャットダウンを実行させて、翌日のスケジュール通りに パワーON を
実施させなければいけません。



この機能は “ 特定のユーザが login している場合 シャットダウンを実施しない ”、
“ コンパイル終了後シャットダウンを実施する ” 等を 監視しながら シャットダウン時間に冗長性を
持たせて実施できます。
（制御ホスト内の 監視プログラムは システム管理者とご相談のうえ お客様でご作成ください）

注）制御ホストから シャットダウンの文字列を NetAgent に送る場合、 文字の取りこぼしが
　　発生する場合があります。 必ず 2 回以上 NetAgent に送信してください。

第４章

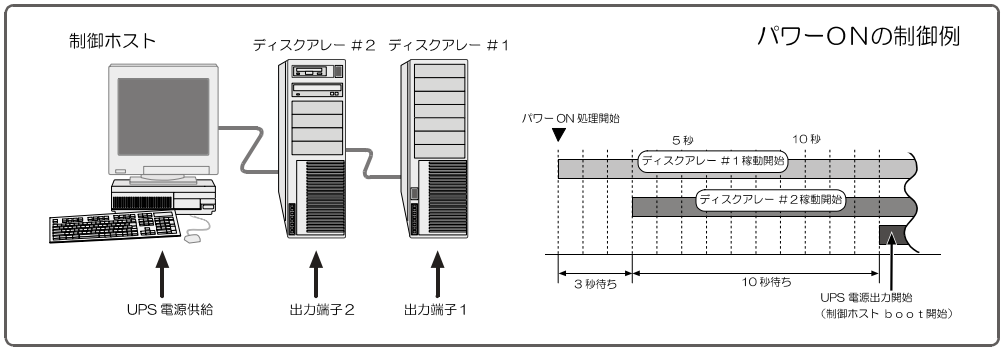
NetViewer による NetAgent の設定

第１部　NetViewer による NetAgent の設定にあたって

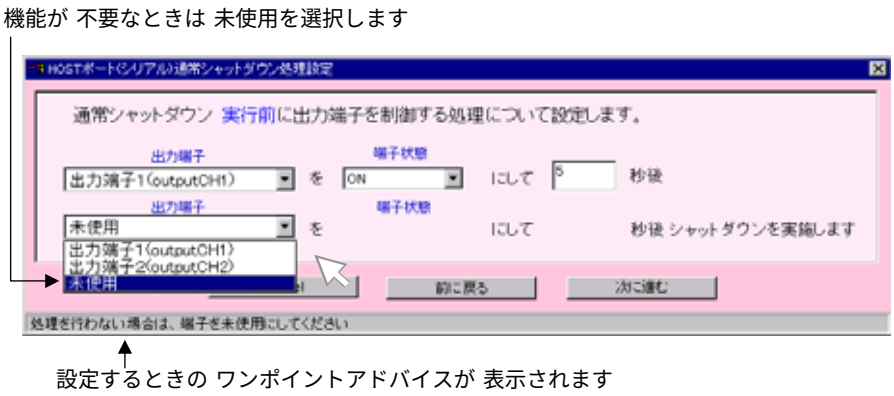
４．１．１ NetViewer―GUI での設定について

NetViewer は NetAgent の設定および 状態表示を行う GUI ベースのソフトウェアです。
設定は 文章を作成する形式で入力や選択を するよう作られていますので、 “ NetAgent でどんな動作を実行させたいか？ ” が決まれば、 簡単に 複雑な制御を登録できます。　　また 設定項目が 必要ないときは “ 未使用 ”を選択すると 入力項目が削除されますので、使用したい 機能以上の設定は不要です。
また タスクバー、バルーン HELP が 各画面にありますので、その指示にしたがって簡単に設定できます。

パワーＯＮ処理を例にとって説明します。



上記のように 周辺機器 ディスクアレー ＃１／＃２が接続されている 制御ホストで、突入電流緩和のため ディスクアレー＃１／＃２に ３秒のディレーを持たせ電源ＯＮを実行し、その後（１０秒後）
制御ホストの電源をＯＮする パワーＯＮ処理（立ち上げ手順）を設定するとします。
NetViewer で設定する場合



出力端子１（ディスクアレー ＃１） を ON にして 3 秒後

出力端子２（ディスクアレー ＃２） を ON にして １０ 秒後にＵＰＳ・ＯＮを実施します。

という構文を作成する形で設定します。

４．１．２　設定データ保管について

NetViewer で設定された 動作内容は NetAgent が保管します、このため NetViewer から NetAgent にデータが送信されて はじめて記録されます、NetAgent への データ書き込みは 主に NetViewer の 更新 ボタンを押すことにより実行されます。 これは 停電等で ネットワークが使用できなくても、NetAgent 単体で 制御ホストを シャットダウンさせるためです。

４．１．３　シーケンス処理について

本書では 各手順を 下記のように定義しています。

制御ホストに 電源供給を実施することを、“ パワーON ”とし 出力端子を含む、 制御ホストの立ち上げ手順を “ パワーON・シーケンス ”と記述しています。

制御ホストに シャットダウンの実行を指示することを “ シャットダウン ”とし 出力端子を含む制御ホストのシャットダウン手順を “ シャットダウン・シーケンス ”と記述しています。

制御ホストが シリアルホストの場合、 NetAgent と制御ホストが RS232C で シャットダウンのコマンドのやり取りを実施する手順を “ シャットダウン・コマンド・シーケンス ”と記述しています。

また UPS 処理として 本書では下記のような状況を想定しています。
○ 停電復旧後 UPS から電源供給を 自動的に開始するか？
○ 通常シャットダウン・シーケンスが終了してから UPS の供給電源を停止するまでの時間
○ 緊急シャットダウン・シーケンスが終了してから UPS の供給電源を停止するまでの時間
○ 停電発生から シャットダウン・シーケンスを開始するまでの時間

４．１．４　NetViewer ソフトウェア構成

NetViewer の ソフトは下記の ４つから構成されてます。

１） AgentSet.exe
NetAgent のアドレス等の初期設定、及び NetAgent の管理対象を NetViewer または SNMP マネージャを選択するセットアップ・プログラムです。

２） NetViewer.exe
NetViewer 本体の プログラムです 1 台の NetAgent の設定、制御、監視を実施します。

３） Passwd.exe
NetViewer ソフトウェアを使用するパスワードを設定するプログラムです。

４） Maint.exe
NetAgent のメンテナンス専用プログラムで、 UPS のバッテリ交換等で使用するプログラムです（一般のお客様は ご使用になれません)。

４．１．５　NetViewer による NetAgent のセットアップ手順 概要

Step１） NetViewer をインストールする PC（Windows95/NT4.0 のマシン　以下プラットホームマシン）をネットワーク接続します。（ ４－２ を参照してください）

Step2） プラットホームマシンに NetViewer をインストールします。
（ ４－３ を参照してください）

Step3) プラットホームマシンで NetAgent の初期設定を実施します。

Step4) NetAgent から NetAgent のアドレス自動取得（IP 取得）を実施します。

Step5) プラットホームマシンから NetAgent の設定を実施します。
NetAgent を設定するに あたって次の順番で実施してください

１）出力端子の設定
これを 1 番先に設定することより 使用しない端子は未使用となり、その他の設定を簡易にします。
２）入力端子の設定
３）HOST ポートの設定
４）AUX ポートの設定
５）その他の設定
運用スケジュール、UPS ヒストリ設定

第２部　NetViewer 初期設定

４．２．１　プラットホームマシンのネットワーク接続

NetViewer をインストールするプラットホームマシンは　WindowsNT4.0 もしくは Windows95 を使用し 設定する NetAgent と同一セグメント上に ネットワーク接続してください。
プラットホームマシンが 違うセグメントの場合 ネットワーク管理者にご相談の上 プラットホームマシンのネットワーク接続および設定を NetAgent と同一セグメントに変更してください。
（ルータが ブロードキャスト・メッセージを 違うセグメントに流す 設定になっている場合は
違うセグメントでも NetAgent の設定は可能です、 ご確認の上ネットワーク接続してください。）

※同一セグメント上に NetViewer を接続するのは BOOTP を実行し NetAgent の IP 自動取得を実施するためです、設定用コンソールで NetAgent の アドレス等を設定した場合は 上記の作業は必要ありません。

４．２．２　NetViewer のインストレーション

Windows が正常に動作しているのを確認し ＣＤを ＣＤ－ＲＯＭドライブにセットしてください。
ＣＤドライブの フォルダを 開き Setup.exe を起動し 画面に従い インストールを実行してください。

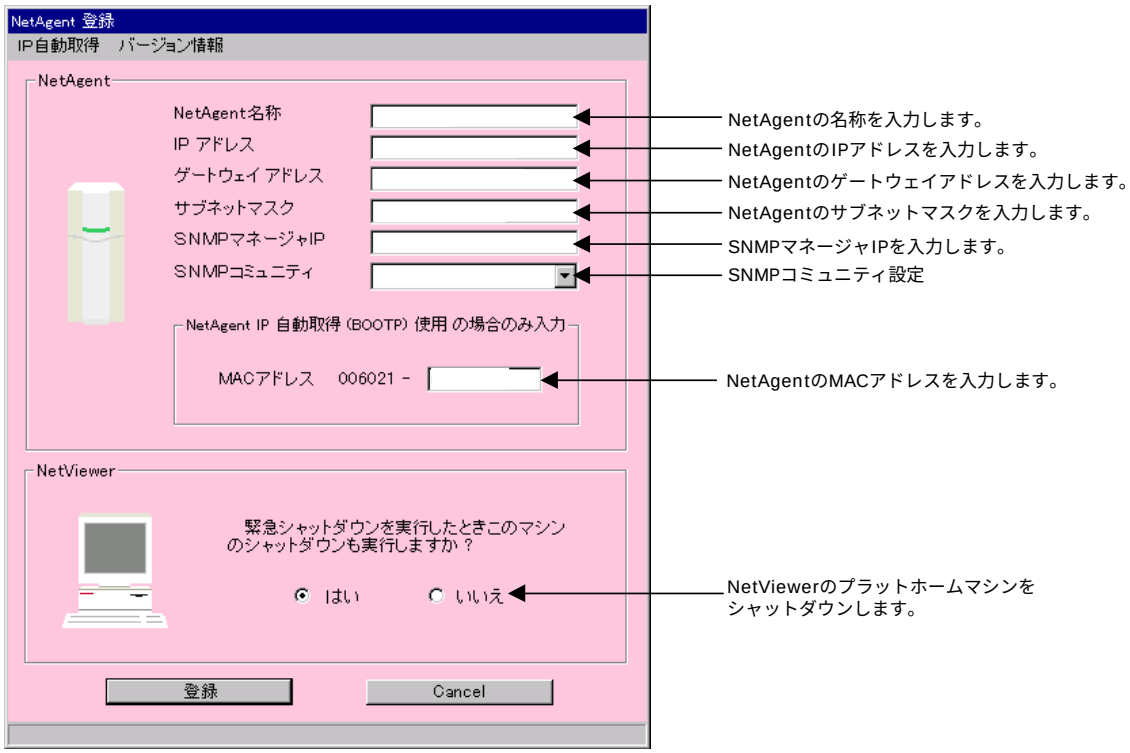
NetViewer のインストール・ディレクトリは固定で

“ C:¥Program Files¥DSC￥FullBack¥NetViewre 試用版 ” です。

４．２．３　NetAgent の登録

プラットホームマシンの C:¥Program Files¥DSC￥FullBack¥NetViewre 試用版 のディレクトリから AgentSet.exe ファイルを起動し 設定をする NetAgent のアドレス登録等の初期設定を実施します。

AgentSet.exe を起動します。



◇1　NetViewer を使用する場合 設定が必要なもの

1）NetAgent の名称
2）NetAgent の IP アドレス
3）NetAgent のゲートウェイアドレス
4）NetAgent のサブネットマスク

◇2　NetAgent の IP 自動取得をする場合 設定が必要なもの

1）◇1の ４項目
2）　MAC アドレス
NetAgent の MAC アドレスは NetAgent ボードに記載されています、くわしくは
第２章 NetAgent の設定 NetAgent 各部名称 をご参照ください

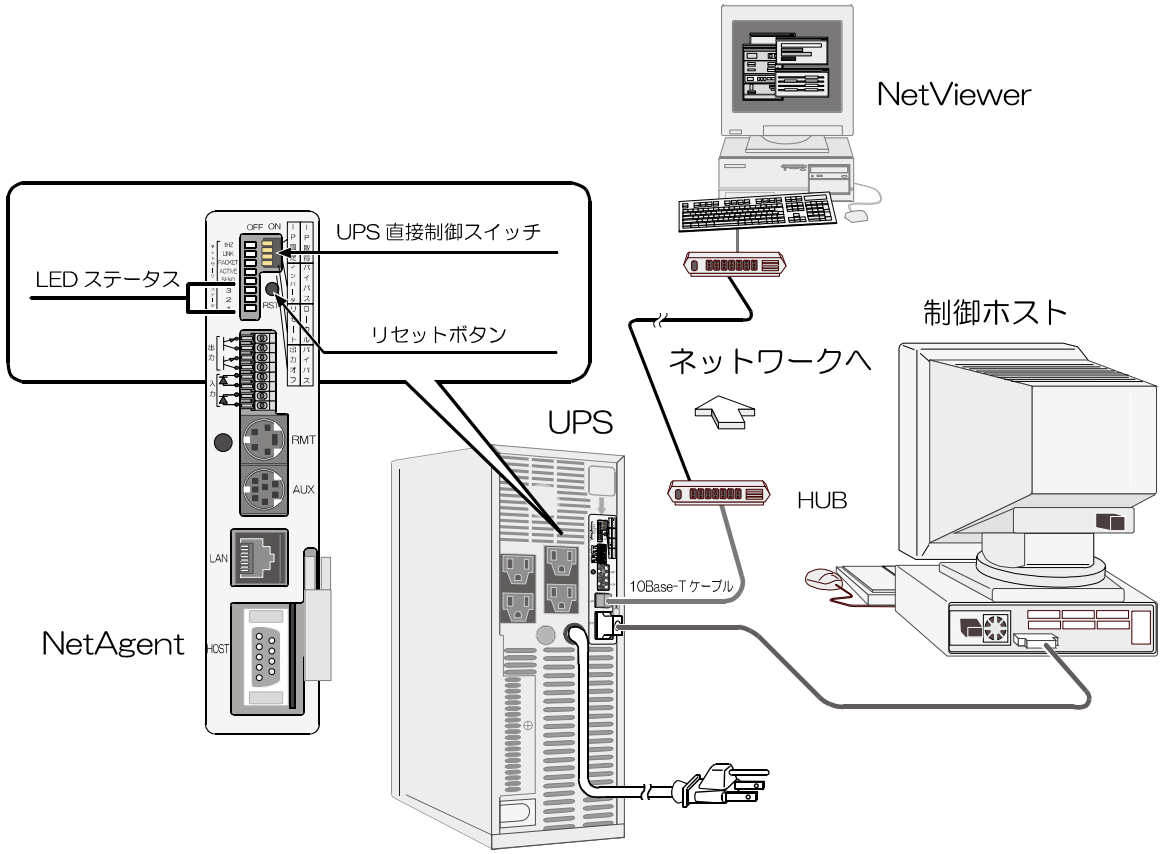
◇3　SNMP マネージャを使用する場合

1）◇1の ４項目
2）SNMP マネージャ IP アドレス
3）SNMP コミュニティ設定

設定が終了しましたら 登録 ボタンを押し　IP の自動取得を実施しない場合は、NetAgent の登録画面と内容確認画面を終了します。　NetAgent の IP の自動取得は 次の項をご参照ください。

注）ＳＮＭＰマネージャを設定した場合 NetViewer は使用できません。

４．２．４　NetAgent の アドレス自動取得（IP 取得）



設定手順

作業は 記述されている順に実施してください、 “ NV ” は NetViewer で実施する作業、
“ AG ” は NetAgent で実施する作業です。

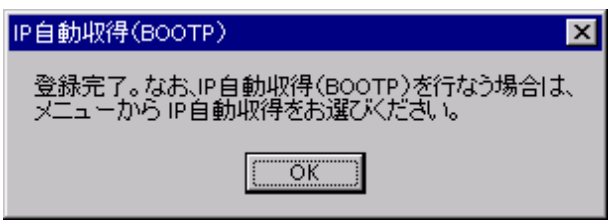
AG 作業１）NetAgent の MAC アドレスを控え、 NetAgent をインストレーションします。

AG 作業２）UPS のパワーを ON します。

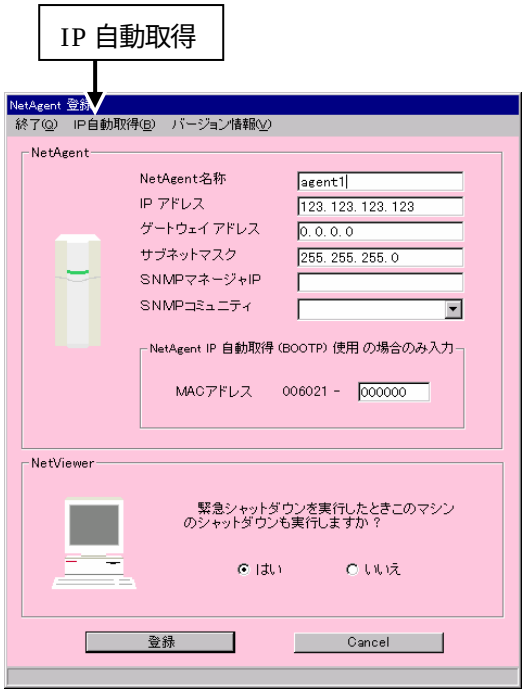
NV 作業１）AgentSet.exe を起動し、“ NetAgent 登録 ” 画面で アドレス等の設定をし 登録 ボタンを押します。

NV 作業２）“ NetAgent 登録内容確認 ” 画面で OK ボタンを押します。

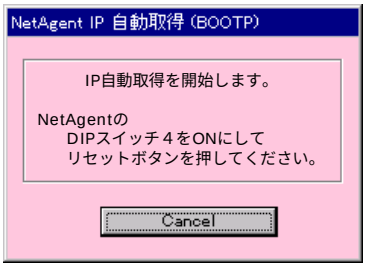
NV 作業３）右記の画面で
OK ボタンを押します。



NV 作業４）右記の画面から
“ IP 自動取得 ”を
選択します。

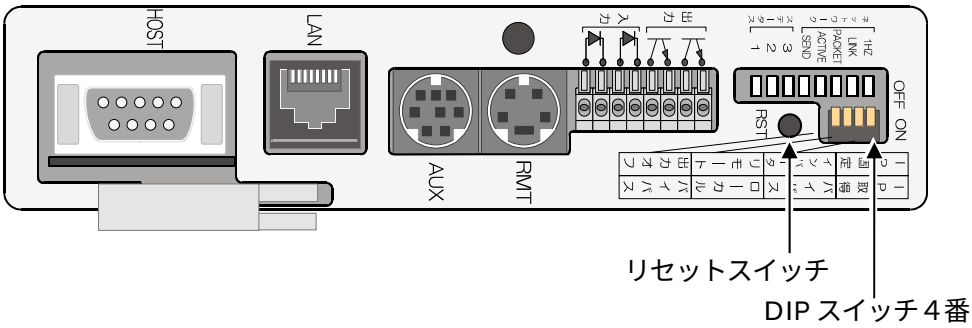


NV 作業５）下記の画面が表示されます。



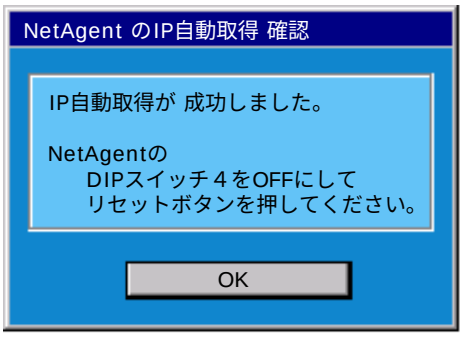
AG 作業３）

○ NetAgent の DIP スイッチ４番を ON にします。
○ NetAgent の リセットスイッチを 押します。



NV 作業 6）

NetAgent の IP 自動取得が成功した場合

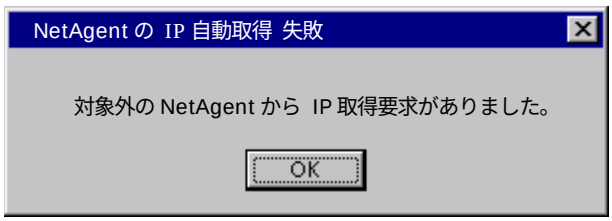


左記の画面が表示されます。

OK ボタンを押し AgentSet.exe を終了します。

通常は 5～１０秒で 取得が可能です。

NetAgent の IP 自動取得が失敗した場合



１分以上 “ NV 作業５ ” の画面のままか、 もしくは左記の画面が表示されます。

失敗の原因

○ IP 自動取得 失敗の画面が 表示され場合

AgentSet.exe で設定した MAC アドレスが違います。

○ “ NV 作業５ ” の画面のまま 確認画面が表示されない場合

①AgentSet.exe で設定した アドレスが違う。

②NetAgent と NetViewer が 同一セグメント上に接続されていない。

③NetViewer の プラットホーム・マシンのネットワーク設定が
正しく設定されてない。

④ネットワーク・ケーブルが正しく接続されていない。

等が 考えられます、 ご確認の上 再度作業を実施してください。

NetAgent の IP 自動取得が 成功した場合

AG 作業４）

○ NetAgent の DIP スイッチ４番を ＯＦＦにします。

○ NetAgent の リセットスイッチを 押します。

以上の作業で NetAgent と NetViewer が通信できるようになります。

第３部　NetViewer 画面説明

４．３．１ NetViewer 画面構成

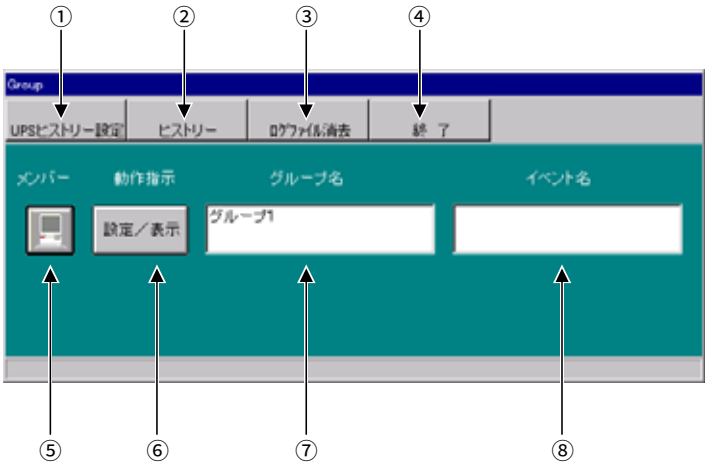
NetViewer グループ画面、メンバー画面、Agent 画面の 3 種類の構成になっておりますが NetViewer 試用版は NetAgent1 台の設定に制限されていますので Agent 画面の使用が主になります。　グループおよびメンバー画面は おもに 複数台の NetAgent を制御する場合に用いる画面ですので その一部しか動作いたしません。

また NetAgent の初期設定（AgentSet.exe）で SNMP マネージャの設定を実施した場合 NetViewer は使用できません。

NetViewer を起動します。

プラットホームマシンの C:¥Program Files¥DSC￥FullBack¥NetViewre 試用版 ディレクトリから NetViewer.exe を起動します。

４．２．２　グループ画面



① UPS の稼動状態を 確認するタイミング（分単位）を設定します。

② NetViewer と NetAgent の通信内容及び NetAgent の動作内容の記録を表示します。

③“ ② ”の記録を消去します。

④ NetViewer を終了します。

⑤ メンバー画面に移ります。

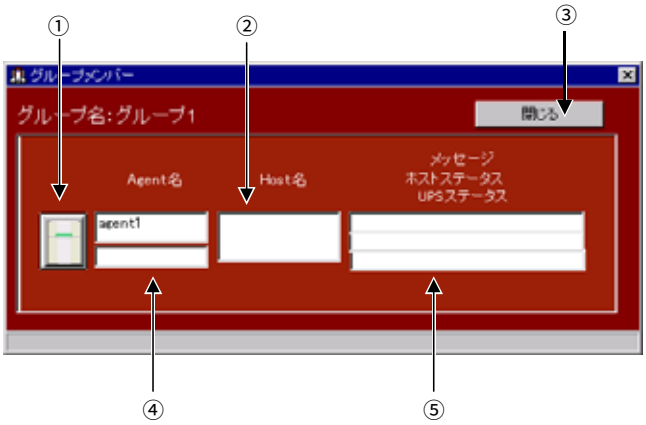
⑥ NetViewer 試用版 では使用しません。

⑦ NetViewer 試用版 では使用しません。

⑧NetViewer 試用版 では使用しません。

NetAgent の設定は ⑤ ボタンを押してください。

４．３．３　メンバー画面



①　Agent 画面に移ります。

②　NetAgent の HOST ポートに接続された マシン名が表示されます。

③　グループ画面に移ります。

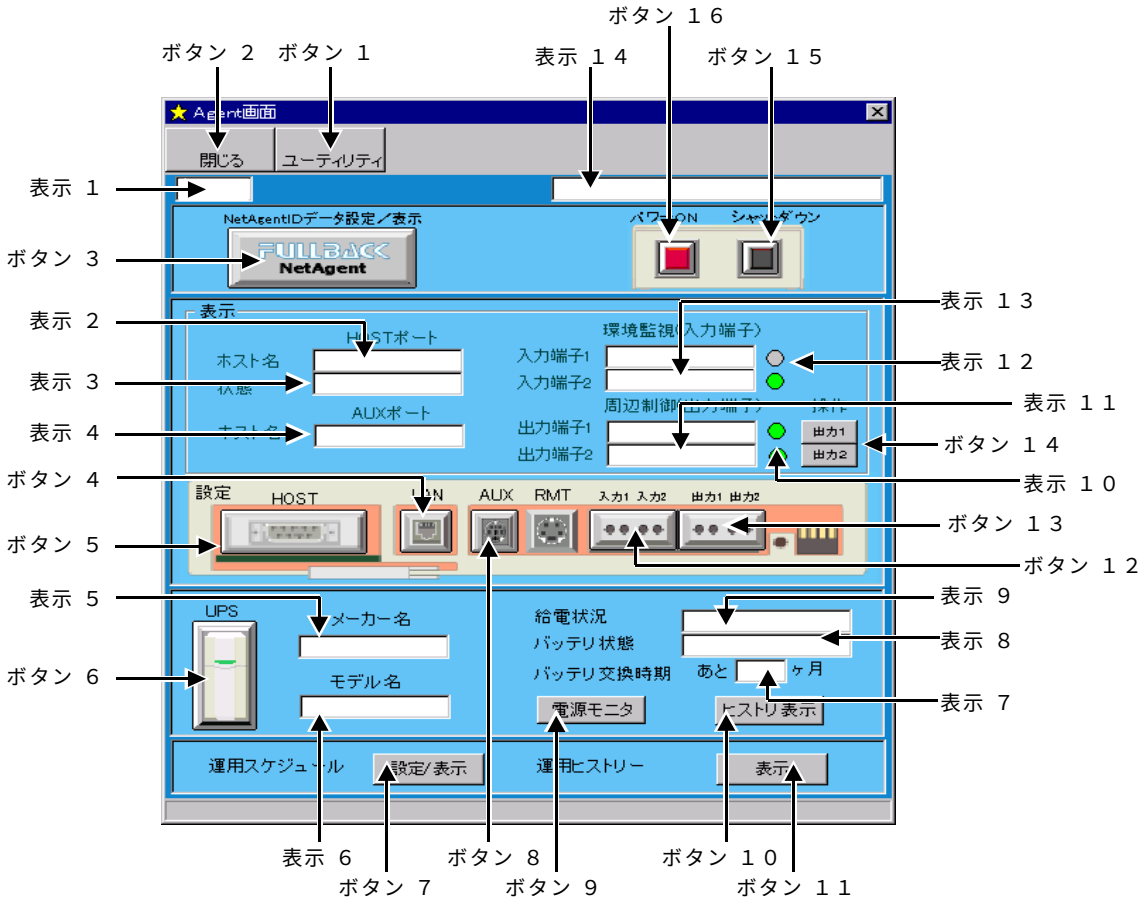
④　NetAgent の名称が表示されます。

⑤　NetAgent の状態を表示します（NetViewer 試用版では 使用しません）。

NetAgent の設定は ①を押してください。

４．３．４　NetViewer Agent 画面

◇ Agent 画面各部名称



◇ NetAgent 画面表示部

1） NetAgent の名称を表示します。
2） HOST ポートに接続されたマシンの名称を表示します。
3） HOST ポートに接続されたマシンの状態を表示します。
4） AUX ポートに接続されたマシンの名称を表示します。
5） UPS のメーカー名を表示します。
6） UPS のモデル名を表示します。
7） UPS のバッテリ交換時期を表示します。
8） UPS のバッテリ稼動状態を表示します。
9） UPS の給電状態を表示します。
１０） 出力端子の状態を表示します（ON：グリーン OFF：グレー）。
１１） 出力端子１，２の接続機器名を表示します。
１２） 入力端子の状態を表示します（ON：グリーン OFF：グレー）。
１３） 出力端子１，２の接続機器名を表示します。
１４） NetAgent に対するコメント文を表示します。

◇ NetAgent 画面ボタン部

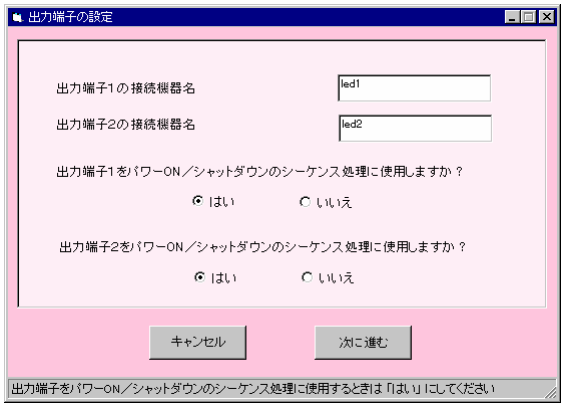
1） NetAgent の設定データをプリントアウトします。
2） グループ画面に移ります。
3） NetAgent の IP およびファーム情報表示 コメント文（表示部 １４出力）を入力します。
4） アドレスの設定、表示
　４－１）NetAgent 名称、MAC アドレス、IP アドレス、サブネット・マスク ゲートウェイ・IP を 表示します。
　４－２）NetViewer の IP アドレスを表示します。
　４－３）NetAgent プログラムの TFTP ホスト・アドレス、TFTP ファイル名を入力します。
5） HOST ポートに接続された 制御ホストの設定を入力します。
6） UPS 構成データを表示します。
7） NetAgent の運用スケジュールを設定します。
8） AUX ポートに接続されるマシン名を入力します。
9） UPS の電源入出力をモニタします。
１０） UPS の電源入出力の履歴を表示します。
１１） NetAgent の動作履歴を表示します。
１２） 入力端子の設定を入力します。
１３） 出力端子の設定を入力します。
１４） NetAgent に出力端子の ON/OFF を指示します。
１５） NetAgent に通常シャットダウンを指示します。
１６） NetAgent にパワーON を指示します。

第４部　Agent 画面 各部説明

４．４．１　出力端子の設定

ボタン１３ を押すと 出力端子の設定ができます。

１）出力端子の設定



画面 出力端子（1）

○ 出力端子を 使用する場合 接続機器名を キー入力しください。
○ 各出力端子を パワーON／シャットダウン・シーケンスに使用の場合は “ はい ” しない場合は “ いいえ ” を選択してください。

出力端子１，２共に “ いいえ ” を選択すると 画面 出力端子（2）（3）は表示されません。
設定が終了しましたら 次に進む を 選択します

２）パワーON の前処理

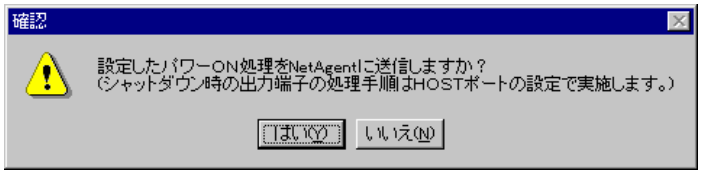
画面 出力端子（2）

３）パワーON の後処理

画面 出力端子（3）

使用しない場合 “ 出力端子 ” のボックス内に 未使用の項目がありますので それを選択します。
設定が終了しましたら 更新 を 選択します。

４）パワーON 処理 設定確認



画面 出力端子（4）

更新 を選択しますと NetAgent にデータを送信します。

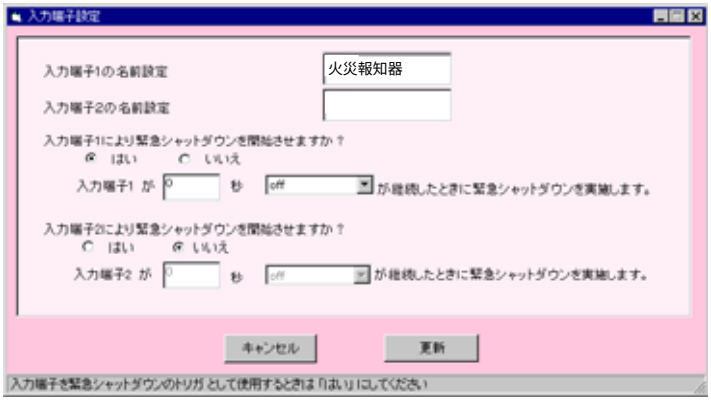
出力端子の パワーON シーケンスの作成が終了しました、 シャットダウンのシーケンスは HOST ポートの設定で実施します。 はい を選択して Agent 画面に戻ります。

注）NetAgent の出力端子の論理と 接続機器の論理をご確認の上 接続してください、
出力端子の論理は “ 第１０章 ハードウェア仕様 ” をご参照ください。

４．４．２ 入力端子の設定

ボタン １２を選択すると 入力端子の設定ができます。

１）入力端子設定



画面 入力端子（1）

○ 入力端子を 使用する場合 接続機器名を キー入力しください。
○ 各入力端子を 緊急シャットダウンのトリガとして使用の場合は “ はい ”
しない場合は “ いいえ ” を選択してください。
○ “ はい ” を選択の場合 条件を入力してください。設定が終了しましたら 更新 を 選択します。

注）入力端子は ０．８秒以上の継続がなければ 検知できません（パルス入力のような信号は検知できません)。
したがって 設定時間 0 秒の場合は 入力を NetAgent が 検知したと同時に
緊急シャットダウン・シーケンスを実施しますが，１秒以下のディレーが発生します。

注）NetAgent の入力端子の論理と 接続機器の論理をご確認の上 接続してください、
出力端子の論理は “ 第１０章 ハードウェア仕様 ” をご参照ください。

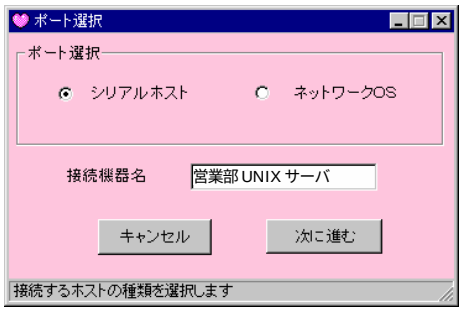
４．４．３　HOST ポートの設定

HOST ポートに接続されている 制御マシンの下記について設定します。

- ○ 通信
- ○ シャットダウン・シーケンス（通常、緊急）
- ○ UPS 処理

出力端子の設定で 出力端子１，２共に 使用しないを選択した場合 画面 HOST ポート（３）（５）は表示されません。

１）ポートの選択



画面 HOST ポート（１）

- ○ シリアルホスト　　RS232C を使用する（UNIX マシン等）制御マシン
- ○ ネットワーク OS　　COM ポートを使用する（WindowsNT4.0、NetWare 等）制御ホストを選択します。

- ○ HOST ポートに接続された 制御ホスト名を キー入力します。

※１ ネットワーク OS を選択すると 画面 HOST ポート （２）（４）は表示されません。
※２ 「シリアルホスト」と「ネットワーク OS」を切り替える時には、必ず「緊急シャットダウン」の設定で 更新 ボタンを押してください。

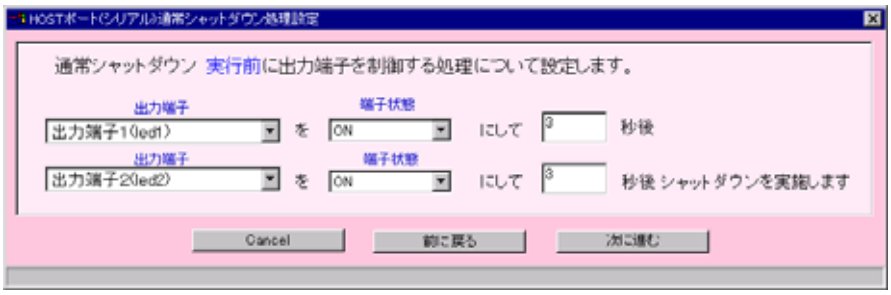
２）シリアルポート設定

画面 HOST ポート（２）

画面 HOST ポート（１）で シリアルポートを選択した場合、 制御ホストとの RS232C での通信設定を入力します

3）通常シャットダウン設定

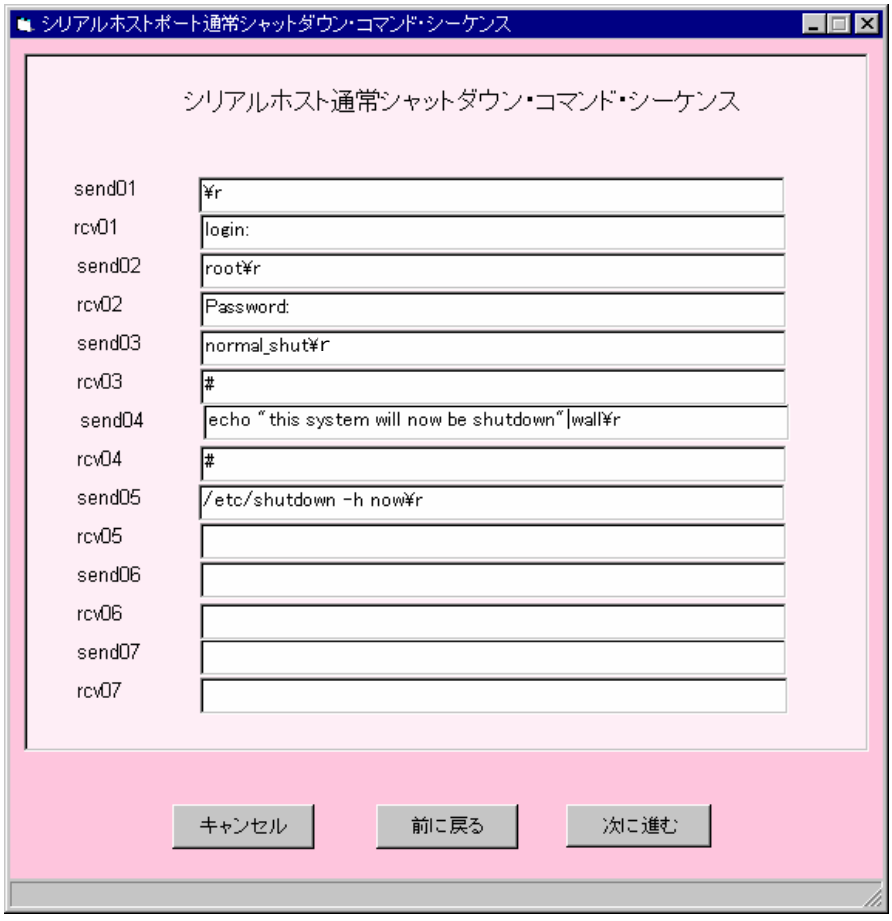
3－1）通常シャットダウン前処理 設定



画面 HOST ポート（3）

出力端子の制御を 制御ホストの 通常シャットダウン実行前に行うか？を設定します。使用しない場合、“ 出力端子 ” の項目から 未使用を選択します。

3－2）通常シャットダウン・コマンド・シーケンス設定



画面 HOST ポート（4）

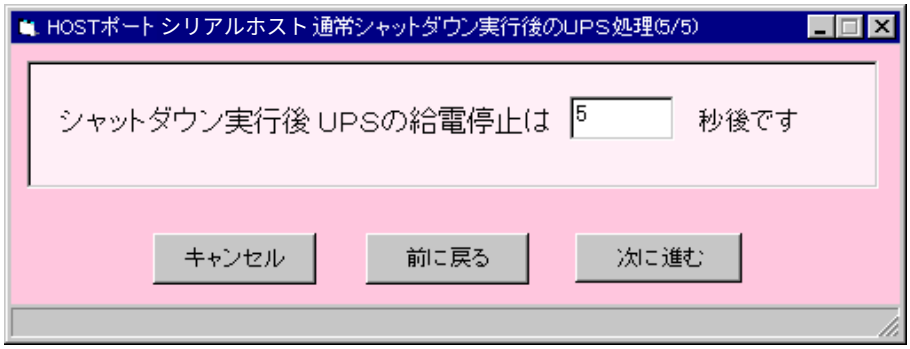
ポートの選択で シリアルホストを選択した場合 制御ホストを 通常シャットダウンする コマンド手順を設定します。

３－３）通常シャットダウン 後処理

画面 HOST ポート（5）

出力端子の制御を 制御ホストの 通常シャットダウン実行後に行うか？を設定します。使用しない場合、
“ 出力端子 ” の項目から 未使用を選択します。

３－４）通常シャットダウン UPS 処理



画面 HOST ポート（6）

画面 HOST ポート（3）（4）（5）の処理が終了してから UPS の給電停止までの時間を キー入力します。

３－５）緊急シャットダウンへの シャットダウン・シーケンス コピー

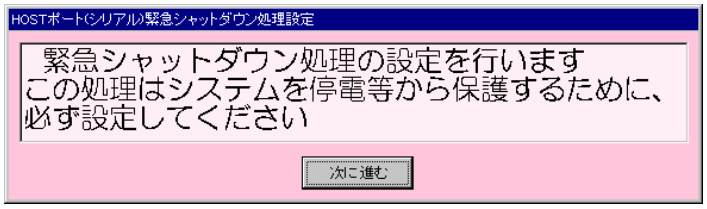
画面 HOST ポート（7）

必ず [はい] を押し 通常シャットダウン（スケジュール、リモート・スイッチ等）のシャットダウン手順と
緊急シャットダウン（停電、入力端子）のシャットダウン手順に コピーを実施します、コピー後も
緊急シャットダウンの シーケンスを変更することは可能です。

※ [いいえ] を押した場合、必ず 入力変更を実施して [更新] を実施してください。

４）緊急シャットダウン設定

４－１）確認画面



画面 HOST ポート（8）

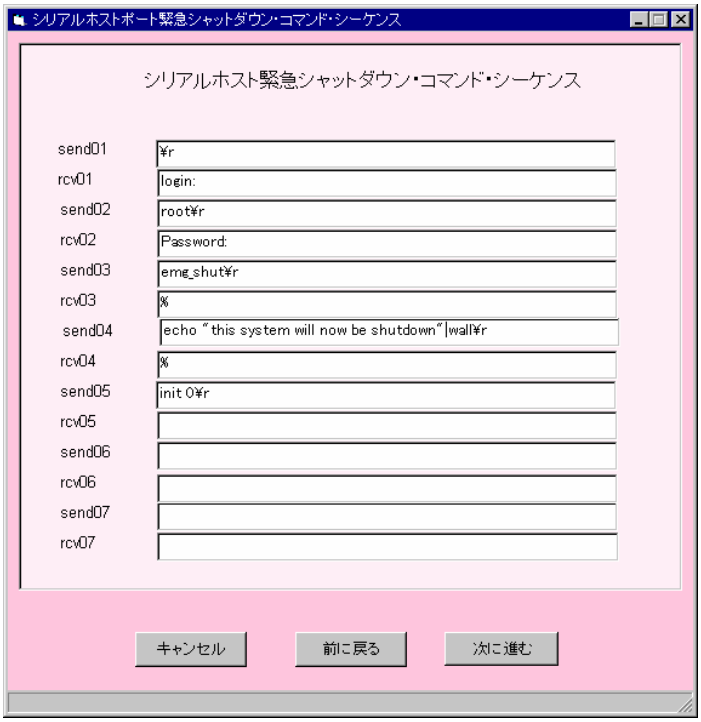
次に進む を選択します。

４－２）緊急シャットダウン前処理

画面 HOST ポート（9）

出力端子の制御を 制御ホストの 緊急シャットダウン実行前に行うか？を設定します。 使用しない場合 “ 出力端子 ” の項目から 未使用を選択します。 通常シャットダウンと 同じ場合 次に進む を選択します。

４－３）緊急シャットダウン・コマンド・シーケンス設定



画面 HOST ポート（１０）

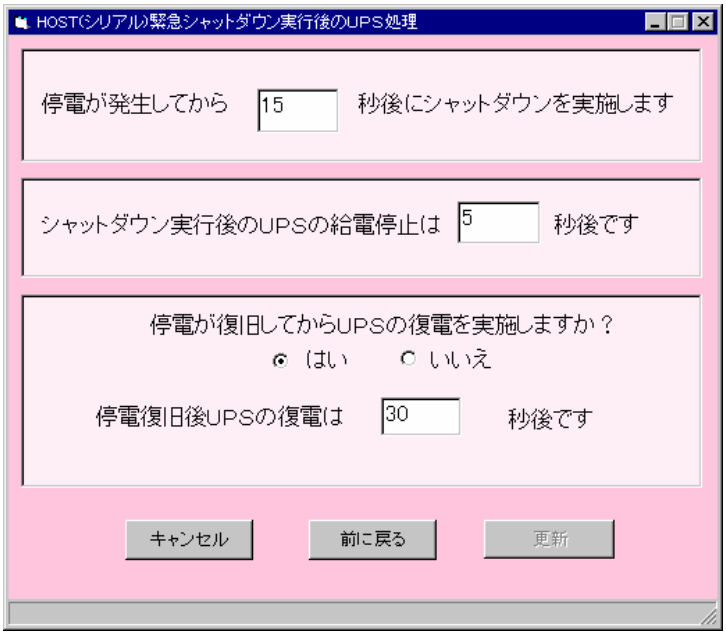
ポートの選択で シリアルホストを選択した場合 制御ホストを 緊急シャットダウンする コマンド手順を設定します。

４－４）緊急シャットダウン 後処理

画面 HOST ポート（１１）

出力端子の制御を 制御ホストの 通常シャットダウン実行後に行うか？を設定します。使用しない場合、
“ 出力端子 ” の項目から 未使用を選択します。

４－５）緊急シャットダウン UPS 処理



画面 HOST ポート（１２）

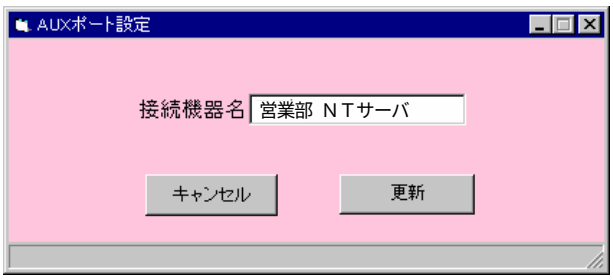
停電が 発生してから 緊急シャットダウンを開始するまでの 待ち時間を キー入力します。

画面 ホストポート（9）（１０）（１１）の処理が終了してから UPS 給電停止までの 時間を入力します。

停電が 復旧してから 制御ホストの パワーON を実施するか？ 復旧後、復電するまでの待ち時間を
入力します。

※1 「シリアルホスト」と「ネットワーク OS」を切り替えた時には、必ず「緊急シャットダウン」の
設定で 更新 ボタンを押してください。

４．４．４　AUX ポートの設定



画面 AUX ポート（1）

AUX ポートに 制御ホスト（ネットワーク OS）を接続する場合 接続機器名を キー入力します。
設定が 終了したら 更新 を選択します。

AUX ポートの制御ホストは HOST ポートの前処理終了後 シャットダウン指示を実行します。
（HOST ポート シャットダウンと同じタイミング）

４．４．５運用スケジュール設定

1）スケジュール設定機能には 下記の 3 種類があります。

○ 週間スケジュール（24 時間表示で入力）
1 週間単位で設定し 毎週自動更新されるものです。

○ 個別スケジュール（24 時間表示で入力）
ある特定の 年・月・日の設定を登録するもので、祝日、お盆休み等の登録をします。

○ 制御ホストからの シャットダウンコマンド（シリアルホストのみ有効）
制御ホストが NetAgent にシャットダウン開始の文字列を出し
NetAgent がシャットダウンを実施し

週間スケジュールと 個別スケジュールでは 個別スケジュールが優先されます。

2）設定方法

◇ 24 時間表示 入力です。（０：００～２３：５９）

◇ 午前 6 時（午前１時～午前９時まで）の場合 入力方法は [０６] または [6] と入力可能です。

◇ カレンダーの有功期限は 西暦 2099 年 12 月 31 日です。

◇ 午前 7 時 30 分に パワーON 午後 8 時にシャットダウンを実施する場合
PowerON ： [０７]:[３０] Shutdown ： [２０]:[００]

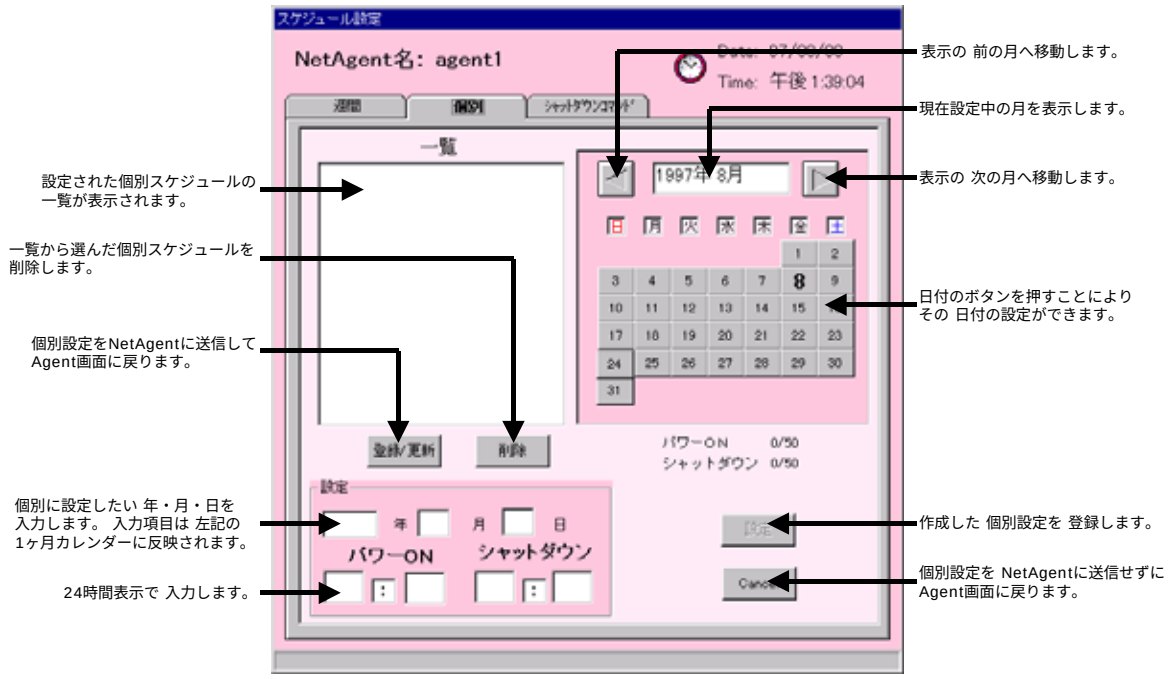
◇ 月曜日 午前 8 時にパワーON その後、連続運転し 水曜日の午後 8 時にシャットダウンを実施する場合

月	PowerON ：	[０８]:[００]	Shutdown ：	[ ] :
火	PowerON ：	[ ]:[ ]	Shutdown ：	[ ] :
水	PowerON ：	[ ]:[ ]	Shutdown ：	[２０]: [００]

◇ PowerON: [8] : [00] Shutdown： [2] : [00] と入力すると
午前 2 時にシャットダウンを実施して 午前 8 時に PowerON を実施します。

◇ PowerON Shutdown のスケジュールは 1 日 1 回の設定となります。

3） 個別スケジュールについて



画面 スケジュール（1）

個別スケジュールは 各 50 件までの パワーON、シャットダウンの スケジュールを登録できます。
また 設定して日付が過ぎると 自動的に削除されます。

4）制御ホストからの シャットダウンコマンド（シリアルホストのみ有効）

通常シャットダウンを 制御ホストから 送られてくる 文字列を トリガとして 実施します。

関連事項
第３章 NetAgent を設定する前に
３．５ 制御ホストからのシャットダウン
参照

４．４．６　UPS ヒストリ表示設定

グループ画面の “　UPS ヒストリー設定 ” ① を選択します。

NetViewer が UPS の動作状態のデータを
収集する、タイミングを設定します。

これにより Agent 画面の “ 運用ヒストリ ” ボタン１０
画面を作成します。

収集するタイミングは 1～60 時間で 1 時間単位で
設定できます。

画面 ＵＰＳヒストリ（1）

４．４．７ NetAgent 設定データ印字

Agent 画面の “ ユーティリティ ” ボタン１を選択します。

NetAgent の設定データを 印字します。

注）プラットホームマシンの プリンタの設定を実施して
印字ください。

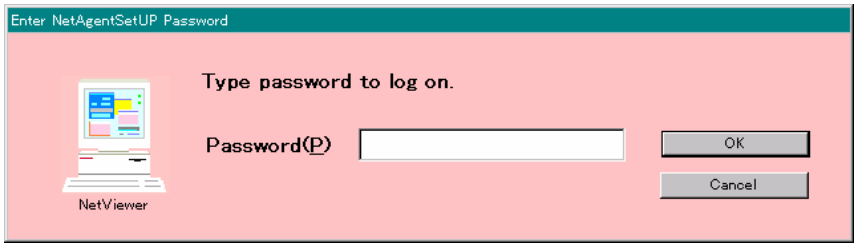
画面 ユーティリティ（1）

第 5 部

NetViewer のパスワード設定

４．５．１ NetViewer のパスワード設定

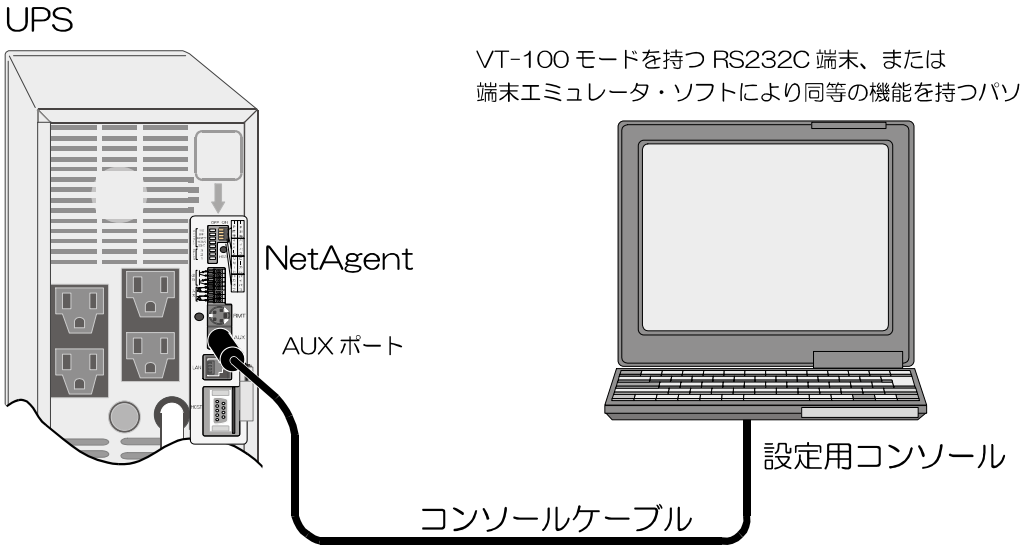
NetViewer 試用版の ディレクトリから “ Passwd.exe ”ファイルを起動します。



パスワードを設定しますと NetViewer を起動時に パスワード入力画面が表示されます。
NetViewer を起動している場合は NetViewer を再起動後 パスワード入力画面の表示があります。
この パスワード NetViewer 専用です、 設定用コンソールおよび telnet のパスワードとは異なるものです。
設定用コンソールおよび telnet での パスワード設定は、コンソール・telnet を使用して設定してください。

第５章
コンソール端末による NetAgent の設定

５．１ NetAgent と設定用コンソールの接続



コンソールケーブル（オプション販売品）を使用し　設定用コンソール（以下 コンソール）と NetAgent を接続します。

コンソール通信設定を下記のように設定ください。

スピード	９６００ ｂｐｓ
ビット長	８ ｂｉｔ
パリティ	ｎｏｎｅ
ストップビット	１ ｂｉｔ

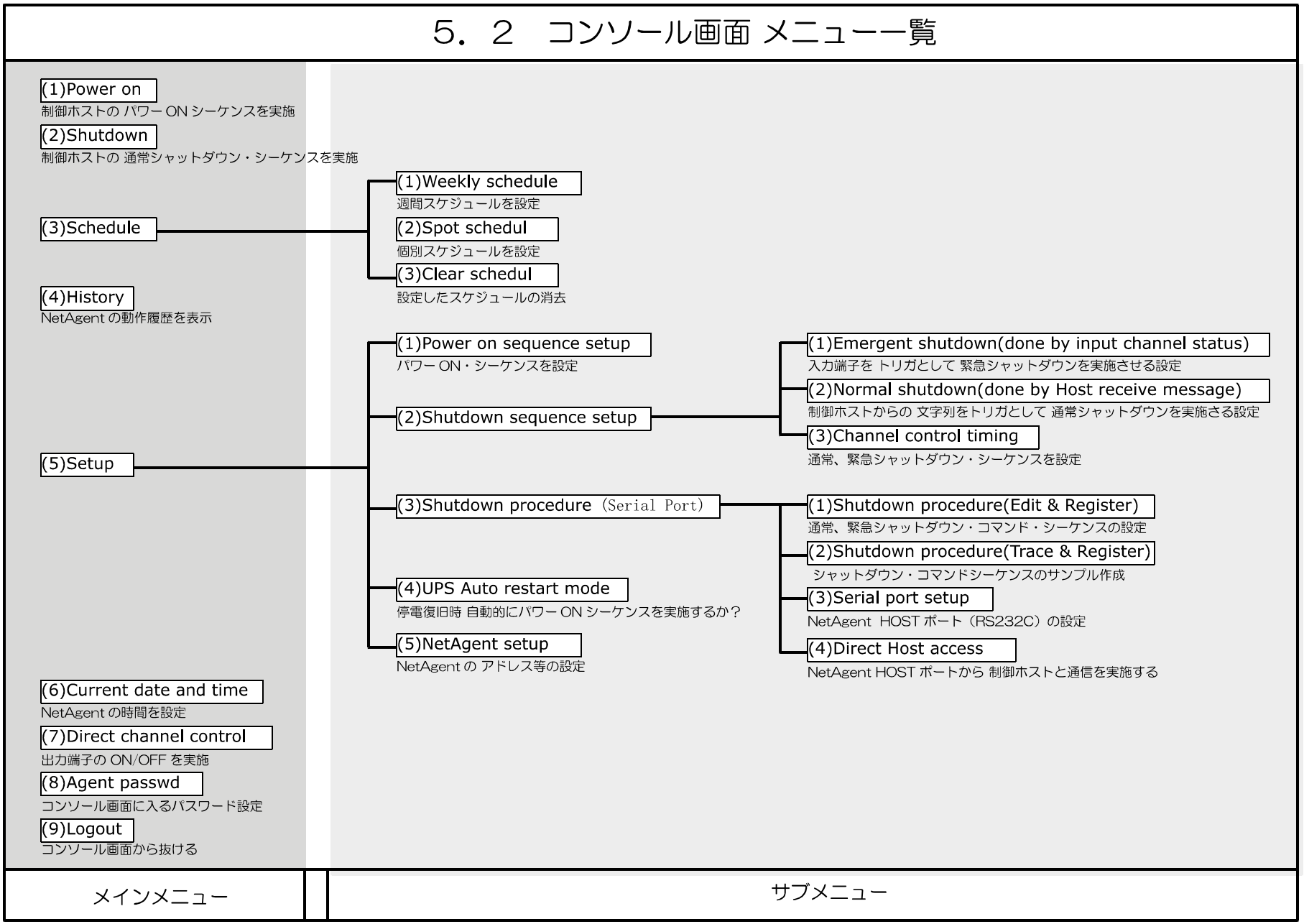
接続後 リターンキーを入力しますと “ ｌｏｇｉｎ：” プロンプトが 表示されますので

ｍｅｎｕ　を入力後 リターンキーを入力し コンソール画面を開きます。

事前にパスワードの設定を 実施している場合は パスワードを入力します。
工場出荷時は パスワードが設定されていないため、 パスワードの入力は必要はありません。

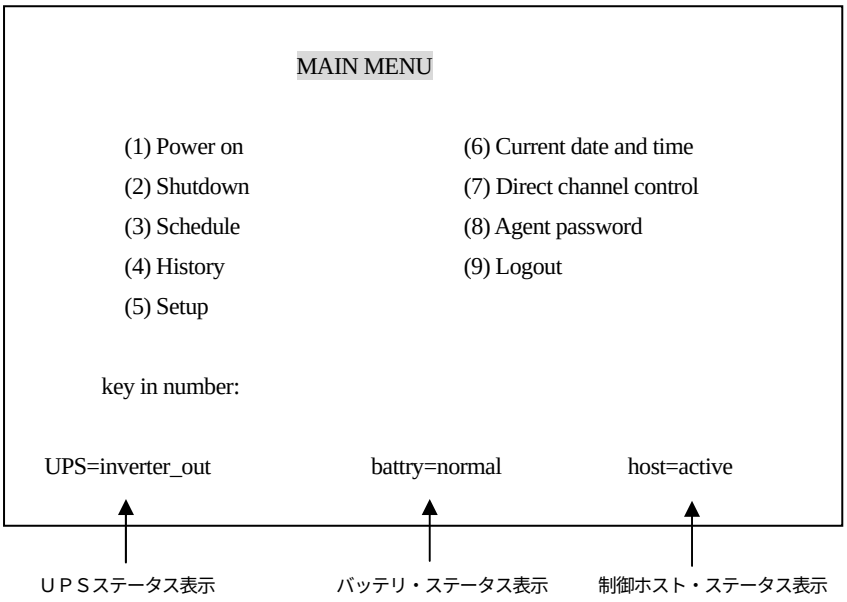
```
*******Welcome to Fullback netAgent V1.0********

login: menu ＜リターンキー＞
```

5．2　コンソール画面 メニュー一覧



５．３ コンソール画面 各部説明

メインメニュー



(1) Power on

NetAgent に パワーＯＮ・シーケンス実施を指示します。

(2) Shutdown

NetViewer に 通常シャットダウン・シーケンス実施を指示します。

(3) Schedule

制御ホストの 制御スケジュールを設定します。

(4) History

NetAgent の動作履歴を表示します。

(5) Setup

制御手順の 設定をします。

(6) Current date and time

NetAgent の時間を設定します。

(7) Direct channel control

出力端子 ２系統の ＯＮ／ＯＦＦを指示します。

(8) Agent passwd

NetAgent を コンソール設定を実施する時の パスワードを設定します。
（パスワードを設定すると telnet 利用時にも 反映されます）

(9) Logout

コンソール設定画面から 抜けます。

(1) Power on

NetAgent にパワーON・シーケンスを指示する機能で、この画面を 選択すると
下記のように表示されます。

Are you going to power on the HOST ? (y / n):

y 選択 ： NetAgent に パワーＯＮ・シーケンス実施を指示します。
n 選択 ： メインメニューに戻ります。

(2) Shutdown

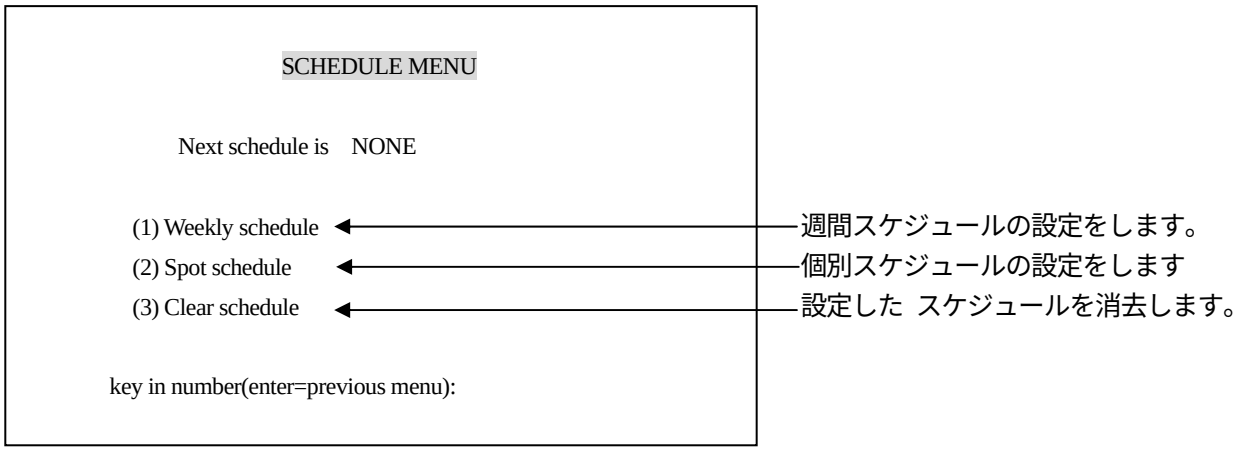
NetAgent にシャットダウン・シーケンスを指示する機能で、この画面を 選択すると
下記のように表示されます。

Are you going to shutdown the computer system? (Y/N):

y 選択 ： NetAgent に 通常シャットダウン・シーケンス実施を指示します。
n 選択 ： メインメニューに戻ります.

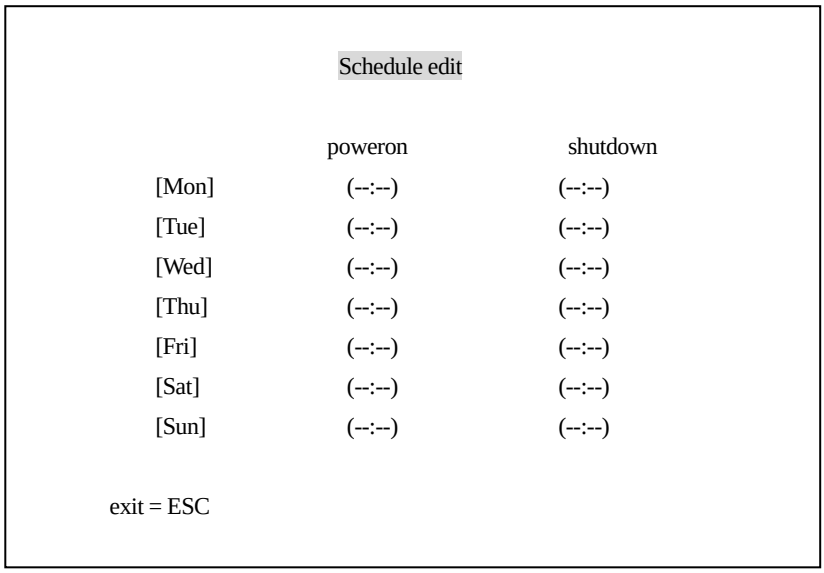
(3) Schedule

NetAgent にスケジュール設定をする機能で、この画面を 選択すると 下記のように表示されます。



(3.1) Weekly schedule

週間スケジュールを設定する機能で、この画面を 選択すると 下記のように表示されます。



設定方法

◇ 24 時間表示 入力です。（０：００～２３：５９）

◇ 午前 6 時（午前１時～午前９時まで）の場合 入力方法は [０６] [6] と入力可能です

◇ カレンダーの有功期限は 西暦 2099 年 12 月 31 日です

◇ 午前 7 時 30 分に パワーON 午後 8 時にシャットダウンを実施する場合

power on ： [０７]:[３０] shutdown ： [２０]:[００]

◇ 月曜日 午前 8 時にパワーON その後、連続運転し 水曜日の午後 8 時にシャットダウンを実施する場合

月 power on： [０８]:[００] shutdown ： [ ]:[ ]

火 power on： [ ]:[ ] shutdown ： [ ]:[ ]

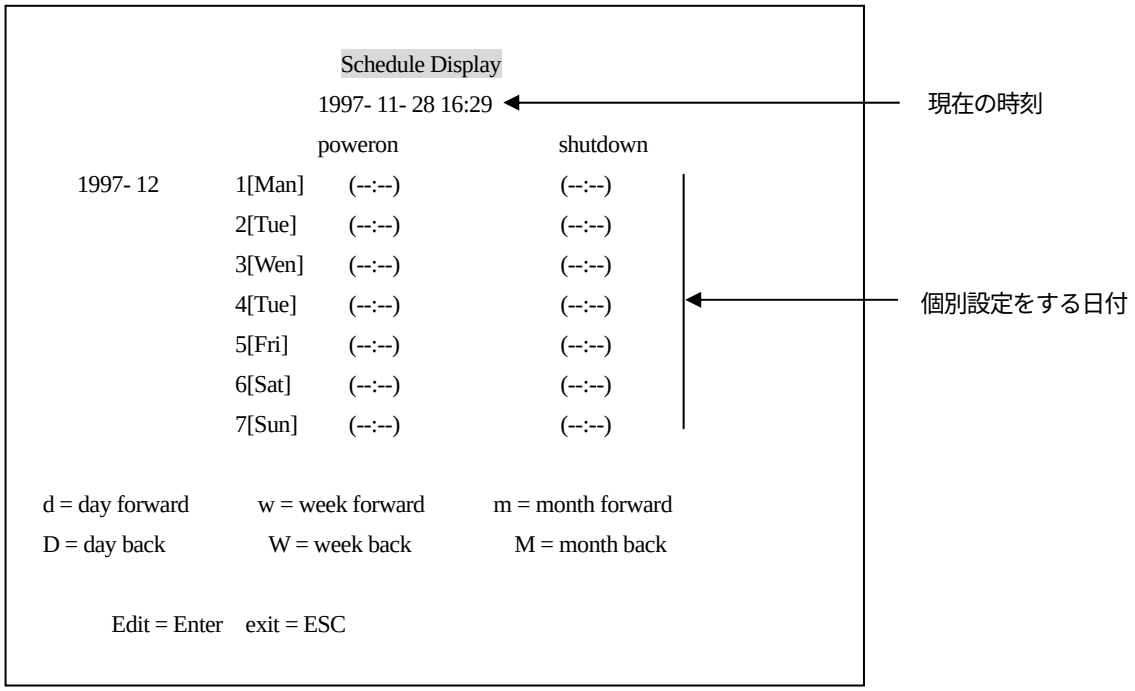
水 power on： [ ]:[ ] shutdown ： [２０]:[００]

◇ power on: [8] : [00] shutdown： [2] : [00] と入力すると
午前 2 時にシャットダウンを実施して 午前 8 時に power on を実施します

◇ power on shutdown のスケジュールは 1 日 1 回の設定となります。

(3.2) Spot schedule

個別スケジュールを設定する機能で、この画面を 選択すると 下記のように表示されます。



ｄ：個別設定する日付を １日先送りさせます。
ｗ：個別設定する日付を １週間先送りさせます。
ｍ：個別設定する日付を １ヶ月先送りさせます。

Ｄ：個別設定する日付を １日後戻りさせます。
Ｗ：個別設定する日付を １週間後戻りさせます。
Ｍ：個別設定する日付を １ヶ月後戻りさせます。

設定方法は 週間スケジュールと同じです。

個別スケジュールは 各 50 件までの パワーON、シャットダウンの スケジュールを登録できます。
また 設定して日付が過ぎると 自動的に削除されます。

(3.3) Clear schedule

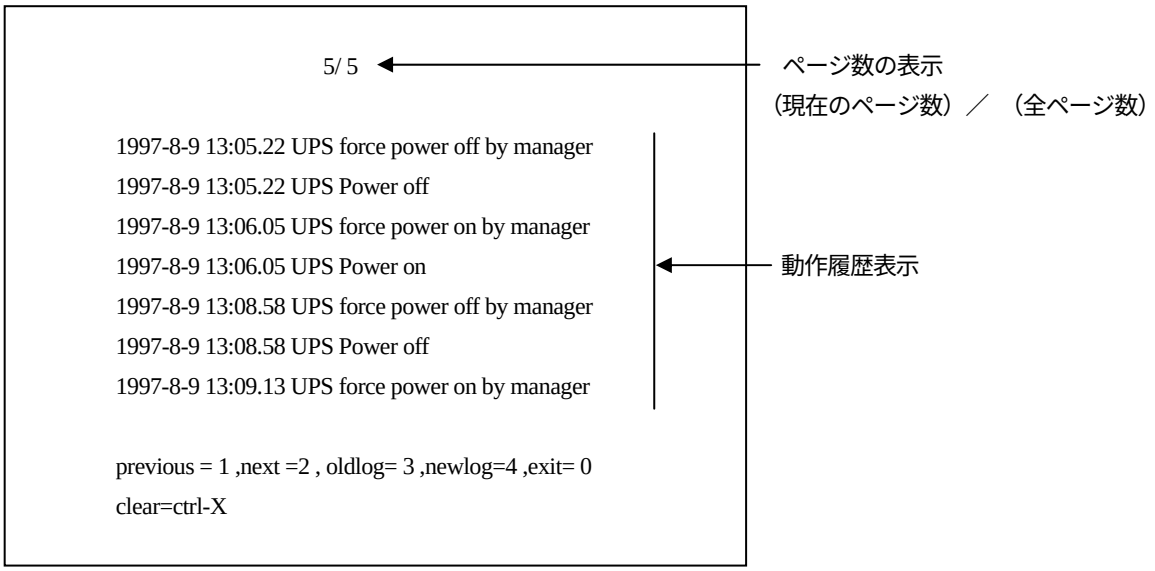
スケジュールを消去する機能で、この画面を 選択すると 下記のように表示されます。

Do you want to clear all schedules ? (y/n)

ｙを選択 ：設定したスケジュールを消去します。
ｎを選択 ：（3）Schedule 画面に戻ります。

(4) History

NetAgent の動作履歴を表示する機能で、この画面を 選択すると 下記のように表示されます。



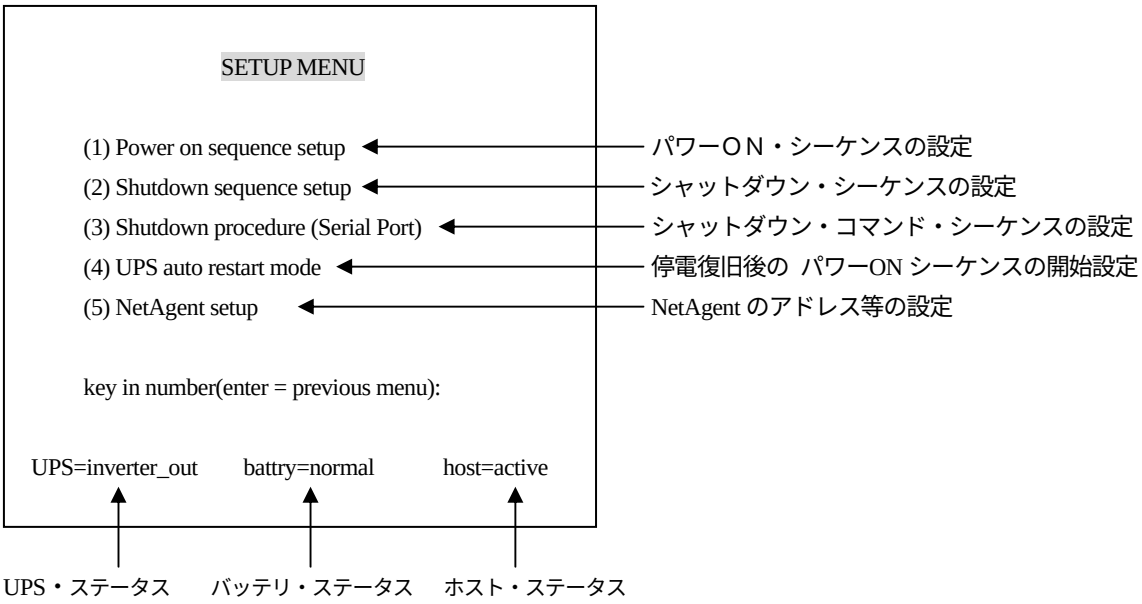
１：後進　　２：前進　　３：最初のページへ　　４：最後のページへ

０：History 終了　　ctrl-X：動作履歴を消去 (Ctrl キー ＋ X)

動作履歴の表示は １ページあたり １６項目で ６４ページ（１０２４項目）まで記録できます、
動作履歴の項目が １０２４を越えた場合 、古い履歴 ３２ページ（５１２項目）を自動消去し、
残った 項目に追加されるかたちで、登録されます。
表示内容については “ 第９章 画面表示一覧 ” 参照ください。

(5) Setup

制御ホストの 制御手順（各シーケンス）と、NetAgent 動作環境を設定をする項目で 、
この画面を 選択すると下記のように表示されます。



(5.1) Power on sequence setup

NetAgent の パワーON・シーケンスを設定する機能で、 この画面を 選択すると 下記のように表示されます。

POWERUP SEQUENCE

Do you want to control the channel before UPS POWER is ON ? (y/n,ESC=quit)y ← パワーON 前処理を実施するか？

NO1-1:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)1 ← 出力制御（1）の動作設定

NO1-2:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)10 ← 待ち時間（1）の設定

NO2-1:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)3 ← 出力制御（2）の動作設定

NO2-2:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)30 ← 待ち時間（2）の設定

< UPS power on in this timing >

Do you want to control the channel after UPS POWER is ON? (y/n,ESC=quit)y ← パワーON 後処理を実施するか？

NO1-1:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)20 ← 待ち時間（3）の設定

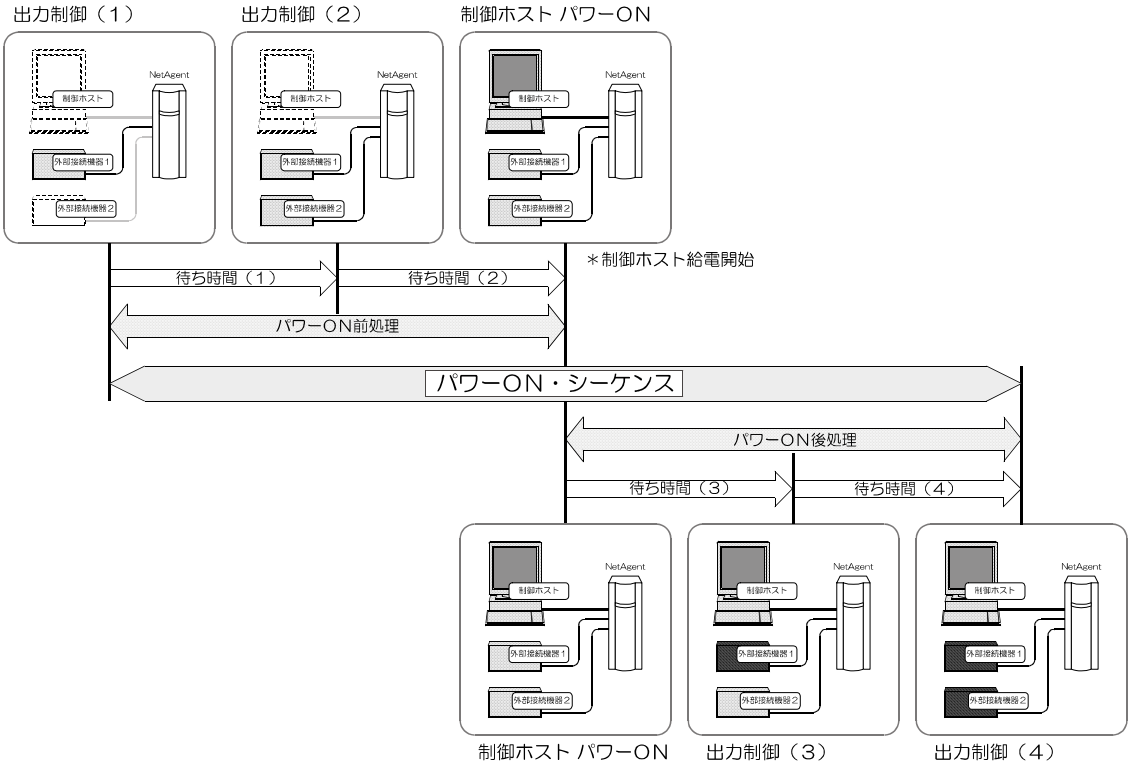
NO1-2:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)2 ← 出力制御（3）の動作設定

NO2-1:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)40 ← 待ち時間（4）の設定

NO2-2:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)4 ← 出力制御（4）の動作設定

< This procedure is finished at this timing>

Do you want to save these paramaters (y/n)y



◇1 Do you want to control the channel before UPS POWER-ON ? (y/n,ESC=quit)y

パワーON 前処理を実施するか？を 設定します。

yを選択 ：パワーON 前処理を実施する。

nを選択 ：パワーON 前処理を実施しない。

ESC を選択 ：（5）Setup 画面に戻ります。

nを選択した場合 ◇2～◇5 までは表示されません。

◇2 NO1-1:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)1

出力制御（1）を設定します。

0 を選択 ：出力制御（1）を実施しません。

1 を選択 ：出力端子 1を ON します。

2 を選択 ：出力端子 1を OFF します。

3 を選択 ：出力端子 2を ON します。

4 を選択 ：出力端子 2を OFF します。

ESC を選択 ：（5）Setup 画面に戻ります。 （＊ 5－1）

◇3 NO1-2:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)10

出力制御（1）から 出力制御（2）までの待ち時間を設定します。

ESC を選択 ：（5）Setup 画面に戻ります。

◇4 NO2-1:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)3

出力制御（2）を設定します。

（＊ 5－1）と同じ内容

◇5 NO2-2:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)30

出力制御（2）から UPS パワーON までの待ち時間を設定します。

ESC を選択 ：（5）Setup 画面に戻ります。

△1 < UPS power on in this timing >

UPS の パワーON を表示しています。

◇6 Do you want to control the channel after UPS POWER-ON? (y/n,ESC=quit)y

パワーON 後処理を実施するか？を 設定します。

Yを選択 ：パワーON 後処理を実施する。

Nを選択 ：パワーON 後処理を実施しない。

ESC を選択 ：（5）Setup 画面に戻ります。

Nを選択した場合 ◇7～◇１０ までは表示されません。

◇7 NO1-1:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)20

UPS パワーON から 出力制御（3）までの待ち時間を設定します。

ESC を選択 ：（5）Setup 画面に戻ります。

◇8 NO1-2:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)2

出力制御（3）を設定します。

（＊ 5－1）と同じ内容

◇9 NO2-1:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)40

出力制御（3）から 出力制御（4）までの待ち時間を設定します。

ESC を選択　　：（5）Setup 画面に戻ります。

◇１０ NO2-2:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)4

出力制御（3）を設定します。

（＊ ５－１）と同じ内容

△2 < This procedure is finished at this timing>

設定項目が 終了したことを表示しています。

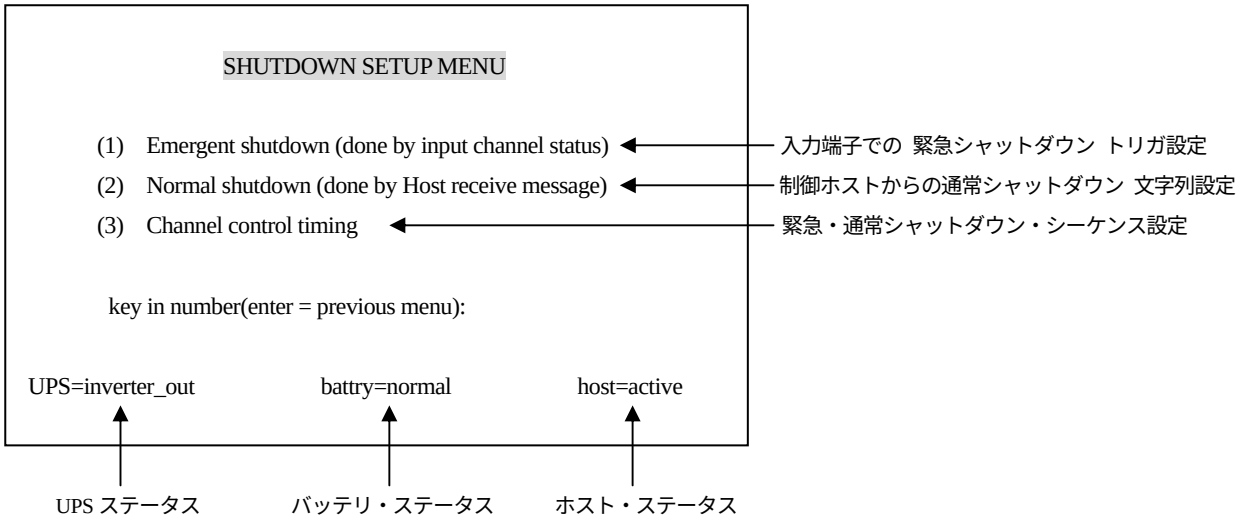
△3 Do you want to save these paramaters (y/n)y

Ｙを選択 ：設定データを セーブします。

Ｎを選択 ：（5）Setup 画面に戻ります。

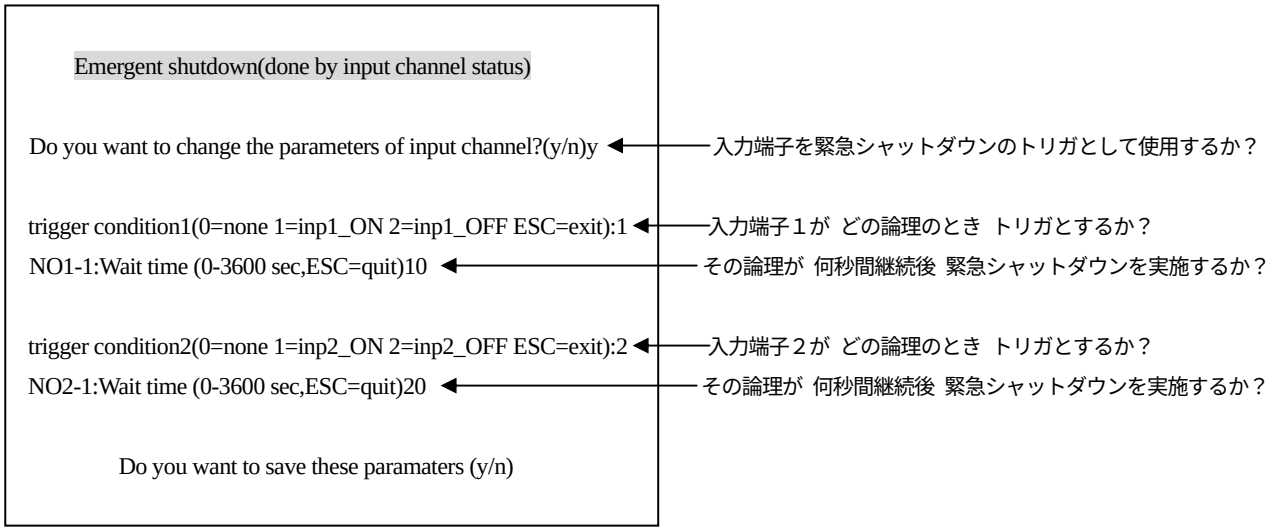
(5.2) Shutdown sequence setup

シャットダウン方法及び シャットダウン・シーケンスを設定します。この画面を 選択すると
下記のように表示されます。



(5.2.1) Emergent shutdown (done by input channel status)

入力端子を 緊急シャットダウンの トリガとして使用するか？ の設定をします、この画面を
選択すると 下記のように表示されます。


Emergent shutdown(done by input channel status)
Do you want to change the parameters of input channel?(y/n)y
入力端子を緊急シャットダウンのトリガとして使用するか？
trigger condition1(0=none 1=inp1_ON 2=inp1_OFF ESC=exit):1
入力端子１が どの論理のとき トリガとするか？
NO1-1:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)10
その論理が 何秒間継続後 緊急シャットダウンを実施するか？
trigger condition2(0=none 1=inp2_ON 2=inp2_OFF ESC=exit):2
入力端子２が どの論理のとき トリガとするか？
NO2-1:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)20
その論理が 何秒間継続後 緊急シャットダウンを実施するか？
Do you want to save these paramaters (y/n)

Do you want to change the parameters of input channel?(y/n)y

ｙを選択 ：入力端子を 緊急シャットダウンのトリガとして使用する。

ｎを選択 ：入力端子を 緊急シャットダウンのトリガとして使用しない。

trigger condition1(0=none 1=inp1_ON 2=inp1_OFF ESC=exit):1

０を選択　　：入力端子１は 緊急シャットダウンのトリガとして使用しない。

１を選択　　：入力端子１が ON の論理のとき トリガとする。

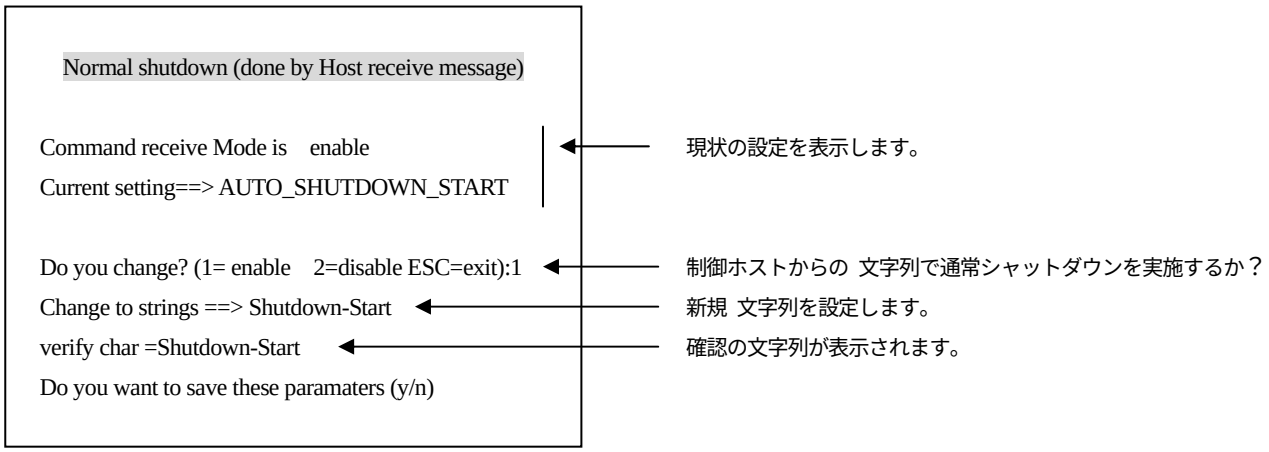
２を選択　　：入力端子１が OFF の論理のとき トリガとする。

ESC を選択 ：（５．２）Shutdown sequence setup に戻る。

入力端子２についても 上記と同じ 内容を設定します。

(5.2.2) Normal shutdown (done by Host receive message)

通常シャットダウンを 制御ホストから 送られてくる 文字列で実施します。この画面を
選択すると 下記のように表示されます。


Normal shutdown (done by Host receive message)
Command receive Mode is enable
Current setting==> AUTO_SHUTDOWN_START
Do you change? (1= enable 2=disable ESC=exit):1
Change to strings ==> Shutdown-Start
verify char =Shutdown-Start
Do you want to save these paramaters (y/n)
現状の設定を表示します。
制御ホストからの 文字列で通常シャットダウンを実施するか？
新規 文字列を設定します。
確認の文字列が表示されます。

Command receive Mode is enable

現状の設定を 表示します。

enable : 制御ホストからの 文字列で 通常シャットダウンを実施します。
disable : 制御ホストからの 文字列で 通常シャットダウンを実施しません。

Current setting= = > AUTO_SHUTDOWN_START

現状の 通常シャットダウンを実施する トリガとなる 文字列

Do you change? (1= enable 2=disable ESC=exit):1

制御ホストからの 文字列で 通常シャットダウンを実施するか？

enable : 制御ホストからの 文字列で 通常シャットダウンを実施します。
disable : 制御ホストからの 文字列で 通常シャットダウンを実施しません。

Change to strings = = >

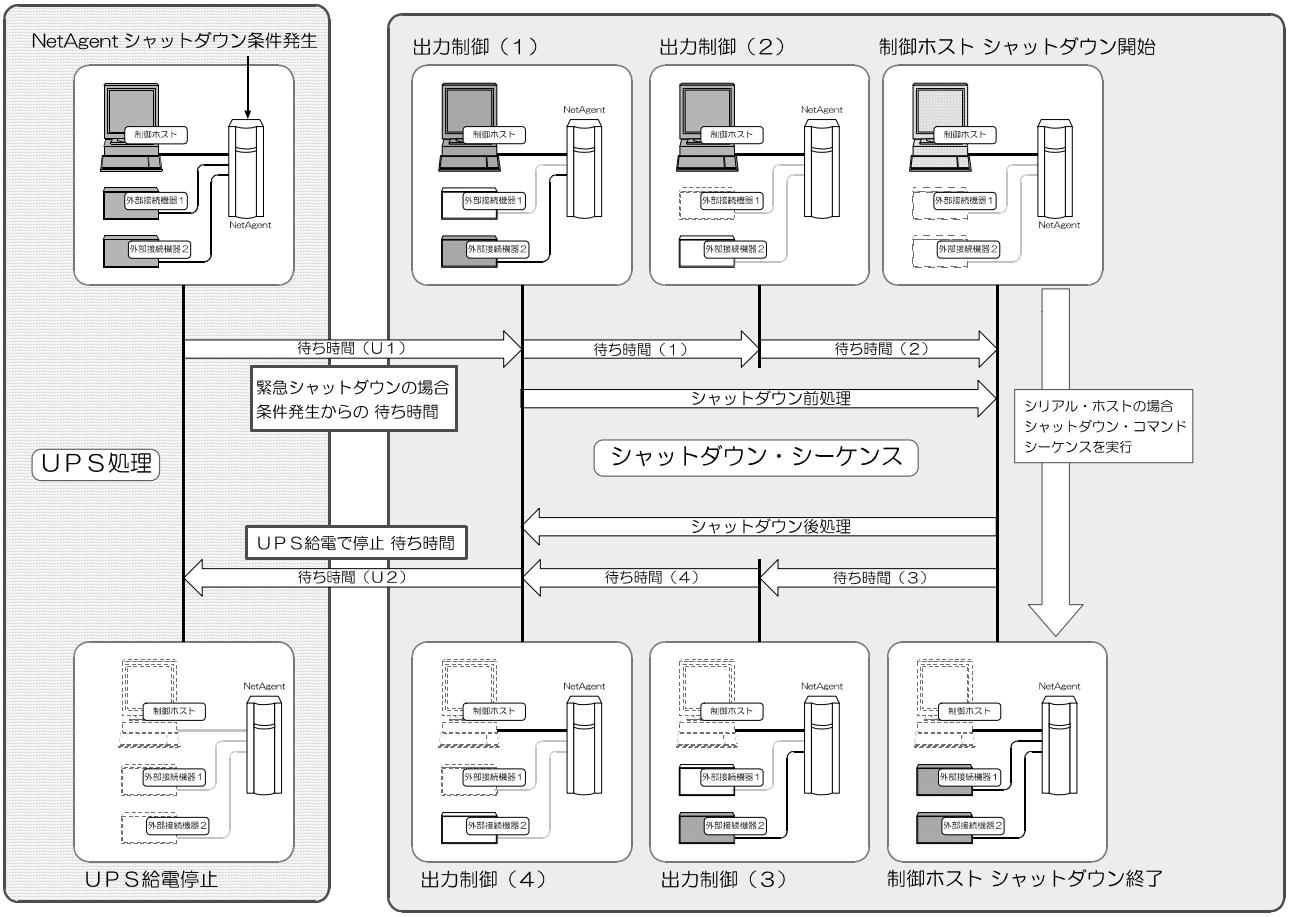
新規に 文字列を設定します。

verify char =

確認のため設定した文字列を出力します。

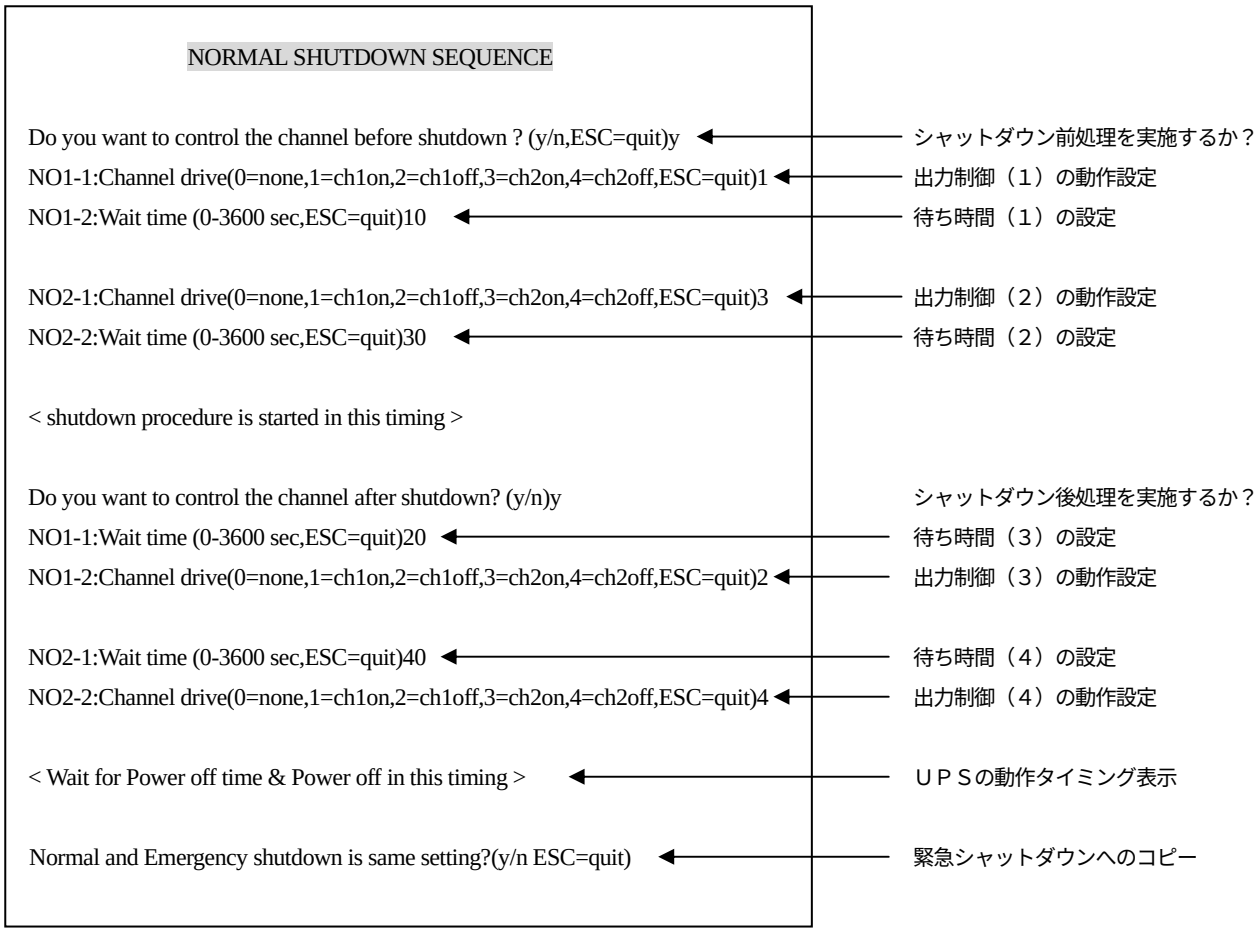
(5.2.3) Channel control timing

通常、緊急シャットダウン・シーケンスを設定します。



この項では 通常シャットダウン、 緊急シャットダウン・シーケンスを設定します。
通常シャットダウン・シーケンス設定後、 緊急シャットダウンへ 設定をコピーを実施するメッセージが
表示されますので 、通常のシャットダウンと シーケンスを同じにする場合は “ Ｙ ” を選択ください。
通常、緊急シャットダウンを 区別して設定する、必要性については、“ 第３章 ３．２ 通常シャットダウンと
緊急シャットダウン “ をご参照ください。

通常シャットダウンの設定



◇1 Do you want to control the channel before shutdown ? (y/n,ESC=quit)y

シャットダウン前処理を実施するか？を 設定します。

ｙを選択　　：シャットダウン前処理を実施する。
ｎを選択　　：シャットダウン前処理を実施しない。
ESC を選択　　：（5）Setup 画面に戻ります。

ｎを選択した場合 ◇2～◇5 までは表示されません。

◇2 NO1-1:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)

出力制御（1）を設定します。

0 を選択　　：出力制御（1）を実施しません。
1 を選択　　：出力端子 1を ON します。
2 を選択　　：出力端子 1を OFF します。
3 を選択　　：出力端子 2を ON します。
4 を選択　　：出力端子 2を OFF します。
ESC を選択　　：（5）Setup 画面に戻ります。　　（＊ 5－2）

◇3 NO1-2:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)10

出力制御（1）から 出力制御（2）までの待ち時間を設定します。
ESC を選択　　：（5）Setup 画面に戻ります。

◇４ NO2-1:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)3

出力制御（２）を設定します。

（＊ ５－２）と同じ内容

◇５ NO2-2:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)30

出力制御（２）から UPS シャットダウンまでの待ち時間を設定します。

ESC を選択 ：（５）Setup 画面に戻ります。

△１ < shutdown procedure is started in this timing >

シャットダウン・コマンド・シーケンスの実施が ここで実行されることを表示します。

◇６ Do you want to control the channel after shutdown? (y/n)

シャットダウン後処理を実施するか？を 設定します。

ｙを選択 ：シャットダウン後処理を実施する。

ｎを選択 ：シャットダウン後処理を実施しない。

ESC を選択 ：（５）Setup 画面に戻ります。

Ｎを選択した場合 ◇７～◇１０ までは表示されません。

◇７ NO1-1:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)20

UPS シャットダウンから 出力制御（３）までの待ち時間を設定します。

ESC を選択 ：（５）Setup 画面に戻ります。

◇８ NO1-2:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)2

出力制御（３）を設定します。

（＊ ５－２）と同じ内容

◇９ NO2-1:Wait time (0-3600 sec,ESC=quit)40

出力制御（３）から 出力制御（４）までの待ち時間を設定します。

ESC を選択 ：（５）Setup 画面に戻ります。

◇１０ NO2-2:Channel drive(0=none,1=ch1on,2=ch1off,3=ch2on,4=ch2off,ESC=quit)4

出力制御（３）を設定します。

（＊ ５－２）と同じ内容

△２ < Wait for Power off time & Power off in this timing >

シャットダウン・シーケンスが終了して、 ＵＰＳのパワーＯＦＦを待つモードに

なることを 表示しています。

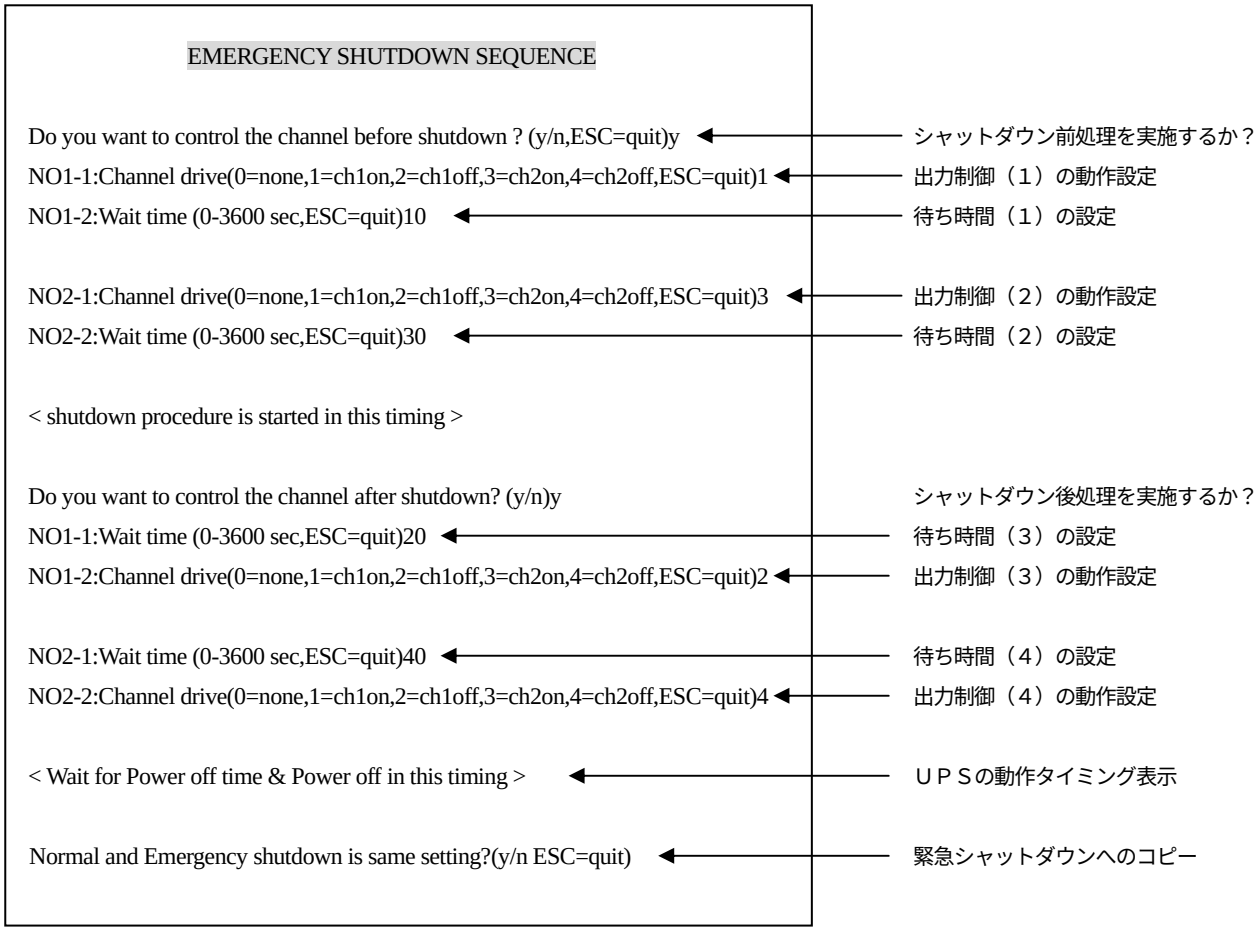
△３ Normal and Emergency shutdown is same setting?(y/n ESC=quit)

ｙを選択 ：設定データを 緊急シャットダウンへコピーします。

ｎを選択 ：設定データを 緊急シャットダウンへコピーしません。

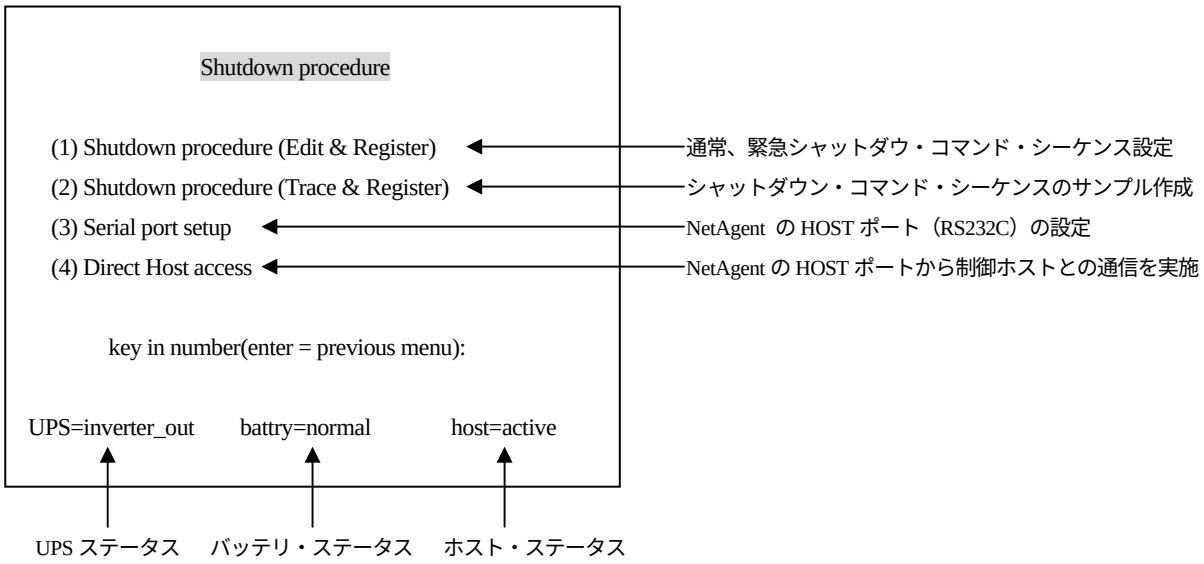
緊急シャットダウンの設定

通常シャットダウンで コピーを実施した場合は 同じ設定になります。
設定内容等は 同じのため 説明は通常シャットダウンをご参照ください。

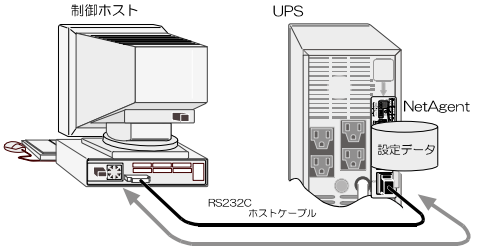


(5.3) Shutdown procedure

シリアル・ホスト制御時の シャットダウン・コマンド・シーケンス、RS232C の設定関係と UPS 制御について設定する項目で、この画面を 選択すると 下記のように表示されます。

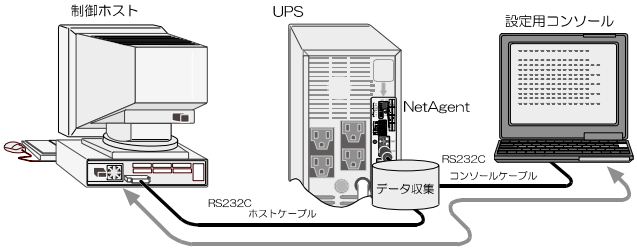


（1）Shutdown Procedure （Edit & Register）で実施されること



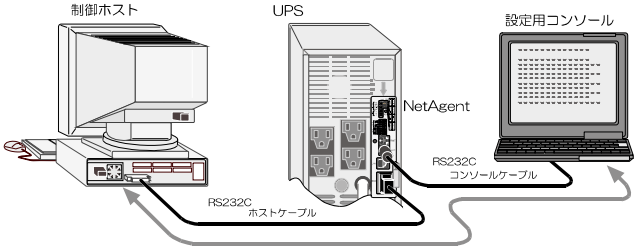
登録されて シャットダウン・コマンド・シーケンスを実行

（2）Shutdown Procedure （Trace& Register）で実施されること



制御ホストとコンソールの 通信を トレースして
シャットダウン・コマンド・シーケンスの サンプルを作成する

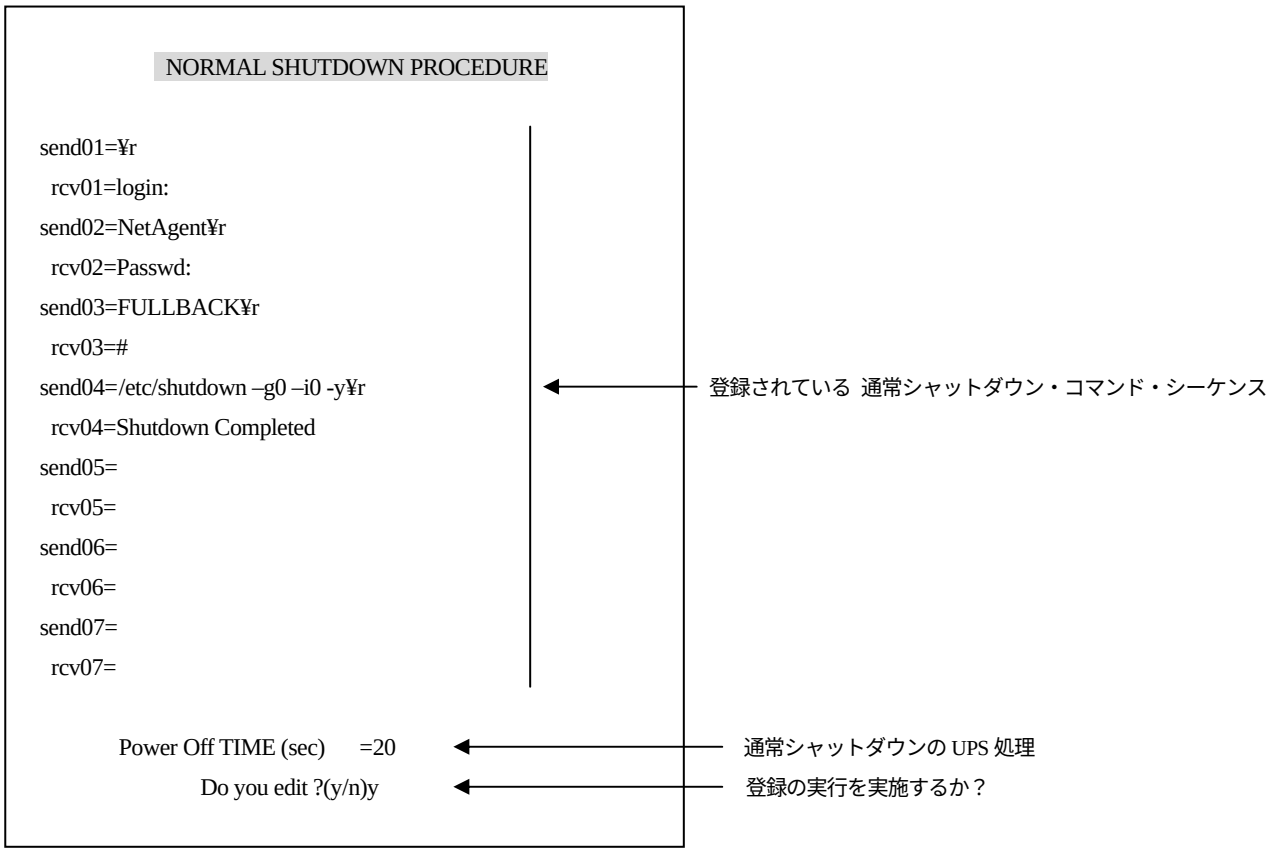
（3） Direct Host acces で実施されること



NetAgent はスルーで 通信を通し 制御ホストとコンソールを直結する。

(5.3.1) Shutdown procedure (Edit & Register)

この画面を 選択すると　通常シャットダウンの シャットダウン・コマンド・シーケンス設定、通常シャットダウンの UPS 処理および、緊急シャットダウンの シャットダウン・コマンドシーケンス設定、通常シャットダウンの UPS 処理を設定します。



通常シャットダウン・コマンド・シーケンス設定

オペレータが入力する文字列を
“ｓｅｎｄ”
ホストコンピュータ（制御ホスト）から送られてくる文字列（トリガとなる文字列）を
“ｒｃｖ”　として
シャットダウン・コマンドの受け渡し（シャットダウン・コマンド・シーケンス）を NetAgent に登録します。

NetViewer を使用した 設定例で シャットダウン・コマンド・シーケンスを説明します。

制御ホストの RS232C に接続した 端末が シャットダウンを実行する
○ 入力コマンドと同じものを　send
○ 制御ホストから発行されるトリガとなる文字列を　rcv　に入力します。

注）シャットダウン・コマンド・シーケンスは RS232C を使用するマシン（シリアルホスト例 UNIX マシン）のためのもので **ネットワーク OS** の設定の場合 “ send”,”rcv”には 全ての内容を **削除**してください（全ての内容が**削除**されてない場合は シリアルホストと判断されます）。

注 2）制御ホストの RS232C を使用したシャットダウン実施は、 制御ホストのシステム・コンソールや telnet 等を 使用した場合と シャットダウン・コマンド・シーケンスが違う場合があります。
必ず 制御ホストの RS232C ポートを使用した シャットダウン・コマンドを確認してから 設定してください。

注 3) “ リターンキー ”、ESC、Ctrl-D 等を必ずご確認のうえ 設定してください

リターンキー	￥ｒ、＼ｒ	
ESC キー	￥ｅ、＼ｅ	
Ctrl-D	￥ｄ、＼ｄ	となります。

Power Off TIME (sec) =
シャットダウン・シーケンス終了後 UPS パワーOFF まで待ち時間を設定

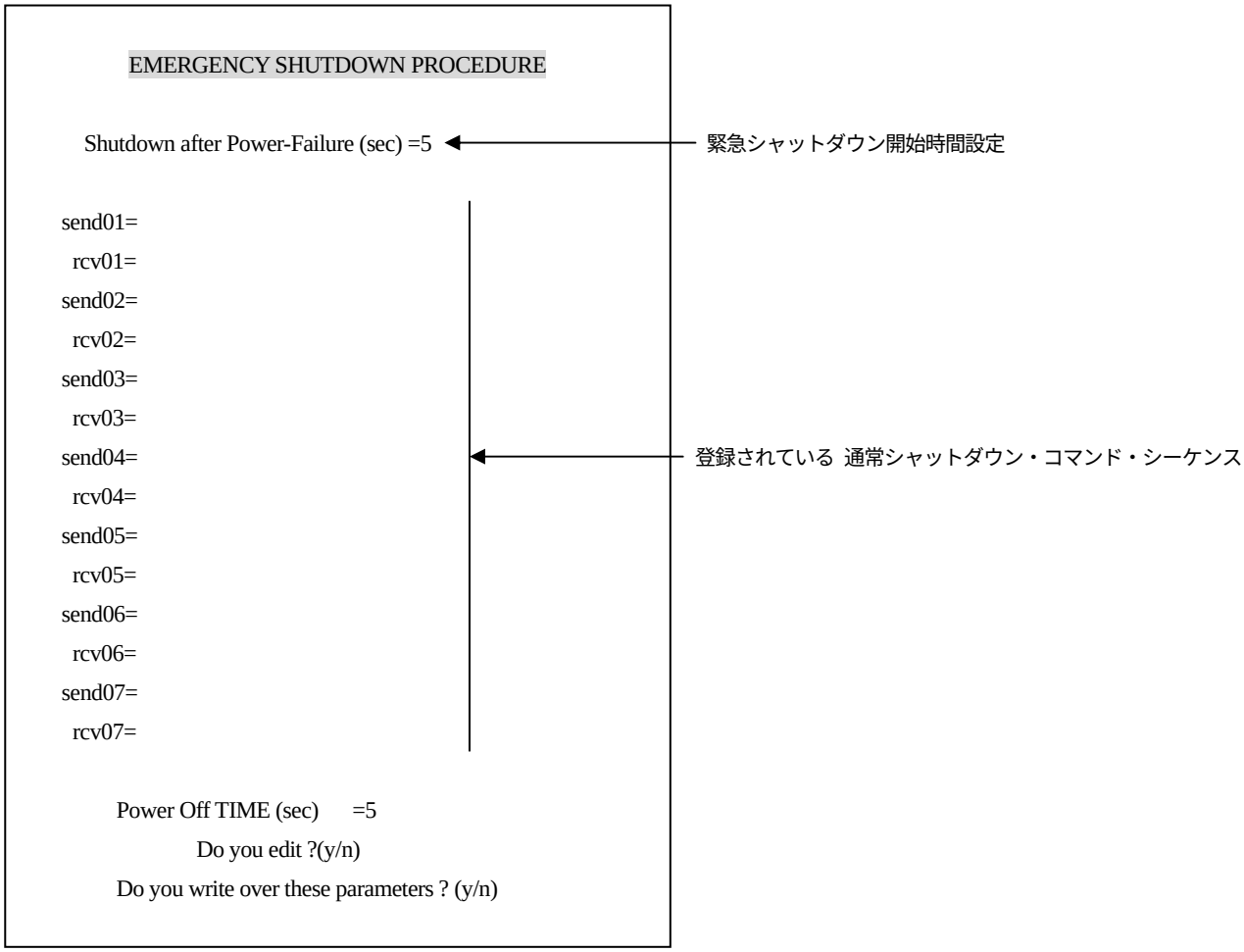
Do you edit ?(y/n)y
通常シャットダウン・コマンド・シーケンスの登録を実施するか？
ｙを選択 ： 登録の実行
ｎを選択 ： （５．３）Shutdown procedure に戻る

“send”,”rcv”項目は 文字列を入力して リターンキーを入力すると 下段へと移ります。
登録が 完了した場合 ESC キーにより 登録項目から抜けます。

Do you write over these parameters ? (y/n)
ｙを選択 ：通常シャットダウン・コマンド・シーケンスとして データを再登録します。
ｎを選択 ：再登録せずに 次に進む。

Copy usual shutdown to emergency shutdown ?(y/n)
ｙを選択 ：通常シャットダウン・コマンド・シーケンスを
緊急シャットダウン・コマンド・シーケンスにコピーします。
ｎを選択 ：コピーせず 緊急シャットダウン・コマンド・シーケンス登録へ進みます。

緊急シャットダウン・コマンド・シーケンス設定



Shutdown after Power-Failure

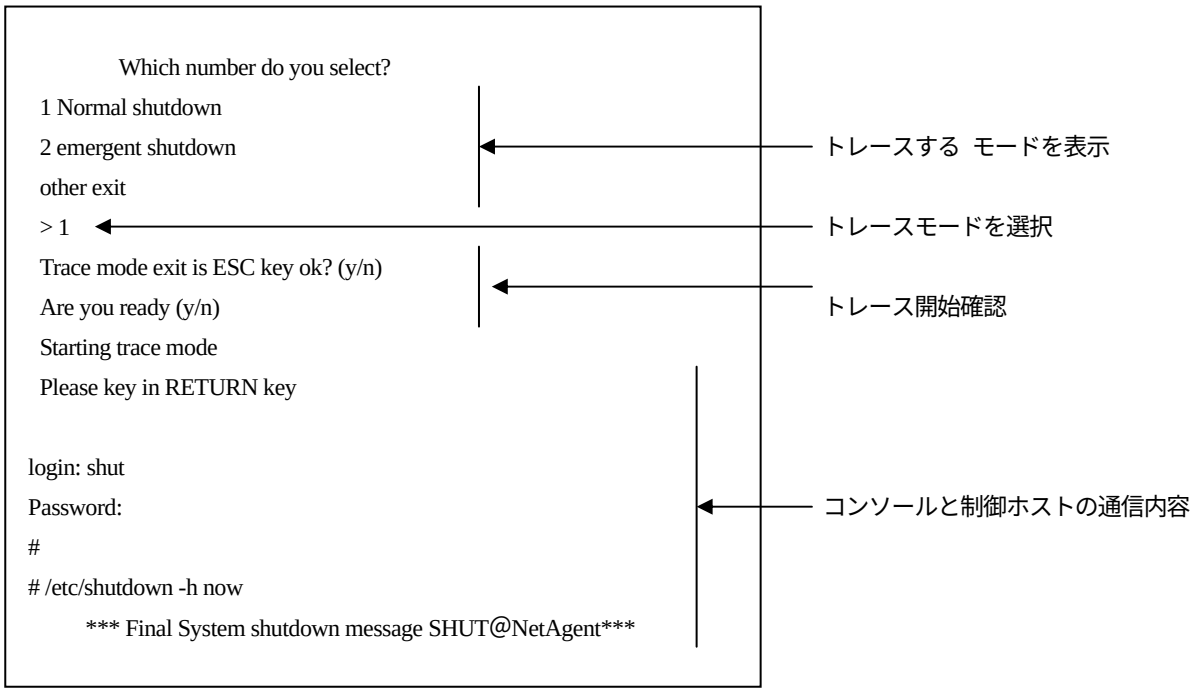
入力端子および 停電発生の トリガが発生してから シャットダウン・シーケンスを実施する までの 待ち時間を入力します。

以下は 通常シャットダウン・コマンド・シーケンス設定と同じですので そちらをご参照の上設定ください。

注）シャットダウン・コマンド・シーケンスは RS232C を使用するマシン（シリアルホスト 例 UNIX マシン）のためのもので **ネットワーク OS** の設定の場合 “ send”,”rcv”には 全ての内容を **削除**してください（全ての内容が**削除**されてない場合は シリアルホストと判断されます）。

(5.3.2) Shutdown procedure(Trace & Register)

コンソールから シャットダウンを実施し、その内容を トレースし、シャットダウン・コマンド・シーケンスの サンプルを作成します。



１を選択　　：通常シャットダウンをトレースします。
２を選択　　：緊急シャットダウンをトレースします。
その他を選択　　：（５．３）Shutdown procedure に戻ります。

Trace mode exit is ESC key ok? (y/n) および Are you ready (y/n)

ｙを選択　　：トレースを開始します。
ｎを選択　　：トレースをしません。
ESC 選択　　：トレースを終了します。

トレースを終了しましたら “ ESC ”キーを入力してください。トレース内容が表示されます。

トレース結果 表示

```
NORMAL SHUTDOWN PROCEDURE

send01= ¥r
 rcv01= login:
send02= shut¥r
 rcv02= Password:
send03= fna_01¥r
 rcv03= #
send04= ¥r
 rcv04= #
send05= /etc/shutdown -h now¥r
 rcv05= SHUT@NetAgent ***
send06=
 rcv06=
send07=
 rcv07=
```

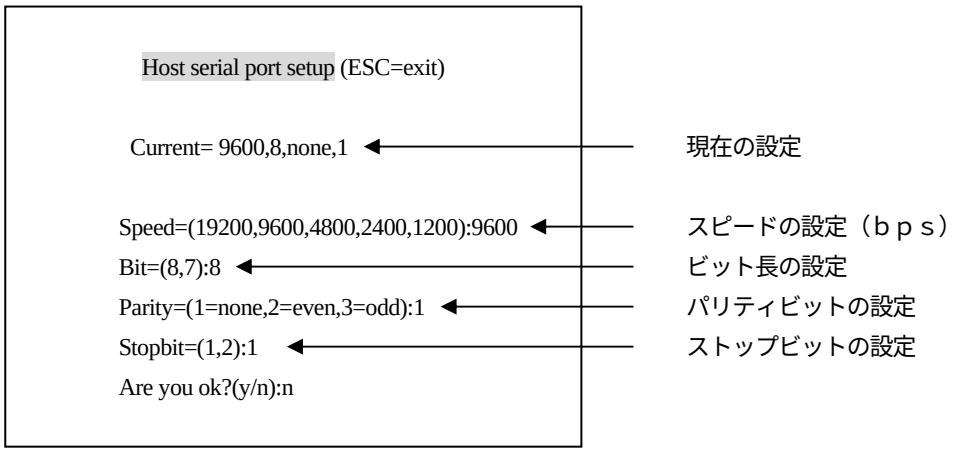
※ トレース結果は あくまでも サンプルデータです、トレースされた 文字列が 制御ホストから
送信されてくる文字列内（文章内）に 多数、含まれる場合、NetAgent の“ｓｅｎｄ”コマンドを
発行する タイミングが同期しない場合があります。この場合 トレースデータを変更して登録してください。

Next=Enter ,Exit = ESC
　　Next を選択　　：下段へシフトします。
　　Exit を選択　　：トレースデータ変更から抜けます。

Do you write over these parameters ? (y/n)
　　ｙを選択　　：トレースデータを シャットダウン・コマンド・シーケンスに登録します。
　　ｎを選択　　：シャットダウン・コマンド・シーケンスに登録せず
　　（５．３）Shutdown procedure に戻ります。

(5.3.3) Serial port setup

NetAgent の HOST ポート（RS232C）の設定を設定します。 この画面を 選択すると
下記のように表示されます。



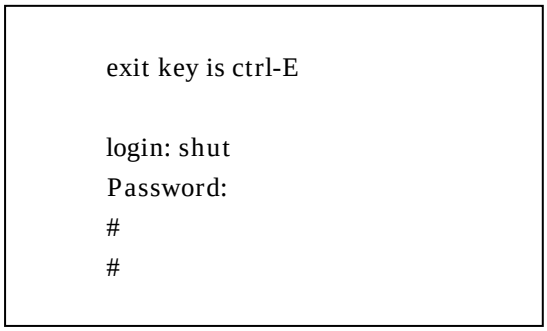
ＥＳＣキーで (5.3) Shutdiwn procedure 画面に戻ります。

Aer you ok?

ｙを選択 ：HOST ポートの設定を登録し (5.3) Shutdiwn procedure 画面に戻ります。
ｎを選択 ：設定をしなおします。

(5.3.4) Direct Host access

NetAgent が コンソールと制御ホストとを 直接通信させ、NetAgent の HOST ポートが
正しく通信できているか？、また 制御ホストの設定が 正しくなされているか？等を
確認します。

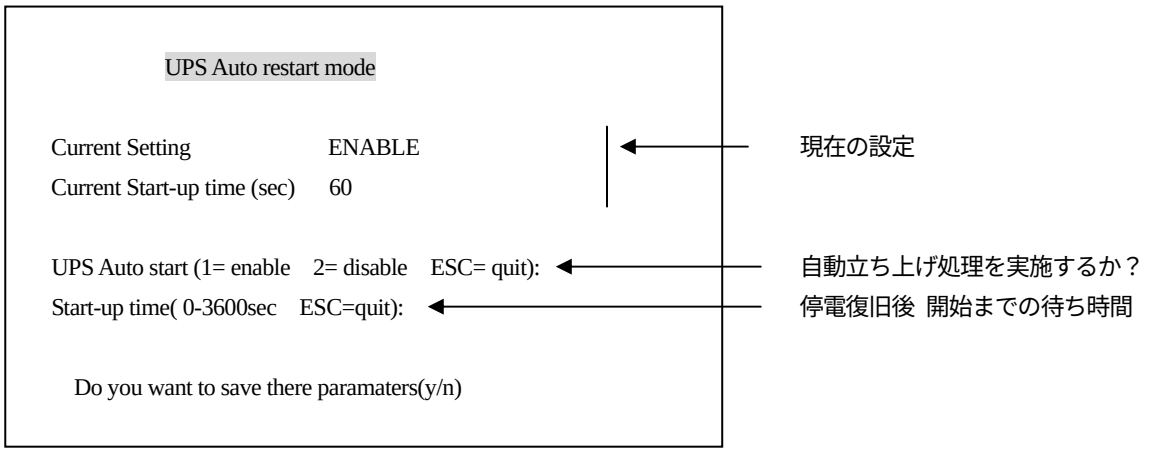


“ Ctrl ”キー ＋ ” E ”キーで （５．３）Shutdown procedure に戻ります。

※ 制御ホストとの通信を コンソール画面上に 上書きしますので コンソールに事前に表示された文字と
重なり、見にくくなる場合がありますが、制御ホストとの通信に支障はございません。

(5.4) UPS Auto restart mode

停電発生による 緊急シャットダウンを実施、終了後 停電が復旧した場合、
自動立ち上げ処理（パワーON シーケンス）を実施するか？を設定します。この画面を 選択すると
下記のように表示されます。


UPS Auto restart mode
Current Setting ENABLE
Current Start-up time (sec) 60
UPS Auto start (1= enable 2= disable ESC= quit):
Start-up time(0-3600sec ESC=quit):
Do you want to save there paramaters(y/n)
現在の設定
自動立ち上げ処理を実施するか？
停電復旧後 開始までの待ち時間

UPS Auto start (1= enable 2= disable ESC= quit):

停電復旧後 自動立ち上げ処理（パワーON シーケンス）を実施するか？設定します。

１を選択 ：実施します。
２を選択 ：実施しません。
ESC 選択 ：(5)Setup 画面に戻ります。

Start-up time(0-3600sec ESC=quit):

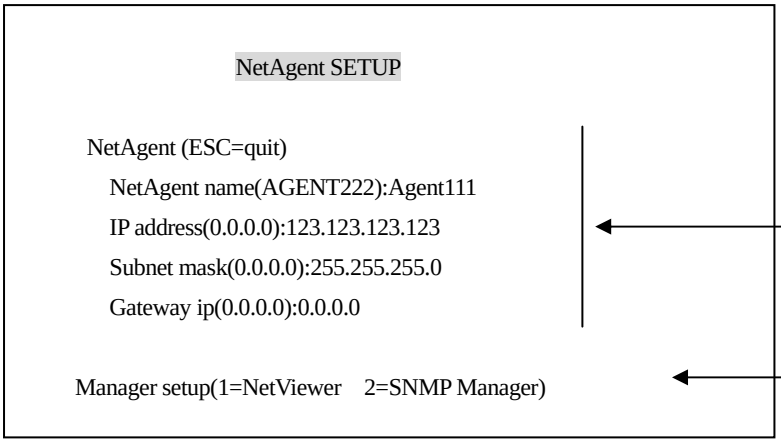
停電復旧後 自動立ち上げ処理（パワーON シーケンス）を実施するまでの時間を設定します。

Do you want to save there paramaters(y/n)

ｙを選択 ：設定を登録し (5)Setup 画面に戻ります。
ｎを選択 ：設定を登録せず (5)Setup 画面に戻ります。

(5.5) NetAgent setup

NetAgent の アドレス、NetViewer のアドレス等を設定します。この画面を 選択すると下記のように表示されます。



NetViewer を選択した場合

NetViewer IP address(0.0.0.0): ← NetViewer の アドレスを入力

SNMP Manager を選択した場合

SNMP IP address(0.0.0.0): ← SNMP Manager のアドレスを入力

SNMP Community(public) : ← コミュニティ名を入力します。

Do you want to save these paramaters?(y/n)

ESC 選択　　：(5)Setup 画面に戻ります。

NetAgent (ESC=quit)

NetAgent name(AGENT222):

NetAgent の 名称を設定します。(英文字入力)

IP address(0.0.0.0):

NetAgent の IP アドレスを設定します。

Subnet mask(0.0.0.0):

NetAgent の サブネットマスクを設定します。

Gateway ip(0.0.0.0):

NetAgent の ゲートウェイ・マシンの アドレスを設定します。

Manager setup(1=NetViewer 2=SNMP Manager ESC=quit)

１を選択 ：NetViewer 使用

２を選択 ：SNMP Manager 使用

ESC 選択 ：（５）Setup 画面に戻ります。

注）NetAgent は NetViewer と SNMP Manager を混在できません。

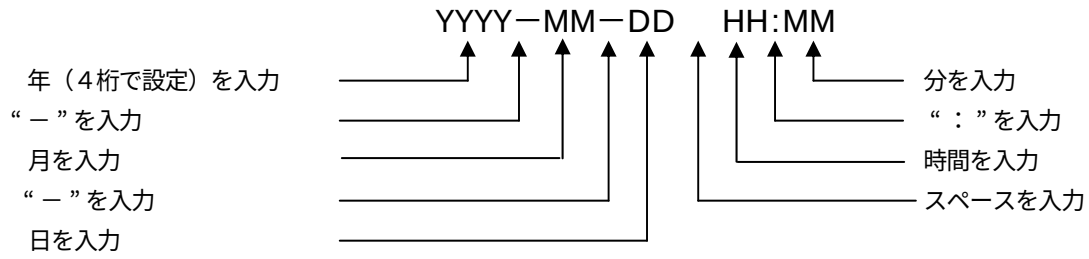
Do you want to save there paramaters(y/n)

ｙを選択 ：設定を登録し (5)Setup 画面に戻ります。

ｎを選択 ：設定を登録せず (5)Setup 画面に戻ります。

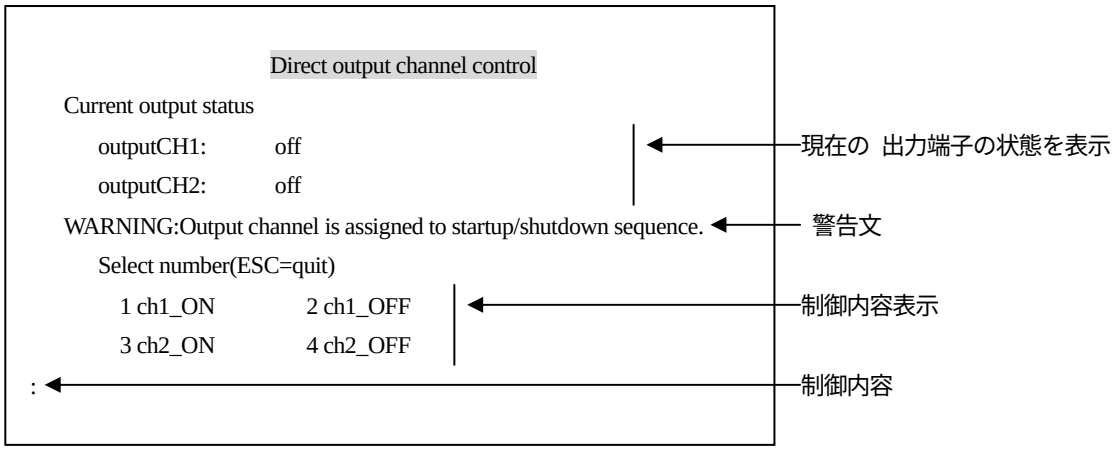
(6) Current data and time

時刻の設定をします。 時間は２４時間表示方式を使用します。



(7) Direct channel control

出力端子の ON/OFF を実施します。



:

WARNING:Output channel is assigned to startup/shutdown sequence.

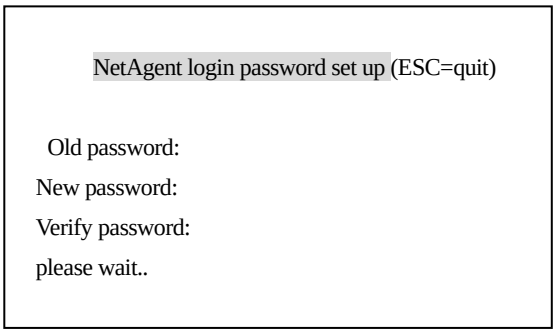
出力端子が パワーON、シャットダウン・シーケンスに登録されている場合
この警告文が表示されます。

制御内容

１を選択	：出力端子１ ON
２を選択	：出力端子１ OFF
３を選択	：出力端子２ ON
４を選択	：出力端子２ OFF

(8) NetAgent password

コンソール画面に入るための パスワードを設定します、パスワードを設定した場合、telnet での使用時にも 反映されます。



Old password:

事前にパスワードが設定されている場合 そのパスワードを入力します。

New password:

新規に登録したい パスワードを入力します。

Verify password:

確認のため 新規に登録した パスワードを再入力します。再入力が正しい場合、パスワードが登録されます。

(9) logout

コンソール画面から抜け ログイン・プロンプトに戻ります。

第６章

telnet による NetAgent の設定

設定について

telnet のによる NetAgent の設定は コンソールでの設定と同じです 各設定内容については
第５章 コンソールによる NetAgent の設定を ご参照ください。

注意事項

１） telnet を使用するには 事前に NetAgent の アドレス等の設定が必要です。設定用コンソールもしくは NetViewer の AgentSet.exe を起動して設定ください。

２） 設定用コンソールでパスワードを設定した場合 telnet 使用時にもパスワードの要求があります、
設定用コンソールおよび telnet 使用時の パスワードは同じになります。
どちらかで設定した 最新のパスワードが登録されています。

第 7 章

制御ホストの設定

制御ホストの設定

○ 制御ホストが RS232C ポート（UNIX 等）を使用するシリアルホストの場合
システム管理者に依頼して以下の作業を実施してください。

1）制御ホストの RS232C ポートから VT100 エミュレーションの端末が “ login ” できるように
設定してください。

2）“ login ” できるようになった RS232C ポートで シャットダウンが実行できるように
設定してください。

3）NetAgent が “ login ” し シャットダウンを実行できる ユーザアカウントを作成してください。

注）ＵＮＩＸマシンに使用する場合 RS232C ポートでの シャットダウン・コマンドが、制御マシンの
システムコンソールや telent 等の手順と違う場合があります。NetAgent を接続する前に
RS232C ポートを使用した シャットダウン・コマンドをご確認ください。

○ 制御ホストが COM ポート（WindowsNT4.0／NetWare 等）を使用するネットワーク OS の場合
システム管理者に依頼して以下の作業を実施してください。

1）NetAgent を接続する 制御ホストの COM ポートを UPS 接続に設定します。

2）電源障害信号（停電信号）を “ 負 ” と設定してください。

3）バッテリ容量低下信号（バッテリ Low 信号）を “ 正 ” と設定してください。

第 8 章

ハードウェア仕様

8.1 ピンアサイン

HOST ポート

NO,	信号名
1	CD
2	RX Host Rx
3	TX Host Tx
4	DTR バッテリー Lo2
5	GND
6	DSR Win NT OFF2
7	RTS 停電２
8	CTS
9	CI

AUX ポート

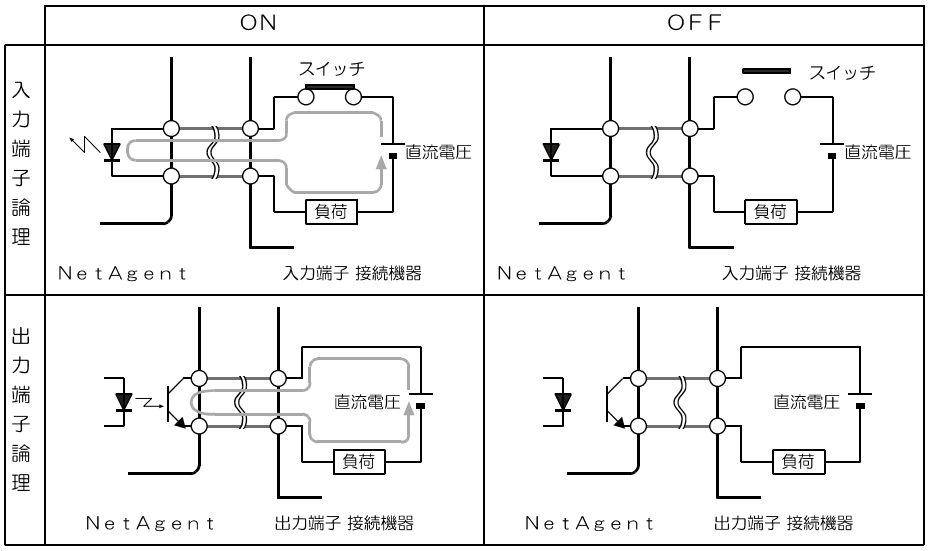
NO,	信号名
1	Extened Tx
2	Extened Rx
3	Console Tx
4	GND
5	Console Rx
6	Win NT OFF OK(DTR)
7	バッテリー Lo(CD)
8	停電(CS)

RMT ポート

NO,	信号名
1	GND
2	Power ON
3	GND
4	Power OFF

8.2 入出力端子

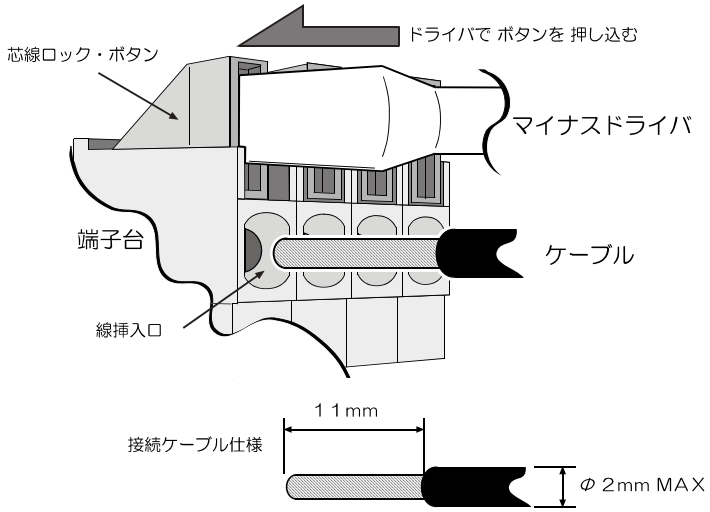
論理



推奨動作条件

項目	記号	標準	最大	単位
電源電圧	Vcc	5	２４	V
順電流	I_F	１６	２５	mA
コレクタ電流	Ic	1	１０	mA

入出力端子台取り付け方法



芯線サイズ

AWG２６～２０

０．１４～０．５mm^2

（ φ０．８mmＭＡＸ ）

芯線の長さ　１１mm

8.3 NetAgent ハードウェア仕様

CPU	70325GJ-10(V25Plus)
メモリ	ROM ：512kByte　RAM ：256Kbyte　フラッシュ：128KByte
クロック	10 MHz
動作条件	周辺温度：0～40℃、相対湿度：９０％以下（無結露のこと）

8.4 NetViewer インストレーション 推奨マシン

CPU	Pentium プロセッサ　１３３ＭＨｚ以上
メモリ	３２ＭＢ以上
ハードディスク	１５ＭＢ以上（ソフトウェア １０ＭＢ、ログ機能 ５ＭＢ）
ＣＲＴ	８００×６００（２５６色以上　ハイカラー 推奨）
Ｏ／Ｓ	Windows９５、WindowsＮＴ４．０

第９章

画面表示一覧

9.1 NetAgent ログ表示一覧

コンソール画面 メイン画面の “ （4） History ”、 NetViewer のグループ画面 “ ヒストリ ” で表示される ログの一覧です。

メッセージ	メッセージ (英文)
netAgentのリセットスタートまたは電源オン	****Initial start netAgent****
FLASHROM の初期化	Clear Flash Rom
bank3プロセスがデッドロックしたのでリセットをかける	Process 3 dead lock
bank4プロセスがデッドロックしたのでリセットをかける	Process 4 dead lock
bank5プロセスがデッドロックしたのでリセットをかける	Process 5 dead lock
bank6プロセスがデッドロックしたのでリセットをかける	Process 6 dead lock
出力チャネル1を、シーケンス制御でクローズにした	CH_1_close
出力チャネル1を、consoleからクローズにした	CH_1_close by console
出力チャネル1を、managerからクローズにした	CH_1_close from manager
出力チャネル1を、シーケンス制御でオープンにした	CH_1_open
出力チャネル1を、consoleからオープンにした	CH_1_open by console
出力チャネル1を、managerからオープンにした	CH_1_open from manager
出力チャネル2を、シーケンス制御でクローズにした	CH_2_close
出力チャネル2を、consoleからクローズにした	CH_2_close by console
出力チャネル2を、managerからクローズにした	CH_2_close from manager
出力チャネル2をシーケンス制御でオープンにした	CH_2_open
出力チャネル2を、consoleからオープンにした	CH_2_open by console
出力チャネル2を、managerからオープンにした	CH_2 open from manager
停電が発生した	Powerfailure occurrence
停電が復旧した	Powerfailure recovery
バッテリーローが発生した	Battery_lo occurrence
バッテリーローが復旧した	Battery_lo recovery
UPSの電源投入	UPS Power on
UPSの電源切断	UPS Power off
UPS故障	UPS mechanical fail
UPS故障からの復帰	UPS mechanical fail recover
復電による、UPS 立ち上げ	Auto power recovery
すでにパワーが落ちている	Already power off
すでにパワーが入っている	Already power on
シャットダウンスタート	Start normal shutdown
緊急シャットダウンスタート	Start emergency shutdown
シャットダウン終了	Shutdown complete
シャットダウンキャンセル	Shutdown cancel
netViewerの応答なし	Manager no response

shutdown命令をコンソールから受け付けた	Shutdown accept by console
shutdown命令をmanagerから受け付けた	Shutdown accept from manager
shutdown命令をリモートスイッチから受け付けた	Shutdown accept by remote switch
shutdown命令をスケジュールから受け付けた	Shutdown accept by schedule
shutdown命令をHOSTから受け付けた	Shutdown accept from host
shutdown命令を入力信号から受け付けた	Shutdown accept by input channel
パワーオン命令をコンソールから受け付けた	Power on accept by console
パワーオン命令をmagerから受け付けた	Power on accept from manager
パワーオン命令をスケジュールから受け付けた	Power on accept by schedule
パワーオン命令をリモートスイッチから受け付けた	Power on accept by remote switch
Hostの応答がないか、期待文字列が受け取れない	Host no response
RCV_01 タイムアウトが発生	Rcv_01 time out
RCV_02 タイムアウトが発生	Rcv_02 time out
RCV_03 タイムアウトが発生	Rcv_03 time out
RCV_04 タイムアウトが発生	Rcv_04 time out
RCV_05 タイムアウトが発生	Rcv_05 time out
RCV_06 タイムアウトが発生	Rcv_06 time out
RCV_07 タイムアウトが発生	Rcv_07 time out
RCVタイムアウトからの復帰	Rcv timeout recover
send01 からリトライをはじめる	Retry shutdown to send01
powerupシーケンスがスタートした	***Powerup sequence start***
powerupシーケンスが終了した	***Powerup sequence end***
shutdownシーケンスがスタートした	***Shutdown sequence start***
shutdownシーケンスが終了した	***Shutdown sequence end***
入力1がオン(電流が流れた)になった	Input1 on current
入力1がオフ(電流が切れた)になった	Input1 off current
入力2がオン(電流が流れた)になった	Input2 on current
入力21がオフ(電流が切れた)になった	Input2 off current

9.2 NetViewer の NetAgent 画面 状態表示一覧

HOST ポート状態表示（表示３）

"ブート中"
　　パワーON 処理中
"運用中"
　　制御ホスト 動作運用中
“ シャットダウン中 ”
　　シャットダウン実行中（NetViewer が NetAgen の状態を監視にいったとき表示）
"通常シャットダウン中"
　　通常シャットダウン実行中（NetAgent から NetViewer に通知）
"緊急シャットダウン中"
　　緊急シャットダウン実行中（NetAgent から NetViewer に通知）
"応答なし"
　　シリアルホストとの 通信ができない。
"ホスト電源オフ"
　　制御ホストの電源を OFF にしている状態。

UPS 給電状態（表示９）

"正常給電中"
　　UPS が正常に インバータ出力をしている。
"停電中"
　　停電が発生
"給電停止中"
　　UPS からの 電源供給を停止している。
"バイパス"
　　UPS が 商用電源から 給電している。
"不明"
　　NetAgent が UPS の状態取得ができない。

バッテリ状態（表示８）

"バッテリ LOW 回復"
　　UPS が 蓄電を実施し バッテリ LOW が回復した。
"バッテリ LOW 発生"
　　UPS が バッテリから電源を供給して バッテリ LOW が発生した。
“ 正常 ”
　　UPS の 蓄電率が 正常値である。
“ バッテリ LOW ”
　　UPS の バッテリが LOW である。

第 10 章
NetViewer による停電発生のみの NetAgent 設定

この章は 停電発生のみをトリガとし 制御ホストのシャットダウンを実施する設定について記述しています。
表記している順に 作業を実施してください。　また この設定実施後も設定変更は可能です。
この章での設定は 下記のような運用条件としてます。

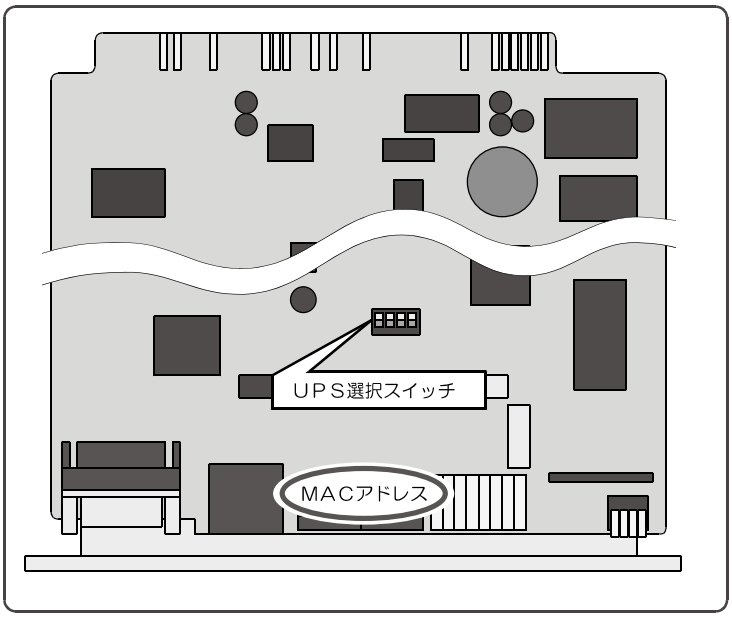
運用条件

NetViewer で NetAgent を設定
NetAgent の IP 自動取得を実施する
入力端子を使用しない
出力端子を使用しない
通常シャットダウンと緊急シャットダウンの制御は 同じ手順で実行

設定手順

1）NetAgent の UPS 選択 DipSW を設定し MAC アドレスを控えます。

UPS 選択 DipSW 一覧



■ SHU701
SW1：OFF　SW2：OFF　SW3：OFF
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

■ SHU102
SW1：ON　SW2：OFF　SW3：OFF
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

■ SHU152
SW1：OFF　SW2：ON　SW3：OFF
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

■ SAU202
SW1：ON　SW2：ON　SW3：OFF
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

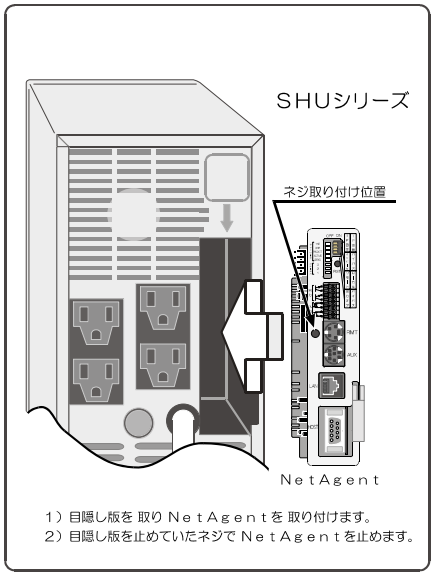
■ SAU302
SW1：OFF　SW2：OFF　SW3：ON
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

■ SAU502
SW1：ON　SW2：OFF　SW3：ON
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

UPS 選択スイッチで 商用電源の入力周波数 50Hz、60Hz と UPS の選択を設定してください。

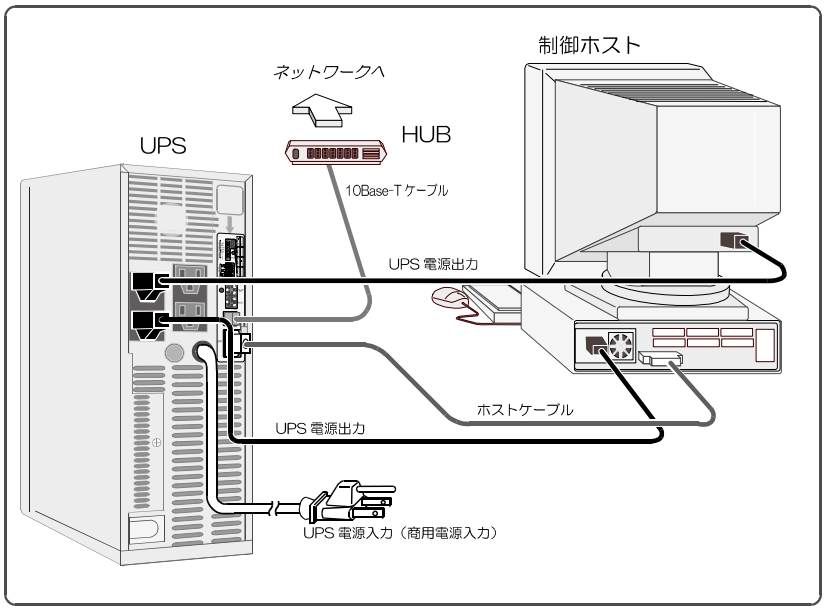
2）MAC アドレスを 控えます。

3）UPS に NetAgent を組み込みます。



NetAgent を組み込むときは 必ず UPS を OFF とし、
UPS を AC コンセントからはずしてください。

4）制御ホストと NetAgent、UPS を接続します。



ホストケーブルは
オプション品です 別途
ご購入ください、そのほかに
10Base-T ケーブルが必要です。

NetAgent の HOST ポートと
制御ホストの RS232C ポート（UNIX マシン等）または COM ポート（WindowsNT4.0、
NetWare 等）を接続します。

NetAgent の LAN ポートを
ネットワーク接続します。（10Base-T ケーブル使用）

UPS の出力電源と 制御ホストの AC 電源を接続します。

UPS 電源入力を 接続し UPS のスイッチを ON にします。

５）プラットホームマシンに NetViewer をインストレーションします

NetViewer をインストールするプラットホームマシンは　WindowsNT４．０もしくは Windows95 を使用し 設定する NetAgent と同一セグメント上に ネットワーク接続してください。
プラットホームマシンが 違うセグメントの場合 ネットワーク管理者にご相談の上 プラットホームマシンのネットワーク接続および設定を NetAgent と同一セグメントに変更してください。
（ルータが ブロードキャスト・メッセージを 違うセグメントに流す 設定になっている場合は
違うセグメントでも NetAgent の設定は可能です。 ご確認の上ネットワーク接続してください。）

※同一セグメント上に NetViewer を接続するのは BOOTP を実行し NetAgent の IP 自動取得を実施するためです、設定用コンソールで NetAgent の アドレス等を設定した場合は 上記の作業は必要ありません。

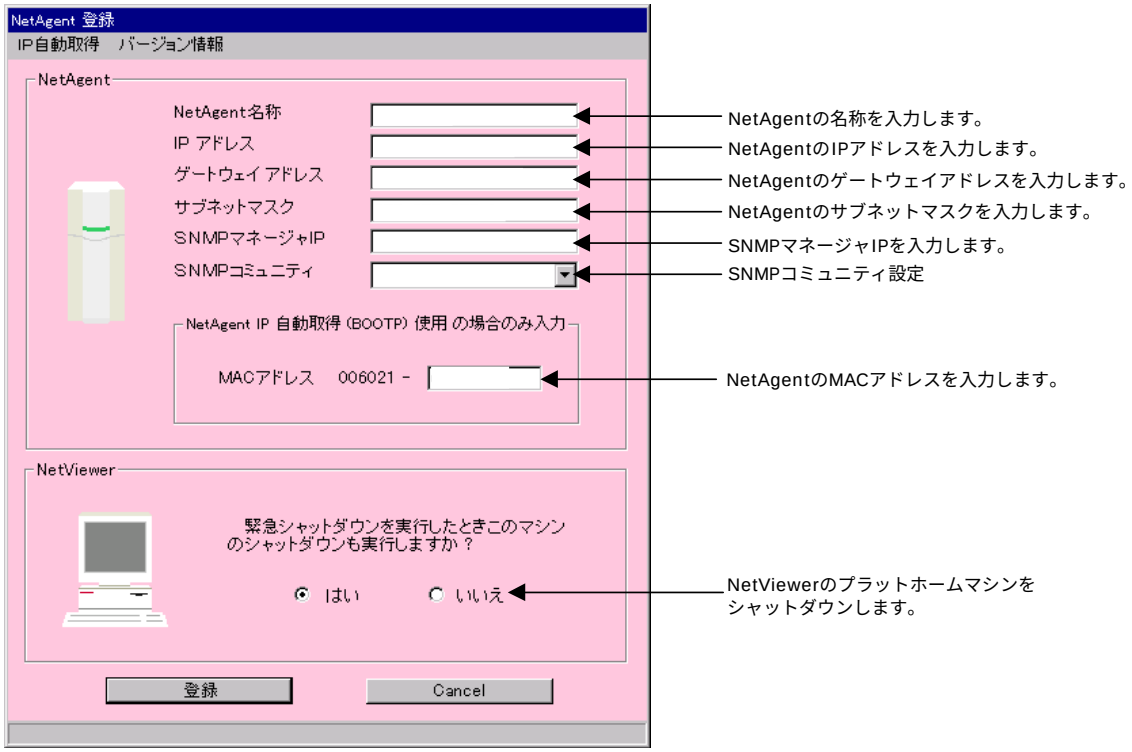
Windows が正常に動作しているのを確認し ＣＤを ＣＤ－ＲＯＭドライブにセットしてください。
ＣＤドライブの フォルダを 開き Setup.exe を起動し 画面に従い インストールを実行してください。

NetViewer の インストール・ディレクトリは
“ C:¥Program Files¥DSC¥FullBack¥NetViewre 試用版 ” の固定です。

6） NetAgent の登録

プラットホームマシンから AgentSet.exe ファイルを起動し 設定をする NetAgent のアドレス登録等の初期設定を実施します。

NetViewer 試用版のディレクトリから AgentSet.exe を起動します。



◇1 NetViewer を使用する場合 設定が必要なもの

1）NetAgent の名称
2）NetAgent の IP アドレス
3）NetAgent のゲートウェイアドレス
4）NetAgent のサブネットマスク

◇2 NetAgent の IP 自動取得をする場合 設定が必要なもの

1）◇1の 4 項目
2） MAC アドレス
NetAgent の MAC アドレスは NetAgent ボードに記載されています、くわしくは
第２章 NetAgent の設定 NetAgent 各部名称 をご参照ください

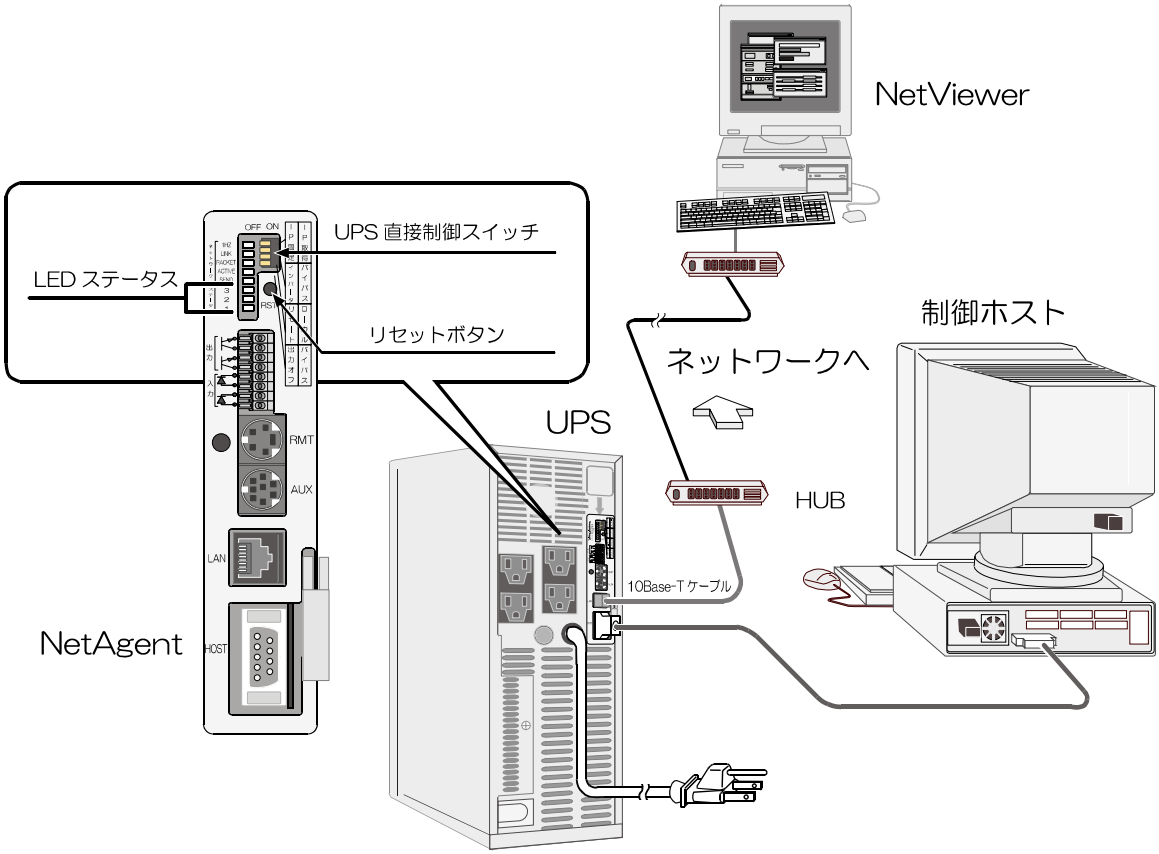
◇3 SNMP マネージャを使用する場合

1）◇1の 4 項目
1）SNMP マネージャ IP アドレス
2）SNMP コミュニティ設定

設定が終了しましたら 登録 ボタンを押し IP の自動取得を実施しない場合は、NetAgent の登録画面と内容確認画面を終了します。 NetAgent の IP の自動取得は 次の項をご参照ください。

注）ＳＮＭＰマネージャを設定した場合 NetViewer は使用できません。

7）NetAgent の アドレス自動取得（IP 取得）



設定手順

作業は 記述されている順に実施してください、 “ NV ” は NetViewer で実施する作業、
“ AG ” は NetAgent で実施する作業です。

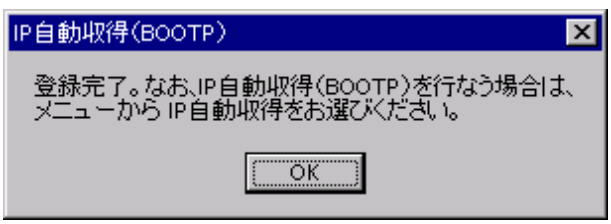
AG 作業１）NetAgent の MAC アドレスを控え、 NetAgent をインストレーションします。

AG 作業２）UPS のパワーを ON します。

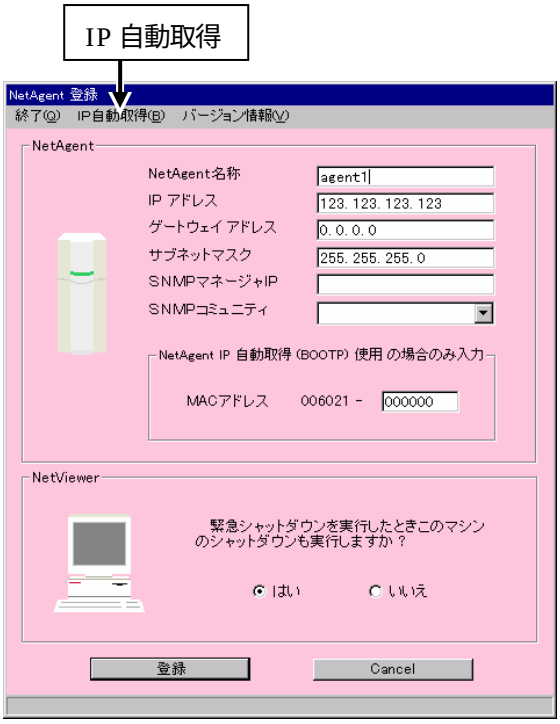
NV 作業１）AgentSet.exe を起動し、“ NetAgent 登録 ” 画面で アドレス等の設定をし 登録 ボタンを押します。

NV 作業２）“ NetAgent 登録内容確認 ” 画面で OK ボタンを押します。

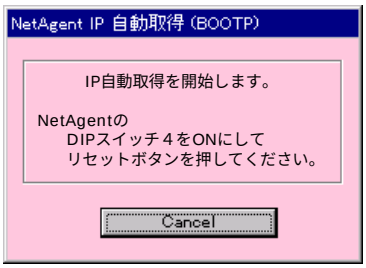
NV 作業３）右記の画面で
OK ボタンを押します。



NV 作業４）右記の画面から
“ IP 自動取得 ”を
選択します。

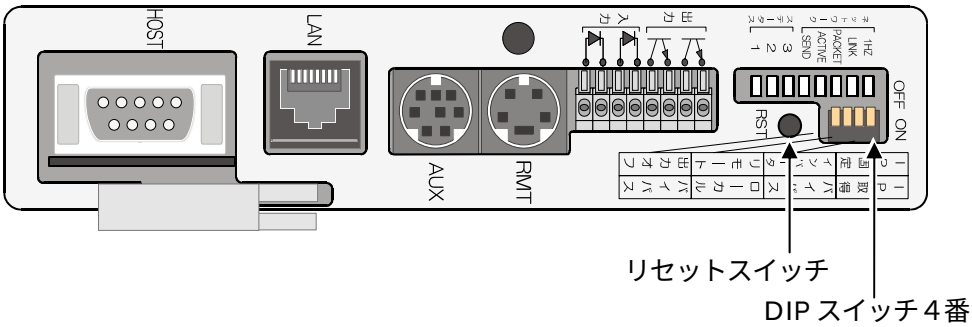


NV 作業５）下記の画面が表示されます。



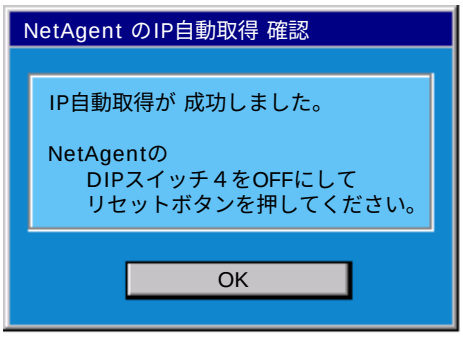
AG 作業３）

○ NetAgent の DIP スイッチ４番を ON にします。
○ NetAgent の リセットスイッチを 押します。



NV 作業 6）

NetAgent の IP 自動取得が成功した場合

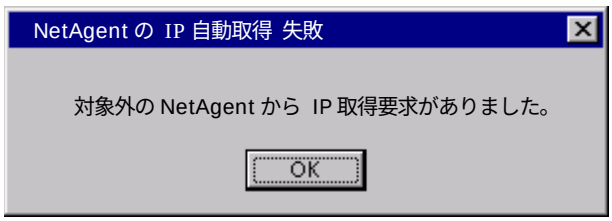


左記の画面が表示されます。

OK ボタンを押し AgentSet.exe を終了します。

通常は 5〜10 秒で 取得が可能です。

NetAgent の IP 自動取得が失敗した場合



１分以上 “ NV 作業５ ” の画面のままか、 もしくは左記の画面が表示されます。

失敗の原因

○ IP 自動取得 失敗の画面が 表示され場合

AgentSet.exe で設定した MAC アドレスが違います。

○ “ NV 作業５ ” の画面のまま 確認画面が表示されない場合

①AgentSet.exe で設定した アドレスが違う。

②NetAgent と NetViewer が 同一セグメント上に接続されていない。

③NetViewer の プラットホーム・マシンのネットワーク設定が

正しく設定されてない。

④ネットワーク・ケーブルが正しく接続されていない。等が

考えられます、 ご確認の上 再度作業を実施してください。

NetAgent の IP 自動取得が 成功した場合

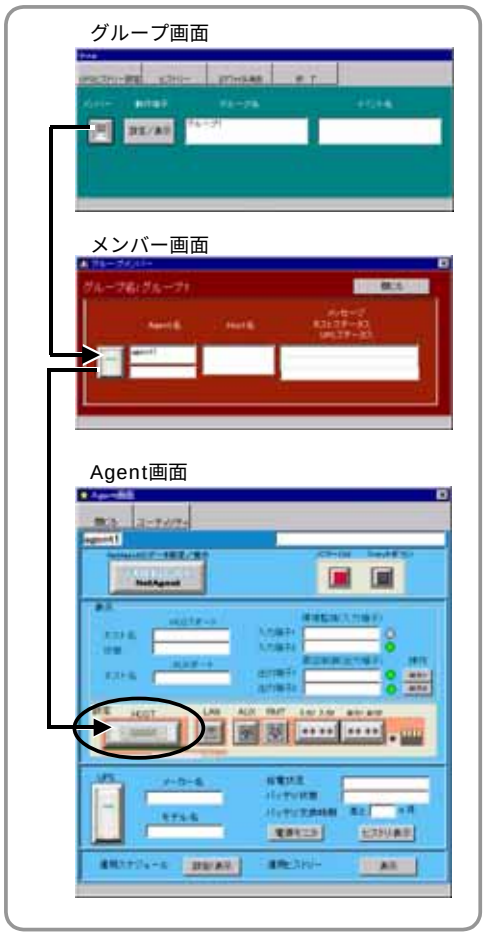
AG 作業４）

○ NetAgent の DIP スイッチ４番を OFF にします。

○ NetAgent の リセットスイッチを 押します。

以上の作業で NetAgent と NetViewer が通信できるようになります。

8）プラットホームマシンから NetViewer.exe を実行し NetViewer を起動します。



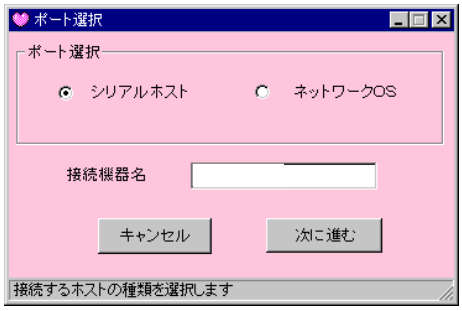
グループ画面 → メンバー画面 → Agent 画面に移り
Agnet 画面の “ HOST”のボタンを押し、シーケンス設定を
実施します。

工場出荷時は
　入力端子 緊急シャットダウンを開始させますか？・・いいえ
　出力端子 パワーON／シャットダウンのシーケンス処理に
　　使用しますか？・・いいえ
となっていますので 次の設定に進んでください。

入力端子、出力端子を使用した処理から 再設定する場合は
上記の事項を 全て “ いいえ ” に設定しなおしてください。

9）シャットダウン・シーケンスの設定

9－1）ポートの選択



画面 HOST ポート（1）

○ シリアルホスト　　RS232C を使用する（UNIX マシン等）制御マシン
○ ネットワーク OS　　COM ポートを使用する（WindowsNT4.0、NwtWare 等）
　　制御ホストを選択します。
○ HOST ポートに接続された 制御ホスト名を キー入力します。

※1 ネットワーク OS を選択すると 画面 HOST ポート （9－2、3）は表示されません。

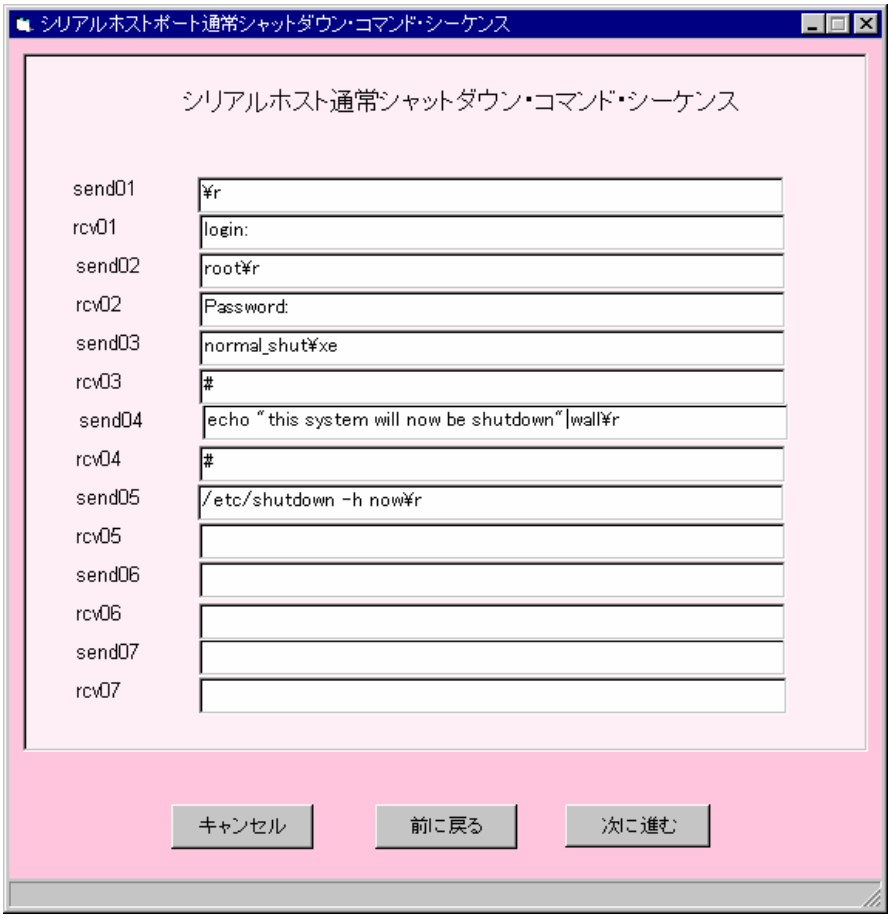
※２「シリアルホスト」と「ネットワーク OS」を切り替える時には、必ず「緊急シャットダウン」の
設定で 更新 ボタンを押してください

９－２）シリアルポート設定

画面 HOST ポート（２）

画面 HOST ポート（１）で シリアルポートを選択した場合、 制御ホストとの RS232C での
通信設定を入力します

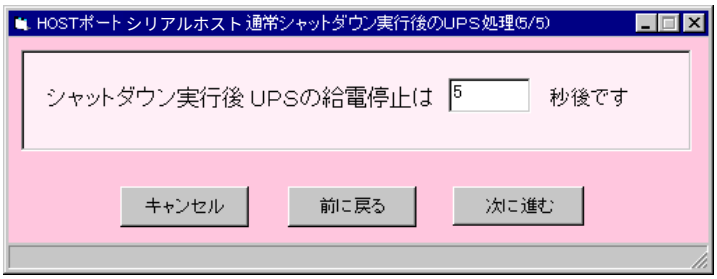
９－３）通常シャットダウン・コマンド・シーケンス設定



画面 HOST ポート（３）

ポートの選択で シリアルホストを選択した場合 制御ホストを 通常シャットダウンする コマンド手順を
設定します。 （関連事項 第３章 NetAgent を設定する前に）

9－4）通常シャットダウン UPS 処理



画面 HOST ポート（4）

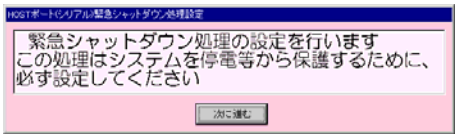
画面 HOST ポート（3）の処理が終了してから UPS の給電停止までの時間を キー入力します。

9－5）緊急シャットダウンへの シャットダウン・シーケンス コピー

画面 HOST ポート（5）

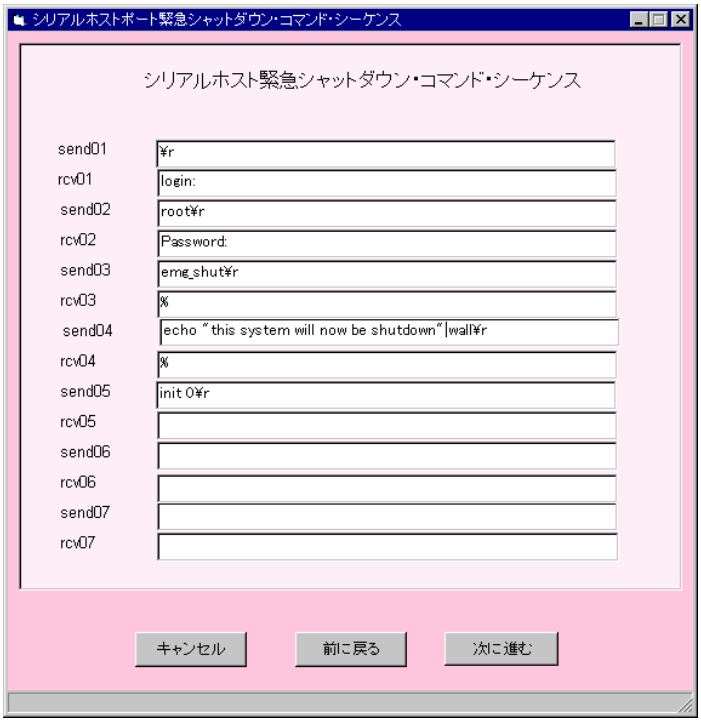
はい を選択し 通常シャットダウンの設定を 緊急シャットダウンにコピーします。

9－6）緊急シャットダウン関連事項 設定



次に進む を選択します。

画面 HOST ポート（6）

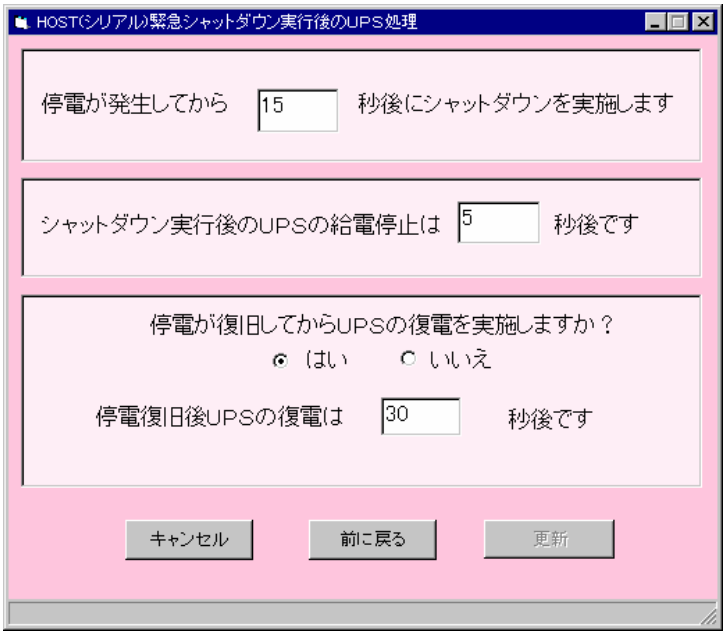


この画面は ポートの選択で ネットワーク OS を選択したときは 表示されません。

次に進む を選択します。

画面 HOST ポート（7）

9－7）緊急シャットダウン UPS 処理



画面 HOST ポート（8）

停電が 発生してから 緊急シャットダウンを開始するまでの 待ち時間を キー入力します。

画面 ホストポート（7）の処理が終了してから UPS 給電停止までの 時間を入力します。

停電が 復旧してから 制御ホストの パワーON を実施するか？ 復旧後、復電するまでの待ち時間を入力します。

更新 を押し Agent 画面へ戻ります。

その他の制御を 設定したい場合は 第４章 NetViewe による NetAgent の設定 を参照ください。

１０）制御ホストの設定

１０－１）制御ホストが RS232C ポート（UNIX 等）を使用するシリアルホストの場合
システム管理者に依頼して以下の作業を実施してください。

1）制御ホストの RS232C ポートから VT100 エミュレーションの端末が “ login ” できるように設定します。

2）“ login ” できるようになった RS232C ポートで シャットダウンが実行できるように設定してください。

3）NetAgent が “ login ” し シャットダウンを実行できる ユーザアカウントを作成してください。

注）ＵＮＩＸマシンに使用する場合 RS232C ポートでの シャットダウン・コマンドが、制御マシンの
システムコンソールや telnet 等の手順と違う場合があります。NetAgent を接続する前に
RS232C での シャットダウン・コマンドをご確認ください。

１０－２）制御ホストが COM ポート（WindowsNT4.0／NetWare 等）を使用するネットワーク OS の場合
システム管理者に依頼して以下の作業を実施してください。

1）NetAgent を接続する 制御ホストの COM ポートを UPS 接続に設定します。

2）電源障害信号（停電信号）を “ 負 ” と設定します。

3）バッテリ容量低下信号（バッテリ Low 信号）を “ 正 ” と設定します。

第 11 章
設定用コンソールによる 停電発生のみの NetAgent 設定

この章は 停電発生のみをトリガとし 制御ホストのシャットダウンを実施する設定について記述しています。
表記している順に 作業を実施してください。　また この設定実施後も設定変更は可能です。
この章での設定は 下記のような運用条件としてます。

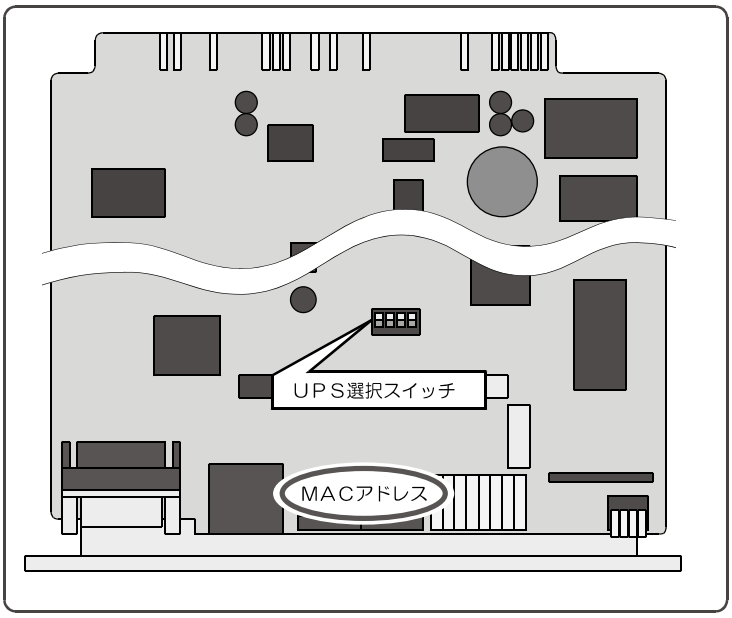
運用条件

設定用コンソールで NetAgent を設定
NetAgent の IP を設定する。
入力端子を使用しない
出力端子を使用しない
通常シャットダウンと緊急シャットダウンの制御は 同じ手順で実行

設定手順

1）NetAgent の UPS 選択 DipSW を設定し MAC アドレスを控えます。

UPS 選択 DipSW 一覧



■ SHU701
SW1：OFF　SW2：OFF　SW3：OFF
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

■ SHU102
SW1：ON　SW2：OFF　SW3：OFF
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

■ SHU152
SW1：OFF　SW2：ON　SW3：OFF
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

■ SAU202
SW1：ON　SW2：ON　SW3：OFF
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

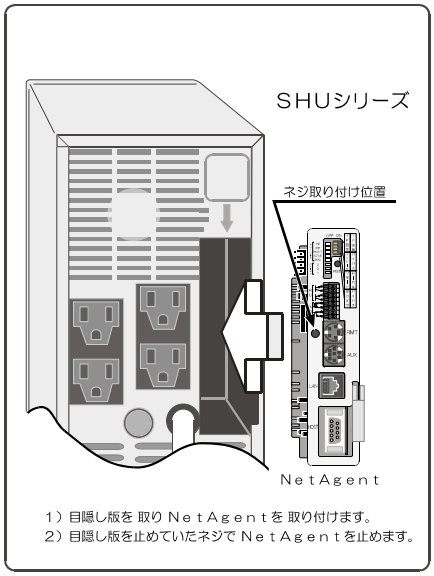
■ SAU302
SW1：OFF　SW2：OFF　SW3：ON
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

■ SAU502
SW1：ON　SW2：OFF　SW3：ON
(50Hz：SW4-OFF　60Hz：SW4-ON)

UPS 選択スイッチで 商用電源の入力周波数 50Hz、60Hz と UPS の選択を設定してください。

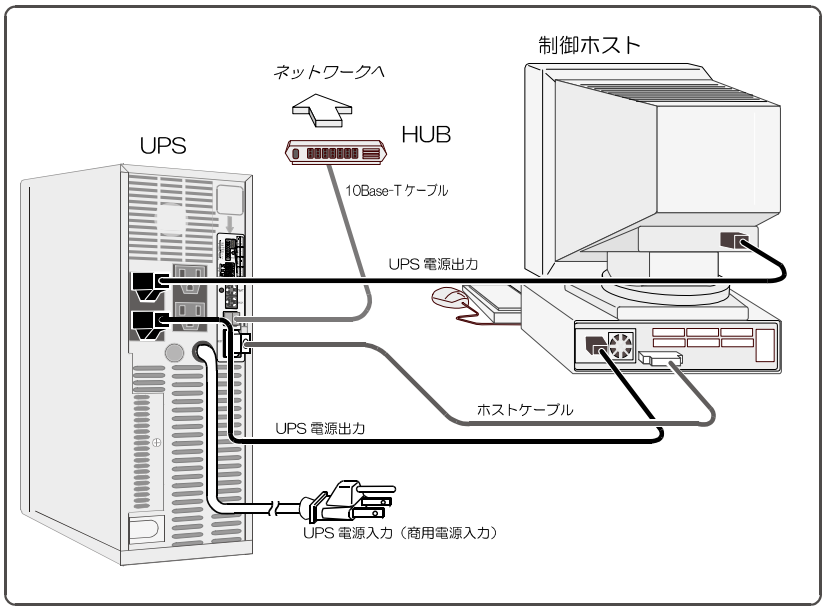
2）MAC アドレスを 控えます。

3）UPS に NetAgent を組み込みます。



NetAgent を組み込むときは 必ず UPS を OFF とし、
UPS を AC コンセントからはずしてください。

4）制御ホストと NetAgent、UPS を接続します。



ホストケーブルは
オプション品です 別途
ご購入ください、そのほかに
10Base-T ケーブルが必要です。

NetAgent の HOST ポートと
制御ホストの RS232C ポート（UNIX マシン等）または COM ポート（WindowsNT4.0、
NetWare 等）を接続します。

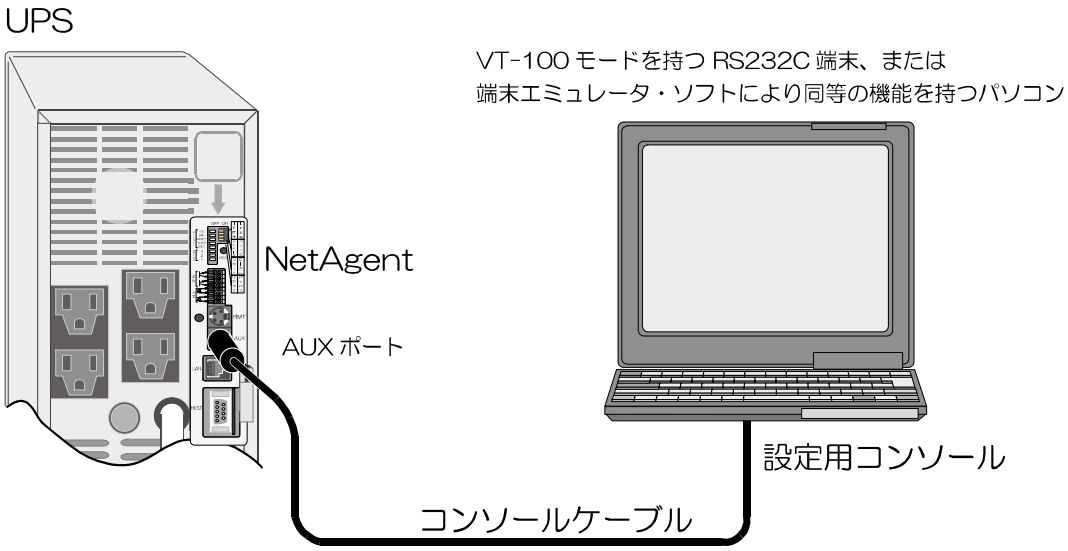
NetAgent の LAN ポートを
ネットワーク接続します。（10Base-T ケーブル使用）

UPS の出力電源と 制御ホストの AC 電源を接続します。

UPS 電源入力を 接続し UPS のスイッチを ON にします。

5） コンソールの接続

NetAgent と設定用コンソールの接続



コンソールケーブル（オプション販売品）を使用し　設定用コンソール（以下 コンソール）と NetAgent を接続します。

コンソール通信設定を下記のように設定ください。

スピード	９６００ ｂｐｓ
ビット長	８ ｂｉｔ
パリティ	ｎｏｎｅ
ストップビット	１ ｂｉｔ

接続後 リターンキーを入力しますと “ ｌｏｇｉｎ：” プロンプトが 表示されますので

ｍｅｎｕ　を入力後 リターンキーを入力し コンソール画面を開きます。

事前にパスワードの設定を 実施している場合は パスワードを入力します。
工場出荷時は パスワードが設定されていないため、 パスワードの入力は必要はありません。

```
*******Welcome to Fullback netAgent V1.0********

login: menu ＜リターンキー＞
```

６）コンソール設定手順

手順１　制御ホストの設定を実施します。
手順２　HOST ポートの通信設定をします。（ネットワーク OS は不要です）
手順３　シャットダウン・コマンド・シーケンスの設定を実施します。
　○ シリアルホスト
　　シャットダウン・コマンド・シーケンスと パワーOFF 時間の設定
　○ ネットワーク OS
　　シャットダウン・コマンド・シーケンスを 全てスペースを入力します
　　パワーOFF 時間の設定
手順４　緊急シャットダウンにコピーします。
手順５　停電復旧後 自動的にパワーON シーケンスを実施させます。
手順６ NetAgent のアドレス等を設定します。

手順１ 制御ホストの設定

１－１）制御ホストが RS232C ポート（UNIX 等）を使用するシリアルホストの場合
　　システム管理者に依頼して以下の作業を実施してください。

１）制御ホストの RS232C ポートから VT100 エミュレーションの端末が “ login ” できるように設定します。

２）“ login ” できるようになった RS232C ポートで シャットダウンが実行できるように設定してください。

３）NetAgent が “ login ” し シャットダウンを実行できる ユーザアカウントを作成してください。

注）ＵＮＩＸマシンに使用する場合 RS232C ポートでの シャットダウン・コマンドが、制御マシンの
　システムコンソールや ｔｅｌｎｅｔ等の手順と違う場合があります。NetAgent を接続する前に
　RS232C での シャットダウン・コマンドをご確認ください。

１－２）制御ホストが COM ポート（WindowsNT4.0／NetWare 等）を使用するネットワーク OS の場合
　　システム管理者に依頼して以下の作業を実施してください。

１）NetAgent を接続する 制御ホストの COM ポートを UPS 接続に設定します。

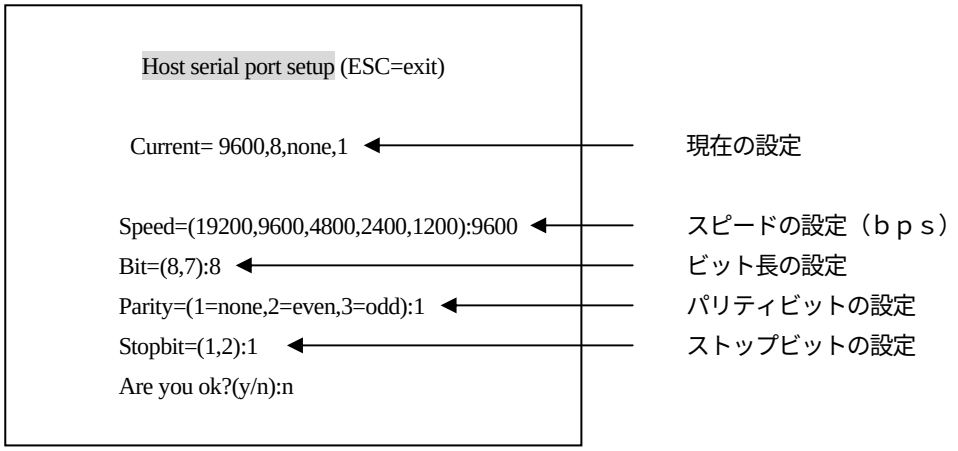
２）電源障害信号（停電信号）を “ 負 ” と設定します。

３）バッテリ容量低下信号（バッテリ Low 信号）を “ 正 ” と設定します。

手順２

(5.3.3) Serial port setup

NetAgent の HOST ポート（RS232C）の設定を設定します。 この画面を 選択すると
下記のように表示されます。



ＥＳＣキーで (5.3) Shutdown procedure 画面に戻ります。

Are you ok?

ｙを選択 ：(5.3) Shutdown procedure 画面に戻ります。
ｎを選択 ：設定をしなおします。

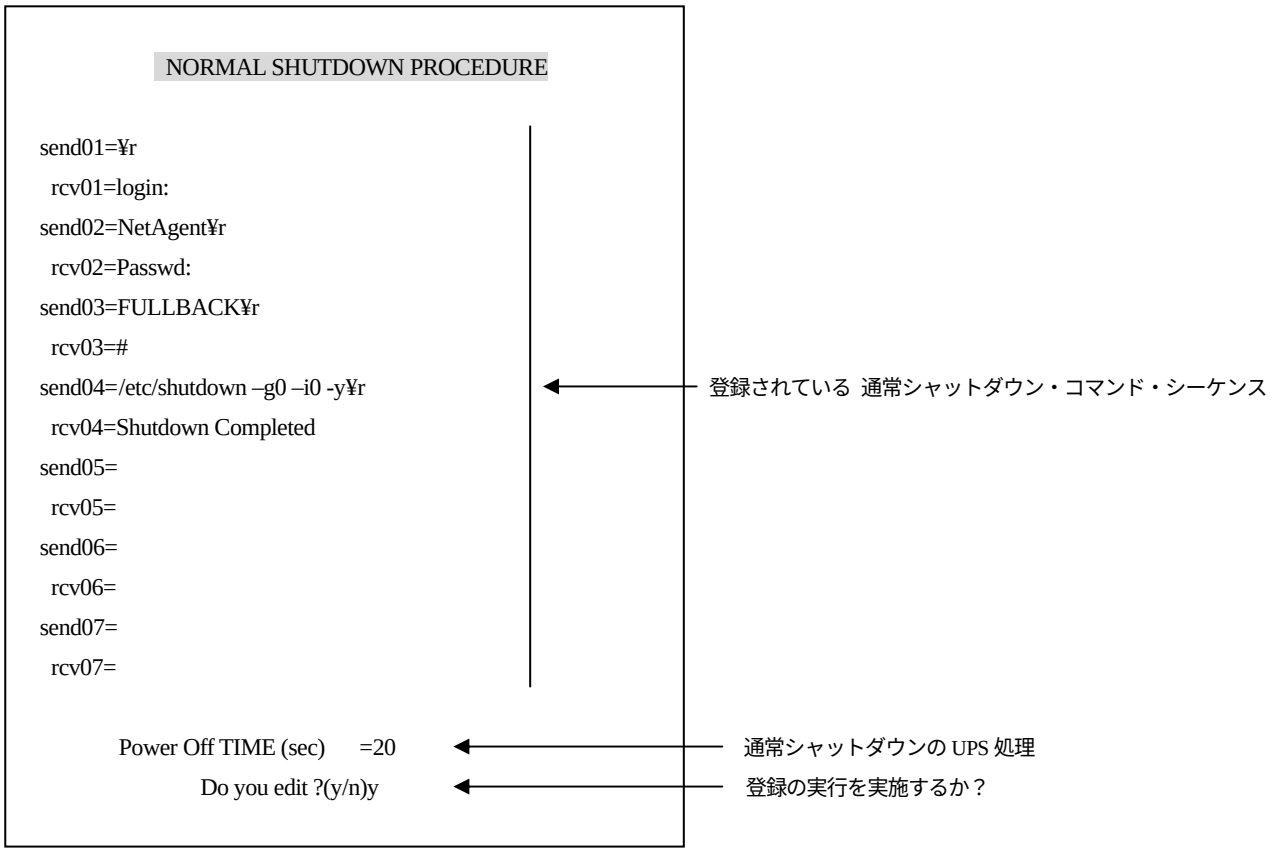
この設定が終了すると シリアルホストは コンソールメニューの （５．３．４）Direct Host access で
制御ホストとの通信ができます。 通信できない場合、制御ホストの設定もしくは HOST ポートの設定を
ご確認ください。

手順 3

○ シリアルホストの場合、シャットダウン・コマンド・シーケンスを設定します。
○ ネットワーク OS の場合 シャットダウン・コマンド・シーケンスをすべて **削除**します。
○ UPS 給電停止時間を設定します。

(5.3.1) Shutdown procedure (Edit & Register)

この画面を 選択すると 通常シャットダウンの シャットダウン・コマンド・シーケンス設定、通常シャットダウンの UPS 処理および、緊急シャットダウンの シャットダウン・コマンド シーケンス設定、通常シャットダウンの UPS 処理を設定します。



通常シャットダウン・コマンド・シーケンス設定

オペレータが入力する文字列を
“ｓｅｎｄ”
ホストコンピュータ（制御ホスト）から送られてくる文字列（トリガとなる文字列）を
“ｒｃｖ” として
シャットダウン・コマンドの受け渡し（シャットダウン・コマンド・シーケンス）を NetAgent に登録します。

NetViewer を使用した 設定例で シャットダウン・コマンド・シーケンスを説明します。

制御ホストの RS232C に接続した 端末が シャットダウンを実行する
○ 入力コマンドと同じものを send
○ 制御ホストから発行されるトリガとなる文字列を rcv に入力します。

注１）シャットダウン・コマンド・シーケンスは RS232C による シャットダウンコマンドを使用する（UNIX マシン）で使用するもので **ネットワーク OS** の設定の場合 “ send”,”rcv”データは全て **削除**してください。

注 2）制御ホストの RS232C を使用したシャットダウン実施は、 制御ホストのシステム・コンソールや telnet 等を 使用した場合と シャットダウン・コマンド・シーケンスが違う場合があります。
必ず 制御ホストの RS232C からの シャットダウンを実施して 設定してください。

注 3）“ リターンキー ”、ESC、Ctrl-D 等を必ずご確認のうえ 設定してください

リターンキー	￥ｒ、＼ｒ	
ESC キー	￥ｅ、＼ｅ	
Ctrl-D	￥ｄ、＼ｄ	となります。

Power Off TIME (sec) =
シャットダウン・シーケンス終了後 UPS パワーOFF まで待ち時間を設定

Do you edit ?(y/n)y
通常シャットダウン・コマンド・シーケンスの登録を実施するか？
ｙを選択 ： 登録の実行

“send”,”rcv”項目は 文字列を入力して リターンキーを入力すると 下段へと移ります。
登録が 完了した場合 ESC キーにより 登録項目から抜けます。

Do you write over these parameters ? (y/n) y
ｙを選択 ：通常シャットダウン・コマンド・シーケンスとして データを再登録

手順４

Copy usual shutdown to emergency shutdown ?(y/n) y
ｙを選択 ：通常シャットダウン・コマンド・シーケンスを
緊急シャットダウン・コマンド・シーケンスにコピーする。

緊急シャットダウン・・コマンド・シーケンスで 下記の部分を入力し その他の設定を変更せずに
データを登録します。

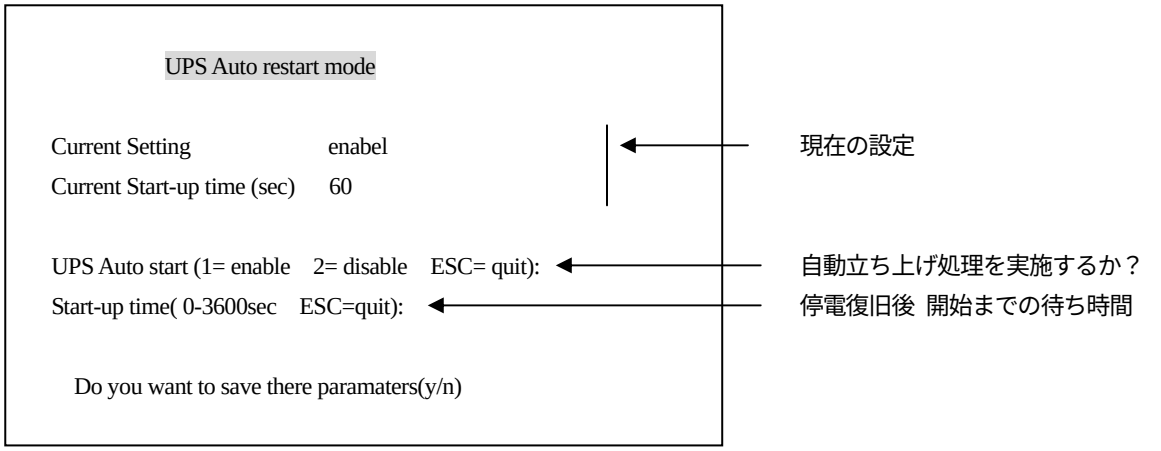
Shutdown after Power-Failure
入力端子および 停電発生の トリガが発生してから シャットダウン・シーケンスを実施する までの 待ち時間を入力します。

シリアルホストの場合、 （５．３．２）Shutdown Procedure(Trace & Register)を
使用して、 シャットダウン・コマンド・シーケンスのサンプルを作成する方法もあります。

手順 5

5.4) UPS Auto restart mode

停電発生による 緊急シャットダウンを実施、終了後 停電が復旧した場合、
自動立ち上げ処理（パワーON シーケンス）を実施するか？を設定します。この画面を 選択すると
下記のように表示されます。


UPS Auto restart mode
Current Setting enabel
Current Start-up time (sec) 60
UPS Auto start (1= enable 2= disable ESC= quit):
Start-up time(0-3600sec ESC=quit):
Do you want to save there paramaters(y/n)
現在の設定
自動立ち上げ処理を実施するか？
停電復旧後 開始までの待ち時間

UPS Auto start (1= enable 2= disable ESC= quit):

停電復旧後 自動立ち上げ処理（パワーON シーケンス）を実施するか？設定します。

１を選択 ：実施します。
２を選択 ：実施しません。
ESC 選択 ：(5)Setup 画面に戻ります。

Start-up time(0-3600sec ESC=quit):

停電復旧後 自動立ち上げ処理（パワーON シーケンス）を実施するまでの時間を設定します。

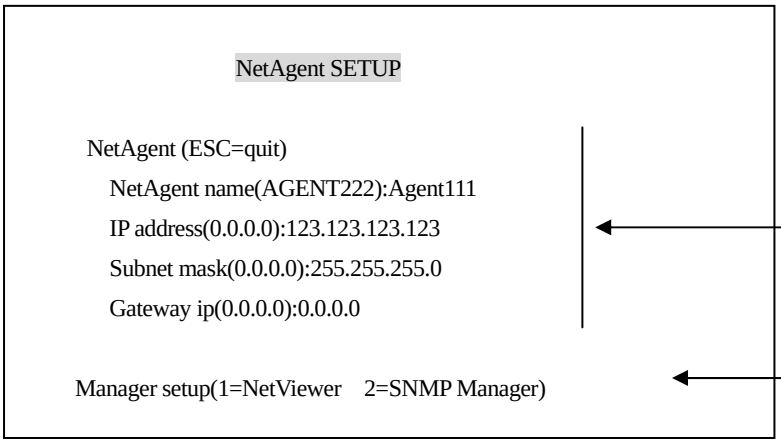
Do you want to save there paramaters(y/n)

ｙを選択 ：設定を登録し (5)Setup 画面に戻ります。

手順６

(5.5) NetAgent setup

NetAgent の アドレス、NetViewer のアドレス等を設定します。この画面を 選択すると下記のように表示されます。



NetViewer を選択した場合

NetViewer IP address(0.0.0.0): ← NetViewer の アドレスを入力

Do you want to save these paramaters?(y/n)

ESC 選択　　：(5)Setup 画面に戻ります。

Manager setup(1=NetViewer　2=SNMP Manager)：１を選択します。

NetAgent (ESC=quit)

NetAgent name(AGENT222):

NetAgent の 名称を設定します。（英文字入力）

IP address(0.0.0.0):

NetAgent の IP アドレスを設定します。

Subnet mask(0.0.0.0):255.255.255.0

NetAgent の サブネットマスクを設定します。

Gateway ip(0.0.0.0):0.0.0.0

NetAgent の ゲートウェイ・マシンの アドレスを設定します。

Do you want to save there paramaters(y/n)

ｙを選択 ：設定を登録し (5)Setup 画面に戻ります。

第 12 章

こんなときは？

１２．１ 現象と対処方法

NetAgent と NetViewer の設定で おもなトラブルと対処法について説明します。

■ 設定用コンソールを接続しても コンソール画面が開かない。

1） VT１００エミュレーションの コンソールを使用する。

2） コンソールの 通信設定が違う。
スピード ９６００ｂｐｓ　ビット長 ８ｂｉｔ
パリティ ｎｏｎｅ　ストップビット １ｂｉｔ

3）NetAgent キット オプションケーブルを使用していない。
4） “ login ”のユーザ名が “ｍｅｎｕ”と入力してない。

■ NetAgent の アドレス自動取得ができない。

1）NetAgent の MAC アドレスが違う。
NetAgent の MAC アドレスを調べ AgentSet.exe を設定します。

2）NetAgent と NetViewer が 同一セグメントにネットワーク接続されていない。
NetAgent と NetViewer を 同じ HUB に接続し アドレス自動取得ができれば
同一セグメントにネットワーク接続されていない ことになります、
同一セグメントにネットワーク接続してください。

3）ネットワーク接続の確認。
ネットワークへの接続が 正常でない場合があります、NetAgent、NetViewer の
ケーブルと接続の確認と、 NetViewer のプラットホーム・マシンのネットワーク設定を
確認します。（プラットホーム・マシンから NetAgent 以外のマシンと ネットワーク接続
できるか？を確認してください）

■ NetViewer から NetAgent が見えない。

1）ネットワーク接続の確認。
ネットワークへの接続が 正常でない場合があります、NetAgent、NetViewer の
ケーブルと接続の確認と、 NetViewer のプラットホーム・マシンのネットワーク設定を
確認します。（プラットホーム・マシンから NetAgent 以外のマシンと ネットワーク接続
できるか？を確認してください）

2）NetViewer、NetAgent の IP アドレス確認
ネットワーク上の 任意のマシンとアドレスが 重なっていないか確認します。

3）NetAgent と NetViewer が 同一セグメントにネットワーク接続されていない。
NetAgent と NetViewer を 同じ HUB に接続し アドレス自動取得ができれば
同一セグメントにネットワーク接続されていない ことになります、
同一セグメントにネットワーク接続してください。

■シリアルホストのシャットダウンが実行できない。

① 制御 ホストの設定が 正しくされていない。
② シャットダウン・コマンド・シーケンス設定に誤りがある。
③ HOST ポートの通信設定に誤りがある。
④ NetAgent キット・オプション・ケーブルを使用していない。

NetViewer で “ HOST ポートの選択 ” で シリアルホストを選択しているのを確認の上
制御ホストの RS232C ポートに VT100 エミュレーションの 端末を接続し シャットダウンを実施し、
1）正しく login、シャットダウンが 実行できるか？の確認
2）シャットダウン・コマンド・シーケンスの確認をする。

■ネットワーク OS のシャットダウンが実行できない。

① NetAgent キット・オプション・ケーブルを使用していない。
② NetViewer で “ HOST ポートの選択 ” で ネットワーク OS を選択する。
③ コンソールを使用し NetAgent を設定ている場合、 シャットダウン・コマンド・シーケンスをすべて**削除**していない。

１２．２ 目的別 索引

AUX ポートに制御ホストを接続するには？

NetViewer 使用

第１章 １．１１ 制御ホストを自動運転するために 必要な作業および器材 一覧 8

第４章 ４．４．４ AUX ポートの設定 50

緊急シャットダウンの設定をするには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．３ HOST ポートの設定 45

コンソール使用

第５章 ５．３．１Shutdown procedure(Edit & Redister) 75

個別スケジュールを設定するには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．５ 個別スケジュールについて 52

コンソール使用

第５章 ５．３．２ Spot schedule 63

コンソールを接続するには？

第５章 ５．１ NetAgent と設定用コンソールの接続 58

週間スケジュールを設定するには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．５ 設定方法 51

コンソール使用

第５章 ３．１ Weekly schedule 62

出力端子に制御機器を接続するには？

第１０章 ハードウェア仕様 97

出力端子の 直接制御をするには？

NetViewer 使用

第４章 ４．３．１NetViewer 画面構成 40

コンソール使用

第５章 ７ Direct channel control 83

シリアルホストをシャットダウンする設定は？

第３章 NetAgent を設定する前に を参照の上

NetViewer 使用

第４章 ４．４．３ HOST ポートの設定 46

コンソール使用

第５章 ５．３．１Shutdown procedure(Edit & Redister) 75

制御ホストから シャットダウンの指示を受けるには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．５ 制御ホストからの シャットダウンコマンド 52

コンソール使用

第５章 ５．２．２ Normal shutdown (done by Host message) 69

制御ホストの パワーON 実施前に 出力端子を動作させるには？

第３章 NetAgent を設定する前に を参照の上

NetViewer 使用

第４章 ４．４．１ 出力端子の設定 43

コンソール使用

第５章 ５．１ Power on sequence setup 65

制御ホストの パワーON 実施後に 出力端子を動作させるには？

第３章 NetAgent を設定する前に を参照の上

NetViewer 使用

第４章 ４．４．１ 出力端子の設定 43

コンソール使用

第５章 ５．１ Power on sequence setup 65

制御ホストの シャットダウン実施前に 出力端子を動作させるには？

第３章 NetAgent を設定する前に を参照の上

NetViewer 使用

第４章 ４．４．３ HOST ポートの設定 46

コンソール使用

第５章 ５．２ Shutdown sequence setup 65

制御ホストの シャットダウン実施前に 出力端子を動作させるには？

第３章 NetAgent を設定する前に を参照の上

NetViewer 使用

第４章 ４．４．３ HOST ポートの設定 46

コンソール使用

第５章 ５．２ Shutdown sequence setup 65

時刻の設定するには？

NetViewer 側

Windows95、WindowsNT4.0 で実施します。

コンソール側

（６） Current data and time 83

通常シャットダウンの設定をするには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．３ 通常シャットダウンの設定 46

コンソール使用

第５章 ５．３．１Shutdown procedure(Edit & Redister) 75

停電復旧後 UPS の復電を実施するには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．３ HOST ポートの設定 46

コンソール使用

第５章 ５．４ UPS Auto restart mode 81

停電から シャットダウンを実施するまでの 待ち時間を設定するには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．３ HOST ポートの設定 48

コンソール使用

第５章 ５．３．１Shutdown procedure(Edit & Redister) 75

入力端子に 周辺機器を接続するには？

第１０章 ハードウェア仕様 97

入力端子を 緊急シャットダウンの トリガとして設定するには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．２ 入力端子の設定 44

コンソール使用

第５章 ５．２．１ Emergent shutdwon (done by input channel status) 68

NetAgent 設定内容を印字するには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．７ NetAgent 設定データ印字 53

NetViewer をインストールするには？

第１章 １．５ 動作条件 3
第４章 ４．２．１ プラットホームマシンのネットワーク接続 33
第４章 ４．２．２ NetViewer のインストレーション 33

NetAgent を UPS に組み込むには？

第２章 NetAgent のインストレーション 13

NetAgent をネットワークに接続するには？

第２章 NetAgent のインストレーション を参照の上

NetViewer 使用

第４章 ４．２．４ NetAgent のアドレス自動取得 35

コンソール使用

第５章 ５．５．５ NetAgent setup 82

ネットワーク OS をシャットダウンするには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．３ HOST ポートの設定 45

コンソール使用

第５章 ５．３．１ Shutdown procedure(Edit & Redister) 68

HOST ポートのインタフェース設定するには？

NetViewer 使用

第４章 ４．４．３ HOST ポートの設定 45

コンソール使用

第５章 ５．３．４ Serial port setup 80

UPS の状態を表示するには？

NetViewer 使用

第４章 ４．３．４ Agent 画面 40